

C9P8 V6 650

ナビゲーション &

オーディオ ブック

NAVIGATION & AUDIO BOOK

目次 4ページ

はじめに

基本操作

ナビゲーション基本操作

検 索

ルート

登録・編集操作

各種情報の利用

ナビゲーションの設定

通信機能を使う

オーディオ基本操作

放送を受信する

音楽ディスクを使う

映像ディスクを使う

SDカード/USBメモリーを使う

iPodを使う

Bluetooth Audioを使う

その他の機器を使う

オーディオの設定

カメラ機能を使う

携帯電話を使う

その他の操作

付 録

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。（操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。）
また、本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。（走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。）また、一部のメニュー操作はできません。

（例）テレビを見ようとしたとき



操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、車のバッテリー上がりの原因となります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために	2
安全走行のために	3
走行中はナビゲーションの操作をしない ...	3
交通規則に従って走行する	3
本書の見かた	10
本書の表記のしかた	10

基本操作

基本操作	12
タッチパネルで操作する	12
ボタンで操作する	13
画面の切り換えかた	13
リスト画面の操作	14
文字の入力操作	16
文字入力の方法を切り換える	16
文字の入力操作の流れ	16
文字の種類を切り換える	16
文字を入力する	17
無変換、変換を行う	19
文字入力を終了する	19
URLの入力について	19
かな漢字変換できる記号	20

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	22
ナビメニューの操作	22
ショートカットメニューの操作	25
地図画面の操作	26
現在地画面を表示する	26
地図を動かす(スクロール)	27
地図のスケールを変える	28
地図の表示方法を変える	28
地図の向きを変える	30
100mスケール一方通行表示を ON/OFFする	30

文字の拡大表示をON/OFFする	31
スケールを登録する	31
ロゴマークの表示設定をする	31
サイドマップについて	33
セーフティインフォメーション	34
eスタート案内について	35
走行中表示される画面について	35
ハイウェイモードについて	35

自宅へ帰る	39
自宅を登録する	39
自宅までルート探索する	39

検 索

場所を探す	42
地図で探す	42
名称で探す	42
住所で探す	43
ジャンルで探す	43
周辺施設を探す	44
電話番号で探す	45
登録地から探す	46
検索履歴から探す	46
マップコードから探す	47
かんたん目的地検索で探す	47
詳細情報を見る	48

ルート

ルートを探索する	50
ルート案内開始画面の見かた	51
ルートプロフィールで確認する	52
他のルートを選ぶ	52
ルート地図を表示する	53
詳細ルート設定をする	53
ルート探索機能について	56
ルート誘導・案内	57
ルート案内中の現在地画面	57

音声による誘導・案内	60
ルート案内中の操作と機能	63
ルートから外れたときに	
自動的にルートを再探索する	63
状況に応じて新しいルートを	
提案する	63
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	64
ルートインフォメーションの操作 ...	65
ルートを編集する	66
ルートプロフィールで確認する	66
条件を変えてルートを再探索させる ...	66
ルートを消去する	67
立寄地を先送りする	67
デモ走行で確認する	67
ルートを消去する	68

登録・編集操作

場所を登録する	70
場所を登録する	70
登録地を編集する	72
登録地の登録内容を編集する	72
登録地を消去する	73
その他のデータを編集する	75
検索履歴を消去する	75
ルートの学習内容を消去する	75
走行軌跡を消去する	76

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	78
VICS情報とは	78
地図上でVICS情報を見る	79
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	80
VICSの文字・図形情報を見る	81
放送局を選ぶ	82
その他の情報の利用	83
シリアルナンバーと	
デバイスナンバーを確認する	83

センサー学習状況を見る	83
接続状態を確認する	84
データバージョンを確認する	85
SDカード内の画像を表示する	86

ナビゲーションの設定

機能設定をする	88
設定内容の詳細	89
通信設定をする	93
ユーザー登録について	93
通信機器使用上のご注意	94
Bluetoothの設定を行う	94
ナビゲーションの音量を設定する ...	100
音量設定をする	100
案内/電話スピーカー	
設定をする	101
イージーセットアップをする	102
イージーセットアップを行う	102
イージーセットアップを開始する ...	102
車両情報を設定する	106
有料道路料金区分の設定	106
駐車制限(車種)の設定	107
駐車制限(車両寸法)の設定	107
車両重量の設定	108
総排気量の設定	108
リアルタイムプローブ設定をする ...	109
リアルタイムプローブ設定を行う ...	109
取得タイミングと連続取得の	
取得動作について	111
その他の設定をする	112
自転車位置のずれを修正する	112
走行中の道路を切り換える	112
セキュリティロック設定をする ...	113
ワイプ枠を表示する	114
カメラの入力設定をする	115
カスタムボタンを設定する	115

SDカード登録確認	
メッセージ表示設定	117
Bose®サウンドシステム設定をする ...	117
設定を初期状態に戻す	119

通信機能を使う

オンデマンドVICS情報・リアルタイム プローブ渋滞情報を利用する	122
オンデマンドVICSについて	122
リアルタイムプローブとリアルタイム プローブ渋滞情報について	122
渋滞情報の取得のしかた	123
地図上でオンデマンドVICS／リアル タイムプローブ渋滞情報を見る	124
プローブ情報を保存する	124
天気予報を利用する	125
ガススタ価格情報を利用する ...	126
駐車場満空情報を利用する	127

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	130
AVソース画面を表示する	130
AVソースを切り換える	131
AVソースをOFFにする	132
映像画面時計表示設定	132
本機で再生可能なメディアと ファイルの種類	133

放送を受信する

ラジオを聞く	136
ラジオの放送を受信する	136
周波数スケール表示画面に 切り換える	136
プリセットの種類を選ぶ	137
バンドを切り換える	137
放送局を手動で登録する	137
放送局の自動登録	138

交通情報を聞く	139
交通情報を受信する	139

地上デジタルテレビ放送を見る ... 140

地上デジタルテレビ放送を 受信する	140
プリセットの種類を切り換える ...	142
放送局を手動で登録する	142
サービスを切り換える	143
番組表を表示する	143
番組内容を表示する	144
データ放送を見る	144
データ放送画面の操作のしかた ...	144
字幕を切り換える	145
映像を切り換える	145
音声を切り換える	145
音声多重に切り換える	146
バンドを切り換える	146
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン).....	146
番組情報を取得する	146
お知らせメッセージを表示する ...	147
バージョン情報を表示する	147
サービスリストから チャンネルを選ぶ	147
ワイドモードを設定する	148
地上デジタルテレビの 機能設定をする	149

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	152
再生する	152
リストから選んで再生する	153
リピート再生	153
ランダム再生	153
ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く ...	154
再生する	154
リストから選んで再生する	155

リピート再生	155
ランダム再生	155

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	158
再生する	158
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ).....	159
リピート再生	160
コマ送り再生	160
スロー再生	160
ブックマークの登録	161
字幕言語の切り換え	161
音声言語の切り換え	161
音声出力の切り換え	162
アングルの切り換え	162
リターン再生	162
ダイレクトサーチ	162
ワイドモードを設定する	163

DVD-VRを見る

再生する	164
リストから タイトルを選んで再生する	165
リピート再生	165
コマ送り再生	166
スロー再生	166
CMバック/スキップ	166
字幕言語の切り換え	167
音声言語の切り換え	167
音声多重の切り換え	167
ダイレクトサーチ	167
ワイドモードを設定する	168

DVDの機能設定

基本字幕言語	169
基本音声言語	169
メニュー言語	170
マルチアングル	170

テレビアスペクト	170
視聴制限	171
オートプレイ	171

言語コード表

SDカード/USBメモリーを使う

SD / USBの操作のしかた

音楽ファイルを再生する	174
映像ファイルを再生する (SDのみ).....	175
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える (SDのみ).....	176
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	176
リピート再生	176
ランダム再生	176
ダイレクトサーチ (SDのみ).....	177
SD映像ファイルの 機能を設定する	177

iPodを使う

iPodの操作のしかた

再生する	180
iPodミュージックと iPodビデオを切り換える	182
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	182
リピート再生	182
シャッフル再生	182
iPodで操作する	183
ワイドモードを設定する	183

Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioの

操作のしかた	186
Bluetooth Audio機器の登録	186
再生する	186

リストから選んで再生する	188
リピート再生	188
ランダム再生	188
Bluetooth Audio機器の 接続について	189

その他の機器を使う

AUXを使う	192
外部機器の入力設定をする	192
外部機器の音声や映像を再生する ...	192
ワイドモードを設定する	193

オーディオの設定

オーディオの設定をする	196
フェーダー / バランス設定	196
ラウドネス設定	197
イコライザー設定	197
ソースレベルアジャスター設定 ...	198
消音設定	199
車速連動ボリューム設定	199

カメラ機能を使う

カメラを使う	202
バックカメラの映像を表示する ...	202
フロントカメラ / サイドカメラの 映像を表示する	204

携帯電話を使う

携帯電話を使う	206
ハンズフリー通話をする	206
電話の受けかた	206
電話のかけかた	207
通話中メニューの操作	209
携帯電話情報を編集する	210

その他の操作

エコマネージャーを使う	214
エコスコアについて	214
エコゲージについて	215
エコプライズについて	216

パーソナライズ機能を利用する ...

パーソナライズ画面を表示する ...	217
ユーザー設定をする	218
ユーザー切り換えメニューを使う ...	221

スマートフォン連携機能を使う ...

画質を調整する

リアモニターを組み合わせる ...

リアモニターに表示される 映像について	225
------------------------------	-----

タッチパネルの タッチ位置を調整する

パソコンリンクソフトからSDカードに 保存したデータを本機で使用する ...

SDカードに保存したデータを 本機へ転送する	227
---------------------------------	-----

地図データの バージョンアップを行う	227
-----------------------------	-----

付 録

再生できるディスクの種類

DVDに表示されている マークの意味	231
ディスクの操作について	231

ディスクの構成について

DVDビデオ	232
CD	232

WMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて

フォルダーとWMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	233
WMAとは？	233

MP3とは？	234
AACとは？	235
WAVとは？	235
ナビゲーションのしくみ	236
現在地がわかるしくみ	236
測位の精度を高めるためのしくみ ...	236
誤差について	237
故障かな？と思ったら	239
ナビゲーション	239
オーディオ	239
エラーメッセージと対処方法	244
共通項目	244
ナビゲーション	244
オーディオ	245
センサーメモリーの	
 リセットについて	249
センサー学習状態の	
リセットが必要な場合	249
センサー学習状態の	
リセットのしかた	249
その他の情報	250
検索における	
データベースについて	250
ルートに関する注意事項	250
VICS情報に関する注意事項	251
シティマップ（詳細市街地図）	
収録エリア	252
阪神高速道路株式会社からの	
ご連絡	255
収録データベースについて	255
索引	259
メニュー索引	259
用語索引	260
記号・マーク一覧	267

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例： 戻る にタッチする
←ワイプ	ワイプ操作を表します。例えば左へのワイプ操作を「←ワイプ」と表記します。
メニュー	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例： メニュー を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： →「場所を探す」(P42)
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている（タッチしている）間だけ動作していることを示します。



メモ

- ・本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- ・本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作	12
タッチパネルで操作する	12
ワイプ操作	12
ボタンで操作する	13
画面の切り換えかた	13
ナビゲーション画面と	
AVソース画面を切り換える	13
画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)	13
リスト画面の操作	14
基本的なリストの操作	14
50音タブの操作	14
サイドマップ表示時の50音タブの操作	14
チェックリストの操作	14
インジケーター付リストの操作	15
文字の入力操作	16
文字入力の方法を切り換える	16
文字の入力操作の流れ	16
文字の種類を切り換える	16
文字を入力する	17
基本操作	17
全角・半角を切り換える	17
濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える	17
アルファベットの大文字／	
小文字を切り換える	17
カーソル位置を動かす	18
文字を削除する	18
スペースを空ける	18
文字を挿入する	18
無変換、変換を行う	19
無変換入力をする	19
変換入力をする	19
文字入力を終了する	19
URLの入力について	19
かな漢字変換できる記号	20

基本操作

本機の基本操作について説明します。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作することができます。



操作例：

終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

ワイプ操作

画面に触れた指を上下左右に動かして、基本的な機能を操作することができます。

1 ワイプ操作が行える範囲をタッチする

例：交差点案内図



ワイプ反応エリア

ワイプ操作ガイド画面が表示されます。

2 そのまま指を離さずに、行いたい操作の方向へ指をスライドして離す



選んだ機能が動作します。

ワイプ操作が可能な機能と画面は以下の通りです。操作内容について、詳しくは各ページの「ワイプで操作する場合」をご覧ください。

ナビゲーション機能

- ルートインフォメーション(→P65)
- 交差点案内図(→P58)
- 渋滞考慮オートリルート(→P63)
- 通行止め考慮オートリルート(→P64)

オーディオ機能

- 交通情報(→P139)
- CD(→P152)
- ROM(→P154)
- DVDビデオ(→P159)
- DVD-VR(→P165)
- FM(→P136)
- AM(→P136)
- TV(→P141)
- SD/USB(→P175)
- iPod(→P181)
- Bluetooth Audio(→P187)
- AUX(→P193)

携帯電話機能

- 電話着信中(→P207)

メモ

- ワイプ反応エリアは、表示された画面によって異なります。
- ワイプ反応エリアを示す、枠を表示することができます。→「ワイプ枠を表示する」(P114)

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。

また、ステアリングスイッチ（装備車のみ）を使って一部のオーディオ操作を行うこともできます。ステアリングスイッチの操作については、『スタートブック』をご覧ください。

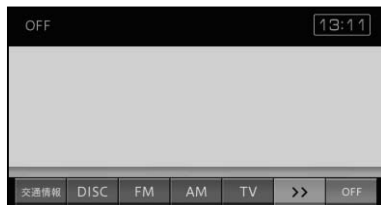
画面の切り換えかた

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で **(AV)** を押す

AVソース画面が表示されます。

2 AVソース画面で **(現在地)** を押す

ナビゲーション画面が表示されます。



メモ

- AVソース画面を表示している状態でも、以下の情報が割り込み表示される場合があります。
 - データ更新開始メッセージ(→P227)
 - VICS緊急情報の自動表示(→P80)
 - 交差点案内表示(→P58)
- AVソース画面への割り込み表示（交差点案内表示のみ）は、ON / OFFすることができます。→「機能設定をする」(P88)

画面を一時的に消す
(ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 **(現在地)** を長く押す

画面が一時的に消えます。

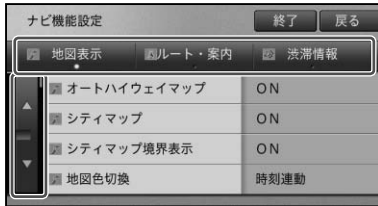
メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。また、**(現在地)** を押すとナビスタンバイを解除して現在地画面を表示します。**(AV)** を押すとナビスタンバイを解除してAVソース画面を表示します。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- カメラ機能(→P202)を使用中は、一時的にナビスタンバイモードを解除します。カメラ機能の使用が終了した時点で、自動的にナビスタンバイモードに戻ります。
- ナビスタンバイはACCのON/OFFをしても解除されません。

リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



ページ送り

1画面ずつ移動します。

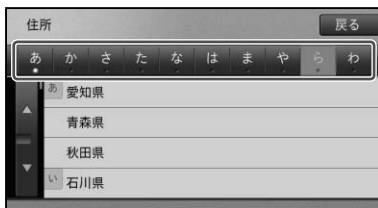
▲／▼にタッチする
(タッチし続けると、
連続で移動します。)

タブ送り

タブ付きリストでは選
んだタブのリストに切
り換わります。

タブ(例: **ルート・案内**)にタッチする

50音タブの操作



行送り

リストを行送りするこ
とができます。
(例: あ→か→さ→た→な)

タブ(あ～わ)にタッ
チする

音送り

リストを音送りするこ
とができます。
(例: あ→い→う→え→お)

タブ(例: **あ**)に繰り
返しタッチする

サイドマップ表示時の50音タブの操作



あかさたな送り

リストを次ページに送
ることができます。

▶にタッチする
(例: あかさたな→
はまやらわ)

メモ

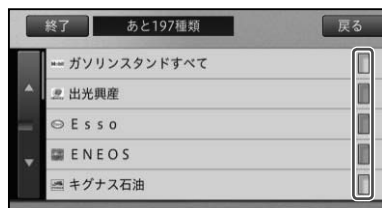
- ・前ページのリストに戻るには、◀にタッチします。
- ・サイドマップについては、「サイドマップについ
て」(→P33)を参照してください。

チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると
☑(チェックマーク)が表示され、選択
中であることを示します。もう一度項目
にタッチすると ☑ が消え、選択が解除さ
れます。

インジケーター付リストの操作



インジケーター付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

文字の入力操作

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

メモ

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号、URLが入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字入力の方法を切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法(キーボード方式と携帯電話方式)から選んで行うことができます。

1 または にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

キーボード方式



携帯電話方式



文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります。

メモ

- 漢字変換入力をするには、**かな** にタッチします。
- カタカナ入力をするには、一度ひらがな入力に切り換えたあと、**カナ** にタッチします。

文字を入力する

基本操作

キーボード方式で入力する場合

1 入力したい文字にタッチする



携帯電話方式で入力する場合

1 入力したい文字が表示されるまで、キーをタッチする



入力例 1: にほん

なに2回タッチする → 「に」

はに5回タッチする → 「にほ」

わに3回タッチする → 「にほん」

入力例 2: おおた

あに5回タッチする → 「お」

>にタッチする → 「お」

あに5回タッチする → 「おお」

たに1回タッチする → 「おおた」

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り換えることができます。

1 全角または半角にタッチする

全角または半角に切り換わります。

濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 小文字にタッチする

タッチすることにより、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

小文字 → 濁点 → 半濁点 → 元の文字に戻る

例 1: ツ → ツ → ヅ → ツ

例 2: ハ → ハ → バ → パ → ハ

アルファベットの大文字／小文字を切り換える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り換えることができます。

1 大／小文字にタッチする

タッチすることにより、大文字と小文字が切り換わります。

カーソル位置を動かす

1 画面右上の◀・▶にタッチする

タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。

メモ

- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- 検索中の入力画面の場合は、◀・▶でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、**スペース**にタッチする

タッチした分だけスペースが挿入されます。



文字を削除する

1 削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、**削除**にタッチする

タッチすることにより、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右側の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- **削除**に長くタッチすると、全ての文字を一度に削除することができます。

文字を挿入する

1 文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

メモ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字やカタカナなどに変換します。変換は、入力した文字に応じて表示される変換候補から選択（予測変換機能）することができます。

無変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力し、**無変換** にタッチする

ひらがなで入力されます。

変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力する

2 **変換** にタッチし、**確定** または **全確定** にタッチする



メモ

- **変換** にタッチしたあとに **次候補** にタッチすると、変換候補一覧が表示されます。変換したい文字にタッチすると入力できます。
- **◀** または **▶** にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

変換した文字で入力されます。

文字入力を終了する

1 **入力終了** にタッチする

URLの入力について

URLの入力が必要な場合は、自動的にURL入力画面が表示されます。必要に応じて、文字の種類を切り換えて入力してください。



かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≤ ≥ ≪ ≫
ぶらす / たす	+
まいなす / ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん / むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふあ / あるふあー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい / きー	X x
かっぱ	K κ
がんま / がんまー	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい / ぴー	Π π
ふあい / ふいー	Φ φ
ぶさい / ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " ' ' () [] {} ◇ ◇ 「 」 『 』

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ ▲ ▼ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C ¥ \$ ¢ £ %
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	°
てん	., …
はんだくてん	°
まる	。 .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぶ	♪
から / ないし	~
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	\$
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	22	地図画面の操作	26
ナビメニューの操作	22	現在地画面を表示する	26
エコマネージャーメニュー	22	現在地画面の見かた	26
目的地メニュー	22	地図を動かす(スクロール)	27
設定・編集メニュー	23	スクロール画面の見かた	28
携帯電話メニュー	24	地図のスケールを変える	28
情報メニュー	24	地図の表示方法を変える	28
ショートカットメニューの操作	25	表示方法の種類	29
		地図の向きを変える	30
		ヘディングアップ	30
		ノースアップ	30
		100mスケール一方通行表示をON/OFFする	30
		文字の拡大表示をON/OFFする	31
		スケールを登録する	31
		ロゴマークの表示設定をする	31
		全てのリストから選ぶ	32
		リストをカスタマイズする	32
		ロゴマークを非表示にする	33
		サイドマップについて	33
		サイドマップ画面の操作	34
		セーフティインフォメーション	34
		eスタート案内について	35
		走行中表示される画面について	35
		信号機が近づくと	35
		有料道路を走行すると	35
		ハイウェイモードについて	35
		ハイウェイモード現在地画面の見かた	35
		料金表示について	36
		先の施設情報を見る	36
		分岐施設の分岐先の情報を見るには	37
		サービスエリアや	
		パーキングエリアで表示される情報	37
		施設のイラスト表示について	38
		渋滞情報表示について	38
		有料道路の料金所に近づくと	38
		自宅へ帰る	39
		自宅を登録する	39
		自宅までルート探索する	39

ナビゲーションの基本操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

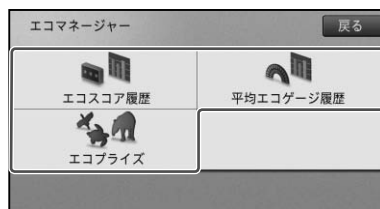
1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押す

ナビメニューが表示されます。



エコナビゲーター	エコゲージやエコスコア(エコ運転診断結果)の確認を行うメニューです。
目的地	目的地や場所を探すためのメニューを表示します。
設定・編集	ナビゲーション機能の設定、オーディオ設定、電話・通信の設定など、各種設定・編集に関するメニューを表示します。
携帯電話	携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。Bluetooth機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。 [はい] にタッチして、登録操作を行ってください。(→P94)
情報	渋滞情報や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行うメニューを表示します。
ルート編集	ルートの編集や消去などを行うメニューを表示します。(→P66)
ルート消去	案内中のルートを消去(中止)します。(→P68)

エコナビゲーターメニュー



エコスコア履歴	エコスコアの履歴を表示します。(→P214)
平均エコゲージ履歴	エコゲージの履歴を表示します。(→P215)
エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。(→P216)

目的地メニュー



名称	目的地の名称を入力して検索します。(→P42)
住所	目的地の住所を入力して検索します。(→P43)
ジャンル	目的地のジャンルを指定して検索します。(→P43)
周辺施設	自転車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→P44)
電話番号	目的地の電話番号を入力して検索します。(→P45)
登録地	登録済みの地点から目的地を選んで検索します。(→P46)
検索履歴	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。(→P46)
自宅	自宅までのルートを探します。(→P39) 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→P39)

通信コンテンツ	通信を利用して、価格の安いガソリンスタンドを探したり、空いている駐車場を検索します。(→P126, 127)
マップコード	目的地のマップコードを入力して検索します。(→P47)

設定・編集メニュー



イージーセットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行います。(→P102)
ナビゲーション	ナビゲーション機能の設定・編集を行います。
オーディオ	オーディオ機能の設定・編集を行います。
電話・通信	電話・通信機能の設定・編集を行います。

ナビゲーション



ナビデータ編集	登録地や走行軌跡などのデータの編集や消去を行います。(→P72, 75, 76)
ナビ機能設定	ナビゲーション機能の設定を行います。(→P88)
音量設定	ナビゲーションの案内音量や操作音の調整、ハンズフリー時の音量調整を行います。(→P100)

システム設定	システムの設定を行います。(→P101, 113, 114, 115, 117, 118, 119)
車両情報設定	車両情報の設定を行います。(→P106)
自車位置補正	自車位置がずれた場合に設定します。(→P112)

オーディオ



オーディオ設定	オーディオ機能の設定を行います。(→P196)
DVDビデオ設定	DVDの再生条件の設定を行います。(→P169)
TV設定	地上デジタルテレビの機能設定を行います。(→P149)
SD映像出力	SDカードに記録されている映像の出力サイズを設定します。(→P177)
AUX設定	AUXに外部機器を接続する場合に設定します。(→P192)
映像画面時計表示	映像画面上に時計を表示するかしないかを設定します。(→P132)

電話・通信



Bluetooth設定	本機とBluetooth機器をBluetooth接続する場合に設定します。(→P94)
音量設定	ナビゲーションの案内音量や操作音の調整、ハンズフリー時の音量調整を行います。(→P100)
携帯電話データ編集	メモリダイアルの読み込みや着信履歴の消去など、携帯電話情報の編集・消去を行います。(→P210)
リアルタイムプローブ設定	リアルタイムプローブを利用するための設定を行います。(→P109)

携帯電話メニュー



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P208)
メモリダイアル	メモリダイアルを呼び出して電話をかけます。(→P208)
発着信履歴	発着信の履歴を表示します。(→P208)
リダイヤル	リダイヤルで電話をかけます。(→P209)
Bluetooth設定	本機とBluetooth機器をBluetooth接続する場合に設定します。(→P94)

編集・消去	メモリダイアルの読み込みや着信履歴の消去など、携帯電話情報の編集・消去を行うことができます。(→P210)
--------------	---

情報メニュー



渋滞情報	渋滞情報の確認や情報取得を行います。(→P81, 82)
データバージョン表示	本機に収録された地図データと検索データのバージョンを確認できます。(→P85)
画像表示	SDカードに保存された画像を確認できます。(→P86)
システム情報	本機のシリアルナンバー、デバイスナンバーおよびセンサー学習の状況や本機に接続された機器の情報を確認できます。(→P83, 84)
天気予報	天気予報データを取得します。(→P125)

ショートカットメニューの操作

地図を動かしたり場所を探したあとに自動的に表示されるメニューを、ショートカットメニューといいます。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 地図をスクロールまたは場所を探す(→P42)



十字カーソルの位置や地図の表示状況によって、それぞれに応じたショートカットメニューが表示されます。

スクロール画面のとき



ここを登録する	現在のカーソル位置を本機に登録することができます。(→P70)
周辺施設を探す	カーソル位置周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P44)
ここへ行く	十字カーソル位置を目的地として、ルート探索を行います。(→P50)

検索結果画面のとき



情報	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。(→P48)
ここを登録する	検索した場所を本機に登録することができます。(→P70)
周辺施設を探す	検索した場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P44)
ここへ行く	検索した場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P50)

メモ

- 検索したあとに地図をスクロールさせると**検索地点に戻る**が表示されます。タッチすると、スクロールする前の地点に戻ります。

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 「現在地」を押す

現在地の地図が表示されます。



メモ

- 現在地画面を表示している状態で「現在地」を押すと、登録した地図スケール(→P31)に切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー

かんたん目的地検索タッチキー

タッチすると、検索項目を絞り込んだ目的地メニューが表示されます。
詳しくは「かんたん目的地検索で探す」(→P47)をご覧ください。

方位マーク

方位マークの赤い三角が北を示します。

渋滞
タッチキー

ビュー
タッチキー

現在の時刻

スケール表示
タッチキー

下の「」がスケールの距離を示します。
(2D表示のみ)

情報ウィンドウ

自車マーク

軌跡表示

渋滞情報提供時刻表示

データ更新中マーク
SDアクセス中マーク

天気予報マーク・時刻

Bluetooth接続中マーク

スマートフォン連携マーク
詳しくは「スマートフォン連携機能を使う」
(→223)をご覧ください。

メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自転車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 自転車マークはお好みのマークに変更できます。→「機能設定をする」(P88)
- 軌跡表示は、今までに通った約250 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 情報ウィンドウは、タッチすることによって現在地情報とAV情報(AVソース名、再生中タイトル名など)を切り換えます。現在地情報の表示項目(市区町村名、走行道路名、緯度経度)は、あらかじめ設定しておくことができます。→「機能設定をする」(P88)
- 情報ウィンドウが「市区町村名」の場合は、地図スケール表示が100 m以上のときに市区町村名まで表示されます。10 m ~ 50 mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。場所によっては表示されないところもあります。
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす(スクロール)

地図上の見たい場所に地図を動かします。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- 8方向矢印(→P27)表示中またはシティマップ(→P29)の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。

2 位置を微調整したい場合は、**微調整**にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする

矢印にタッチすると、地図が少しずつ動きます。

もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 微調整の操作は、地図の表示モードがノーマルビューの場合のみ可能です。

スクロール画面の見かた

ノーマルビュー



地図のスケールを変える

10 m ～ 500 kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細または広域にタッチする



詳細 より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。

広域 より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

メモ

- **詳細**や**広域**にタッチすることにより、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 kmとスケール表示が変わります。
- **詳細**や**広域**にタッチし続けると、連続してスケールを変えることができます。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビューにタッチする



2 地図の表示方法にタッチする



メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図(2Dの地図)で表示されます。



詳細市街地図収録エリア(→P252)では、10 m～50 mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



メモ

- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- シティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)

スカイビュー

上空から見ているような地図(3Dの地図)が表示されます。



エコ情報表示

エコスコア画面やエコゲージ画面(→P214, 215)が、地図の右側に表示されます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離や料金、到着予想時間、出口施設の到着予想時刻などが表示されます。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードについて」(→P35)をご覧ください。



地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きはヘディングアップとノースアップがあります。工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

ヘディングアップ

1 ビュー – ヘディングアップにタッチする



「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転します。



ノースアップ

1 ビュー – ノースアップにタッチする



「北」が常に上になるように表示されます。



100mスケール一方通行表示をON/OFFする

シティマップで表示される一方通行マークを、100 mスケール時でも表示させることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ビュー – 100mスケール一方通行表示にタッチする



タッチすることにより100 mスケール一方通行表示のON/OFFが切り換わります。



メモ

- ・ハイウェイモードのサイドマップの場合は、表示できません。
- ・地図のスケールを100 m以外に設定している場合、ONに設定すると自動的に100 mスケールに切り換わります。

文字の拡大表示を ON/OFF する

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ビュー – 地図の文字拡大表示にタッチする



タッチするごとに文字拡大表示の ON/OFF が切り換わります。



スケールを登録する

それぞれの地図の表示方法ごとに、スケールを登録することができます。登録したスケールは、**現在地**を押して地図画面を表示したときのスケールとなります。

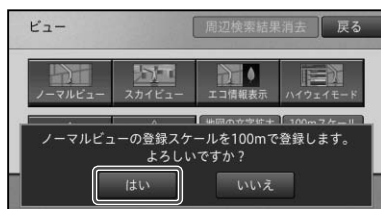
1 地図画面を登録したいスケールで表示する

2 ビュー – スケール登録にタッチする



確認のメッセージが表示されます。

3 はいにタッチする



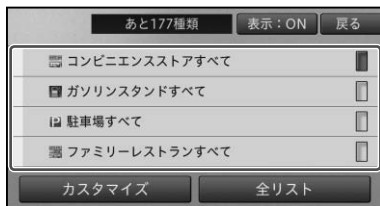
ログマークの表示設定をする

さまざまな施設のログマークを地図上に表示させることができます。

1 ビュー – ログマーク表示設定にタッチする



2 ログマークを表示させたいジャンルにタッチする



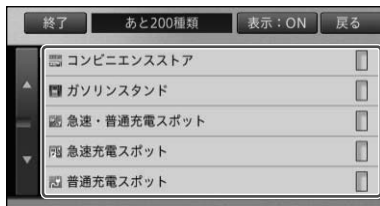
選んだロゴマークが地図上に表示されます。

全てのリストから選ぶ

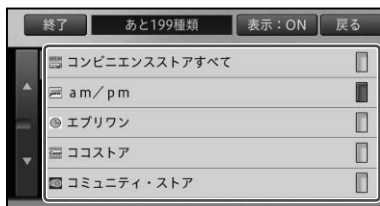
本機に登録されている全ての施設から選びます。

1 ビュー－ログマーク表示設定－全リストにタッチする

2 ログマークを表示させたいジャンルにタッチする



3 ログマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ・インジケータは、複数選択した場合も点灯します。
- ・再度施設にタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。
- ・他の施設を選ぶには、**戻る**にタッチして手順**2**の画面に戻り、手順**2**・**3**を繰り返してください。

4 終了にタッチする

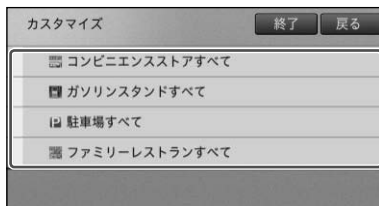
地図画面に戻り、選んだ施設のロゴマークが表示されます。

リストをカスタマイズする

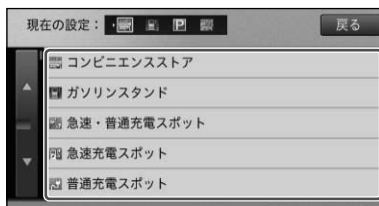
お好みに応じたリストに設定変更することができます。ジャンル名の他に、施設名の表示もできます。

1 ビュー－ログマーク表示設定－カスタマイズにタッチする

2 変更したいジャンル名にタッチする



3 ご希望のジャンル名にタッチする



4 ご希望の施設名にタッチする



手順 2 の画面に戻り、リストが変更されます。

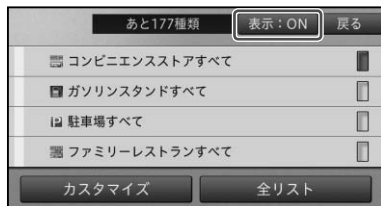
引き続き変更操作を行う場合は、手順 2 以降の操作を繰り返してください。

ロゴマークを非表示にする

選んだロゴマークの表示を地図上から消すには、以下のようにします。

1 ビュー—ロゴマーク表示設定にタッチする

2 表示：ON にタッチする



表示：OFF になり、選んだロゴマークが地図上から消えます。

メモ

- ロゴマークを再び表示するには、表示：OFF にタッチして 表示：ON にします。

サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- リストの基本的な操作については、「基本的なリストの操作」(→P14)をご覧ください。
- サイドマップ画面の操作については、「サイドマップ画面の操作」(→P34)をご覧ください。

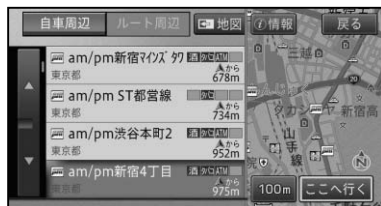
ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。



リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。



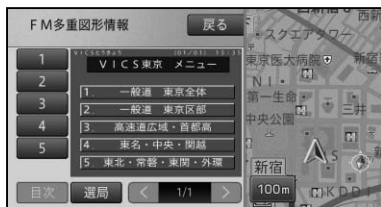
候補表示画面

候補表示画面では、選択されている施設の場所の地図がサイドマップに表示されます。



情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自転車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



サイドマップ画面の操作

サイドマップ付きリスト画面では、選択されているリスト項目の位置が、サイドマップに表示されます。



情報

選択している場所の詳細情報 (→P48)を表示することができます。

ここへ行く

選択している場所を目的地としてルート探索 (→P50)を行います。

メモ

- スケール表示 (100mなど) にタッチすると、スケールを変更することができます。

セーフティインフォメーション

状況に応じて安全運転のための各種案内が行われます。

有料道注意地点・県境案内	- ここからおよそ〇キロ先までは、十分運転に注意してください。 - この先、右からの合流があります。ご注意ください。 - この先、左からの合流があります。ご注意ください。 - この先、合流があります。ご注意ください。 〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。
パーキングブレーキアラート	安全を確認して、パーキングブレーキを解除してください。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- ナビゲーションの起動中にパーキングブレーキを検知した場合には、パーキングブレーキアラートが案内されない場合があります。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)
- 以下のような条件等の場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
 - 自転車位置が正しく表示されていないとき
 - 表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき

eスタート案内について

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。



メモ

- ・eスタート案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)

走行中表示される画面について

信号機が近づく

進行方向に対して、約300 m以内の信号機のマークが最大5カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。



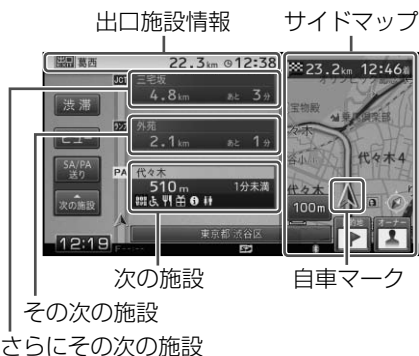
メモ

- ・オートハイウェイモードは、ON/OFF できます。→「機能設定をする」(P88)
- ・一部表示対象外の有料道路もあります。
- ・手動でハイウェイモードに切り換えるには、有料道路走行中にビュー切り換えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→「地図の表示方法を変える」(P28)

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモード現在地画面の見かた



メモ

- ・ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ・ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と到着(通過)までの予想残り時間が表示されます。
- ・次の施設には、施設のサービス情報(→P37)と料金(通過または有料道路から降りた際に精算する施設の場合)が表示されます。
- ・サイドマップの地図部分にタッチすると、現在地や選択中の施設付近の地図を表示させることができます。
- ・**SA/PA送り**にタッチすると、サービスエリアやパーキングエリアだけを順に送ることができます。
- ・次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設を選択するとイラストが表示されます。
- ・次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択することができます。
- ・次の施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・VICS情報を取得している場合は、VICS情報(→P78)が表示されます。
- ・ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ・**ビュー**にタッチすると、他の地図表示を選んで切り換えることができます。また、他の地図表示からハイウェイモードに戻すと、右画面は直前の地図表示のアングルで表示されます。(例えば直前の地図表示がスカイビューの場合、ハイウェイモードの右画面は3Dで表示されます。)

料金表示について

- ・有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- ・料金非対応路線の場合は「*****」、料金非対応路線が含まれる場合は「*****円以上」と表示されます。
- ・料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「**有料道路料金データについて**」(P258)
- ・料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「**車両情報を設定する**」(P106)
- ・各種ETC 割引料金については対応していません。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 次の施設、前の施設にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- ・先の施設に直接タッチして、その施設を選択することもできます。
- ・サイドマップ(→P33)には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ・ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- ・選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。地図表示した施設は、検索履歴(→P46)に登録されます。
- ・選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- ・選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。

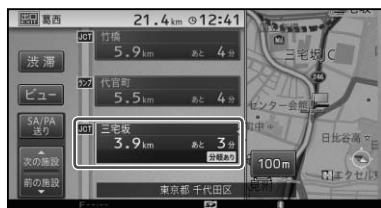
- ・100施設先まで見るができます。
- ・選んだ施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・**現在地**を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

分岐施設の分岐先の情報を見るには

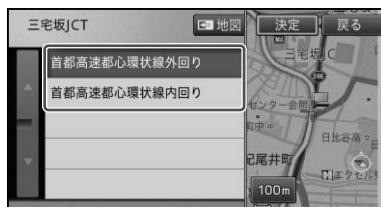
ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中にジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



メモ

- ・**地図**にタッチすると、分岐施設がある地点の地図を表示します。確認後、**戻る**にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

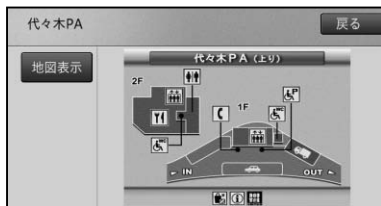
	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- ・店舗情報は、施設への到着予想時間と営業時間が考慮され、利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- ・同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。
- ・隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。



メモ

- **地図表示**にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報が近い順に3件まで画面に表示されます。



メモ

- 施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク(→P80)が表示されます。

有料道路の料金所に近づく

ETCレーン案内表示がONに設定されている場合は、ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づく、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)
- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。
- イージーセットアップ(→P102)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にETCレーン案内表示の設定が「ON」になります。

自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

1 自宅に車を止め、ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「目的地」-「自宅」-「はい」にタッチする



▼
自宅が登録されます。

メモ

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マークが自動的に入力されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P42)を参照して自宅の場所を探してください。
- イージーセットアップ(→P102)で登録することもできます。
- 場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「場所を登録する」(P70)
- 自宅の位置は変更できます。→「登録地の登録内容を編集する」(P72)
- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を削除(→P73)してから行ってください。場所を登録する操作およびイージーセットアップで自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 「メニュー」を押し、「目的地」-「自宅」にタッチする



▼
自宅までのルートが最大6本まで探索されます。「案内開始」にタッチするか、パーキングブレーキを解除すると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくるとルート案内は終了します。

メモ

- カスタム設定(→P115)で「自宅へ帰る」を割り当てている場合は、 (カスタムボタン)を押して操作することもできます。この場合探索されるルートは1本となり、探索が終了すると自動的にルート案内が開始されます。

場所を探す	42
地図で探す	42
名称で探す	42
住所で探す	43
ジャンルで探す	43
周辺施設を探す	44
ロゴマークの表示を解除するには	45
電話番号で探す	45
登録地から探す	46
検索履歴から探す	46
マップコードから探す	47
かんたん目的地検索で探す	47
詳細情報を見る	48

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- ・検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- ・施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- ・自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路の上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- ・検索した場所(施設)に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。(駐車場ポイントリンク)

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる



以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **名称** にタッチする

2 施設の名称をひらがなで入力し、**候補表示** にタッチする



ジャンル ジャンルによる絞り込みができます。

エリア 都道府県による絞り込みができます。

メモ

- ・ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- ・名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- ・濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- ・名称は20文字目まで入力できます。
- ・検索方法は、入力した文字数に最も近い文字数の施設を表示します。
- ・入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設をリストから探す



近い順	自車位置から半径 10 km 以内の施設を近い順に並び替えます。
50音順	五十音順に並び替えます。

メモ

- ・近い順は、自車位置から半径 10 km 以内に施設がない場合は半径 30 km 以内の施設を近い順で表示します。半径 30 km 以上の施設は並び替え表示できません。

4 施設名称にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

3 リストから番地を選んでタッチする



メモ

- ・**主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。
- ・**番地入力**にタッチすると、番地を入力して指定することができます。
- ・番地直接入力の場合で、番地を入力しないで**入力終了**にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- ・住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

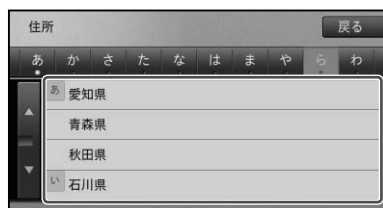
入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **住所** にタッチする

2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする



ジャンルで探す

ジャンルタブから各種施設を探すことができます。

タブで絞り込めるジャンル

- ・車・交通
- ・買う
- ・生活
- ・遊ぶ・泊まる
- ・食べる
- ・新規スポット

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **ジャンル** にタッチする

2 絞り込むジャンルのタブにタッチし、さらに絞り込むジャンルにタッチする



3 検索方法を選んでタッチする



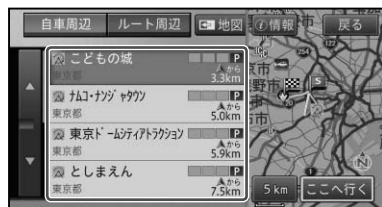
自転車周辺で探す	自転車位置周辺の施設を検索します。
カーソル位置周辺で探す	カーソル位置周辺の施設を検索します。
(地図スクロールのみ)	
エリア指定	エリアを絞り込んで検索できます。
路線順	路線別に絞り込んで検索できます。
(車・交通機関のみ)	



メモ

- 表示される検索方法は、選んだジャンルによって異なります。

4 目的の施設にタッチする



施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大50件まで探すことができます。

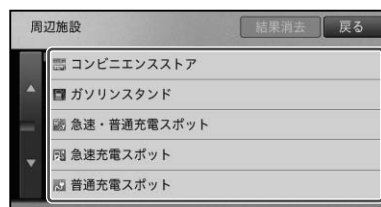


メモ

- ショートカットメニュー(→P25)の**周辺施設を探す**にタッチして操作することもできます。

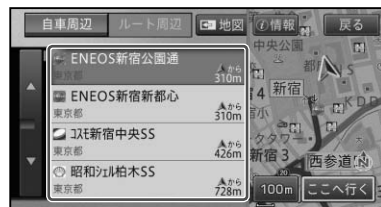
1 メニューを押し、目的地ー周辺施設にタッチする

2 ジャンルにタッチする



3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

4 目的の施設にタッチする



自車周辺	自車周辺の施設を検索します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設(ルート案内中のみ)を検索します。

メモ

- スクロール位置から操作した場合は、**自車周辺**および**ルート周辺**は表示されません。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: )と利用できない施設(例: )が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- コンビニでは、酒()・タバコ()を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ファストフードでは、ドライブスルー()対応の店がわかるように表示されます。
- , 酒、, は一部表示されない施設もあります。
- 駐車場は、「車両情報を設定する」(→P106)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は()と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は**自車周辺**にタッチします。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。自車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自車位置またはスクロール位置の半径約10 kmの範囲から検索されます。半径約10 kmの範囲内に施設が見つからなかった場合は、半径約30 kmの範囲から検索されます。

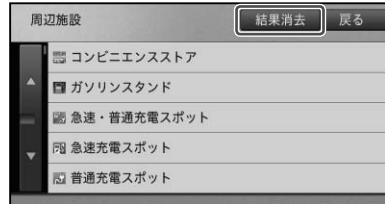
5 施設名にタッチする

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
また検索した施設のロゴマークが、地図上に表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

ロゴマークの表示を解除するには

1 P44「周辺施設を探す」の 手順2で**結果消去**にタッチする



▼
ロゴマークが消去されます。

メモ

- ビュー**—**周辺検索結果消去**にタッチするか、車のエンジンスイッチをOFFにしてもロゴマークを消去できます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地**— **電話番号** にタッチする

2 電話番号を入力する



▼
電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了**にタッチします。

メモ

- ・市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- ・10桁まで入力できます (090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。
- ・ダイヤルQ2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

登録地から探す

登録した場所のリストから探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **登録地** にタッチする

2 目的の場所にタッチする



メモ

- ・**並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
近い順	自車位置またはスクロール地点から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

選んだ登録地を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

検索履歴から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所、ハイウェイモード中に地図表示した施設から探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **検索履歴** にタッチする

2 目的の施設(履歴名)にタッチする



選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

マップコードから探す

マップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

メモ

- マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大13桁(拡張マップコードの場合)の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所もマップコードでは特定することができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **マップコード** にタッチする

2 マップコードを入力する



13桁目を入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了**にタッチします。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。

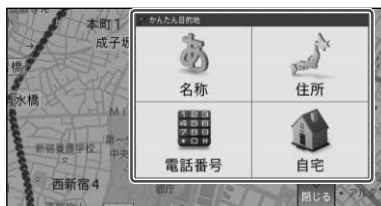
かんたん目的地検索で探す

地図画面からの操作で、検索項目を絞り込んだ目的地メニューを使って、かんたんに探すことができます。

1 地図画面でかんたん目的地検索タッチキーにタッチする



2 検索方法を選んでタッチする



名称	名称で探す (→P42) の手順 2 ~ 手順 4 を参照してください。
住所	住所で探す (→P43) の手順 2 ~ 手順 3 を参照してください。
電話番号	電話番号で探す (→P45) の手順 2 を参照してください。
自宅	自宅までのルートが最大6本まで探索されます。 案内開始 にタッチするか、パーキングブレーキを解除すると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくるとルート案内は終了します。

詳細情報を見る

目的地メニューを使って探した場所については、その場所の情報が収録されている場合に限り詳細情報を表示することができます。



メモ

・利用した目的地メニューの項目によって、表示できる詳細情報の内容が異なります。

1 目的地メニューを使って場所を探す(→P42)

2 情報にタッチする

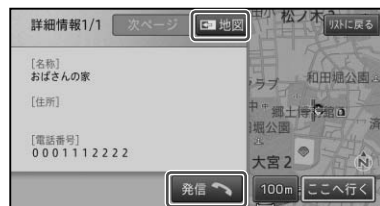
3 情報を確認する

電話番号／住所／名称／ジャンル／
周辺施設／通信コンテンツから探した
場合：



次ページ	次のページに切り換えます。
地図	地図画面が表示されます。
ここへ行く	表示した地点までのルートを探します。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P207)

登録地／検索履歴から探した場合：



地図	地図画面が表示されます。
ここへ行く	表示した地点までのルートを探します。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P207)



メモ

・詳細情報には、施設のアイコンが表示されます。

駐車場あり：P

ATMあり：ATM

お酒の取り扱い(コンビニ)：酒

タバコの取り扱い(コンビニ)：タバコ

ドライブスルー(ファストフード)：ドライブスルー

上記アイコンは、一部表示されない施設もあります。

ルートを探索する	50	ルート誘導・案内	57
ルート案内開始画面の見かた	51	ルート案内中の現在地画面	57
ルートプロフィールで確認する	52	案内地に近づくと	58
他のルートを選ぶ	52	案内地のイラスト表示	58
スクロール確認画面の操作	52	都市高速道路の入口に近づくと	59
ルート地図を表示する	53	有料道路の分岐に近づくと	59
詳細ルート設定をする	53	有料道路の出口や料金所を通過すると	59
立寄地を追加する	53	音声による誘導・案内	60
乗降IC（インターチェンジ）を指定する	54	進行方向案内	60
出発地を指定する	55	一般道路走行時の案内	61
ルート探索機能について	56	有料道路走行時の案内	62
学習ルート探索	56	ルート案内中の操作と機能	63
スマートICを考慮したルート探索	56	ルートから外れたときに	
渋滞情報を考慮したルート探索	56	自動的にルートを再探索する	63
（渋滞考慮ルート探索）	56	状況に応じて新しいルートを提案する	63
時間規制を考慮したルート探索	56	ルート上に通行止めが発生した場合	64
		ルート上の渋滞情報を案内させる	64
		渋滞オートガイド	64
		渋滞チェック	65
		ルートを編集する	66
		ルートプロフィールで確認する	66
		条件を変えてルートを再探索させる	66
		ルートを消去する	67
		立寄地を先送りする	67
		デモ走行で確認する	67
		ルートを消去する	68

ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探す(→P42)

2 ところへ行くにタッチする



メモ

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路] か [有料道路] を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。
- 渋滞考慮ルート探索(→P56)が「ON」の場合は、取得しているリアルタイムプローブ情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探します。

▼
ルート案内開始画面が表示されます。



ルートプロフィール

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。(→P52)

詳細ルート設定

立寄地指定(→P53)、乗降IC指定(→P54)、出発地指定(→P55)ができます。

他のルート

現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。(→P52)

ルート地図

(探索ルートが1本の場合)
立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。(→P53)

ルート地図画面では、地図のスクロール(→P27)とスケール変更(→P28)ができます。

案内開始

現在選ばれているルートで案内を開始します。

メモ

- パーキングブレーキを解除することで、案内を開始させることもできます。
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」(→P90)、「有料道路使用条件」(→P90)の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降ICを指定した場合、探索されるルートは1本のみとなります。

ルート案内開始画面の見かた

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

ルート表示

現在選ばれているルートが概略表示されます。

IC(インターチェンジ)表示

利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。



メニュー表示

(距離)

選ばれているルートの総距離が表示されます。

(所要時間)

機能設定(→P88)で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。

(料金)

利用する有料道路の料金区分と料金が表示されます。

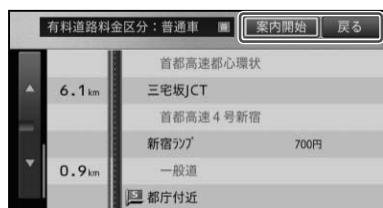
メモ

- ルート案内開始画面は、ノースアップ(→P30)となります。
- 渋滞情報(→P78, 122)が取得できている場合は、渋滞を考慮した所要時間が表示されます。
- 料金区分と料金表示は、「車両情報を設定する」(→P106)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金および首都高速・阪神高速のETC車料金に対応していません。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「*****円」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルートプロフィールで確認する

1 ルートプロフィールにタッチする(→P50)

ルートの情報がルートプロフィールとして表示されます。



2 案内開始 または 戻る にタッチする

メモ

- ・ルート編集メニュー(→P66)からの操作では、**案内開始**ではなく、**終了**が表示されます。

他のルートを選ぶ

1 他のルートにタッチする(→P50)

2 1～6の番号でルートを選び案内開始にタッチする



地図スクロール スクロール確認画面(→P52)でスケール変更と地図のスクロールができます。

メモ

- ・最大6本の候補ルートから選ぶことができます(候補ルートが同じになる場合もあります)。
- ・現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- ・推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- ・車両情報設定(→P106)の設定内容に従いルートの燃料消費量を算出し、ルート探索結果の中から最も燃料消費量の少ないルートをエコなルート(🚗🌿)として表示させることができます。

スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P27)とスケール変更(→P28)ができます。



また、**候補切換**にタッチすると、ルートが切り換わり、**案内開始**にタッチすると選んだルートで案内を開始します。



ルート地図を表示する

- 1 **ルート地図** にタッチする
(→P50)
- 2 **案内開始** または **戻る** にタッチする



ルート地図画面では、地図のスクロール(→P27)とスケール変更(→P28)ができます。

詳細ルート設定をする

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

メモ

- すでに案内中のルートがある場合は、ショートカットメニュー(→P25)で **ここへ行く** にタッチすると、目的地にするか立寄地にするかのポップアップメニューが表示されます。 **立寄地** にタッチして、立寄地を追加することができます。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

1 詳細ルート設定 - 立寄地指定にタッチする(→P50)



2 追加 にタッチする



3 場所を探して(→P42) 立寄地を決め、決定 にタッチする



メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 探索開始 にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え	ルート全体の総距離が短くなるように並べ替えます。
オート	
並べ替え	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。
マニュアル	

メモ

- さらに立寄地を追加するときは、手順**2**～**3**の操作を繰り返します。
- 立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- 乗降ICを指定(→P54)した地点は並び替えできません。

指定した立寄地に立ち寄るルートが1本だけ探索され、案内開始画面(→P50)が表示されますので、**案内開始**にタッチします。

乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

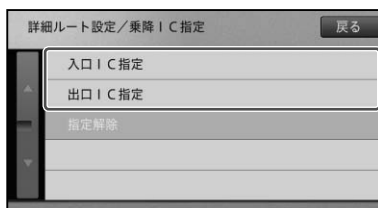
メモ

- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- 並べ替えや立寄地送り、立寄地の追加または削除を行うと、指定した乗降ICは解除されます。
- スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。→「スマートICを考慮したルート探索」(P56)

1 詳細ルート設定－乗降IC指定にタッチする(→P50)



2 入口IC指定または出口IC指定にタッチする



3 入口または出口となるインターチェンジにタッチする



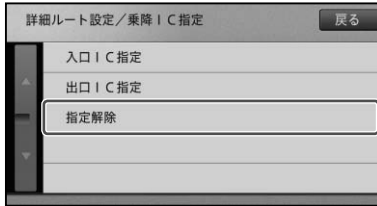
指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

メモ

- ジャンクション(JCT)を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降 IC 指定を解除するには

1 P54の手順2で指定解除にタッチする



2 入口・出口 / 入口のみ / 出口のみにタッチする



3 はいにタッチする

乗降 IC 指定を解除して、ルートが探索されます。

出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 詳細ルート設定 - 出発地指定にタッチする(→P50)



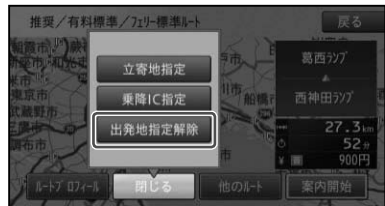
2 場所を探して(→P42)出発地を決め、決定にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

1 P55「出発地を指定する」の手順1で出発地指定解除にタッチする



2 はいにタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルート探索機能について

学習ルート探索

出発地、立寄地、目的地付近でよく使う道を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P88)
- 学習したルートを表示する機能はありません。
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去(→P75)してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

メモ

- スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P88)
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- スマートICに営業時間がある場合は、営業時間を考慮したルート探索を行います。スマートICの営業時間は、時間規制(→P56)と同様に考慮されます。
- スマートICは施設管理者の都合で閉鎖される場合があります。この場合はルート案内の対象となっても実際には利用できませんのでご注意ください。
- イージーセットアップ(→P102)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にスマートIC考慮ルート探索の設定が「ON」になります。

渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)

リアルタイムプローブ渋滞情報(→P109)を取得している場合、渋滞情報をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P88)
- 渋滞情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- リアルタイムプローブ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

時間規制を考慮したルート探索

通行規制の地域や時刻を考慮したルート探索を行います。

メモ

- 目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索できない場合があります。その場合はメッセージが表示され、規制を無視するか無視しないかを選ぶことができます。
- 時間・曜日・月日の条件付きで時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始時刻を基準に考慮します。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- ・案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗られない場合もあります。
- ・到着予想時刻には、「機能設定をする」(→P88) で設定した到着予想時刻速度が反映されます。またVICIS情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- ・目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、「機能設定をする」(→P88)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄地」とすることで、立寄地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ・ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、上側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が「案内地」と表示される場合があります。
- ・ルートインフォメーションは、ワイプ操作できます。→「ルートインフォメーションの操作」(P65)
- ・案内地に近づく(一般道: 約700 m、有料道: 約2 km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- ・情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン/情報表示は青色で表示されます。
- ・ルート探索については、「ルートに関する注意事項」(→P250)を参照してください。

案内地に近づくとき

案内地の手前約300 m (シンプルガイド時は500 m)に近づくとき、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向が表示されます。

アローガイド (工場出荷時の設定)



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、アローガイド／拡大図の変更ができます。→「機能設定をする」(P88)
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークが表示されます。また、次の案内地の情報がある場合は、画面上部に表示されます。
- 交差点案内表示は、AVソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- AVソース画面への交差点案内表示割り込み表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)
- 交差点案内表示中は、が表示されタッチすると、交差点案内を消すことができます。再度、交差点案内を表示したいときはにタッチします。

ワイプで操作する場合：

交差点案内表示は、ワイプ操作で表示を切り換えることができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	案内表示を解除します。
↓ワイプ	次の案内地を表示します。

案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づくと、イラストが表示されます。



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づくと

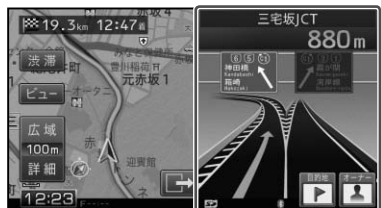
ルート上の有料道路分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



メモ

- 地点によりデータが収録されていない場合は、表示されません。

また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。

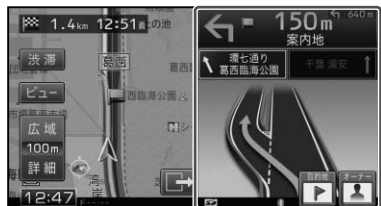


メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



メモ

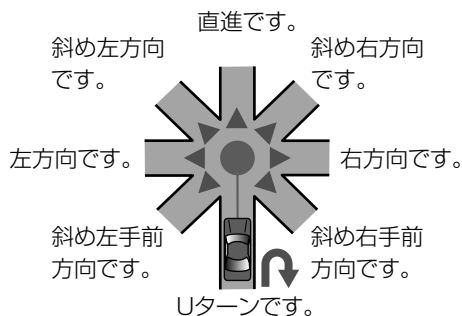
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で以下のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、〇〇円です。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

メモ

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 信号機ジャスト案内は ON/OFF できます。→「機能設定をする」(P88)

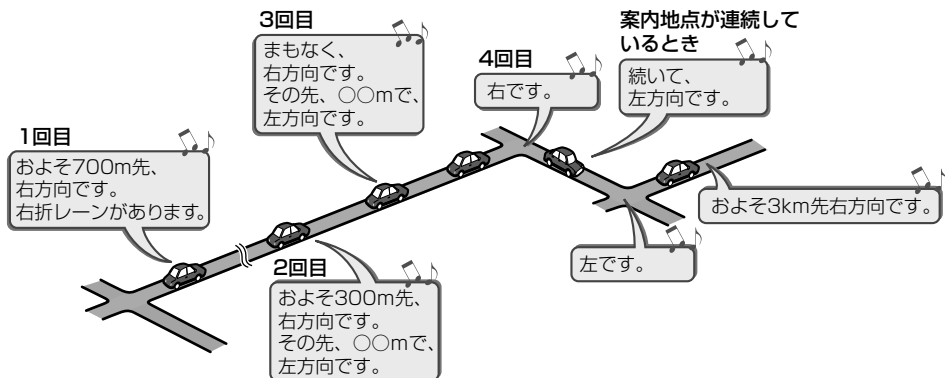
一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

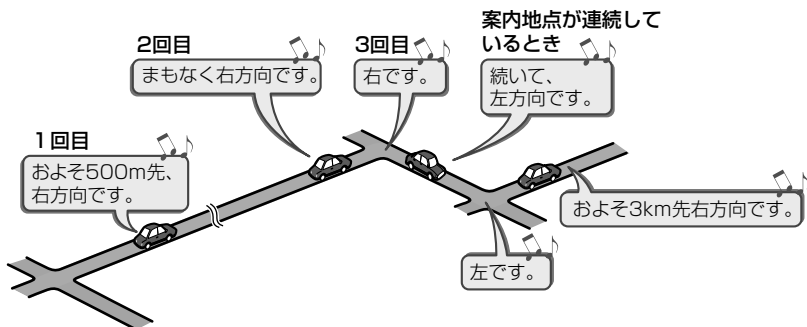
メモ

・音声案内の回数や内容をシンプルにすることができます。→「機能設定をする」(P88)

通常時



シンプルガイド時

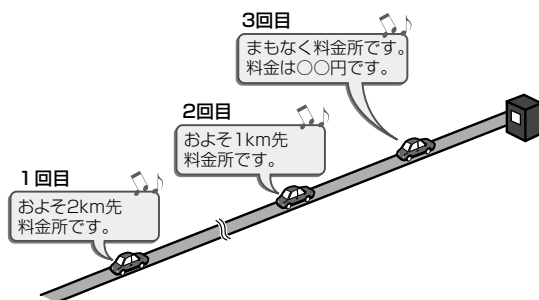


立寄地に近づいたら

立寄地の約300 m手前に近づくと、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→P59)などが表示されます。



メモ

- 料金表示は、車両情報設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「**車両情報を設定する**」(P106)
- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ・ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。

状況に応じて新しいルートを提案する

新しいルートが見つかった、「渋滞考慮オートリルートを行いました」または「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートを表示します(渋滞考慮オートリルート)。

1 新しいルート または 元ルート にタッチする



選んだルートでルート案内が再開されます。

ワイプで操作する場合：

ルート選択は、ワイプ操作で選択することができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



←ワイプ	元ルートで案内します。
→ワイプ	新ルートで案内します。

メモ

- ・渋滞考慮オートリルートはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)
- ・渋滞考慮オートリルートの案内が行われてから、一定区間を走行する間に新ルートまたは元ルートの選択がされなかった場合は、機能設定の「渋滞考慮オートリルート自動決定ルート」の設定に従い自動的に決定されます。渋滞考慮オートリルート自動決定ルートの設定は変更できます。→「機能設定をする」(P88)
- ・リアルタイムプローブ渋滞情報(→P122)を取得している場合は、渋滞情報が考慮されます。リアルタイムプローブ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- ・案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- ・新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- ・渋滞情報や規制情報の更新による渋滞考慮オートリルートが行われた場合、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートの方の案内となります。**確認**にタッチしてください（通行止め考慮オートリルート）。

ワイプで操作する場合：

通行止め案内は、ワイプ操作で確認することができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



↓ワイプ	通行止め案内を確認し、新ルートで案内します。
------	------------------------

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P88)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。



メモ

- **渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の情報まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

ルートインフォメーションの操作

ルートインフォメーションをワイプ操作すると、次の案内地を表示したり、案内表示を解除することができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→ P12)をご覧ください。

ルートインフォメーション



→ワイプ	案内表示を解除します。
↓ワイプ	次の案内地を表示します。



メモ

- 案内表示を再表示したいときは、にタッチします。

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

メモ

- ・ルートプロフィールでのルート確認や立寄地や出発地、乗降ICの指定は、ルート案内開始画面(→P50)でも行うことができます。

1 「メニュー」を押し、**ルート編集**にタッチする



ルートの編集メニュー画面が表示されます。



ルートプロフィール 設定したルートを確認することができます。(→P66)

詳細ルート設定 立寄地の追加など、ルートを詳細に設定することができます。(→P66)

立寄地送り 登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。(→P67)

デモ走行 出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。(→P67)

ルート消去 案内中のルートを消去することができます。(→P67)

メモ

- ・カスタム設定(→P115)で「ルート編集画面を表示する」を割り当てている場合は、**C**(カスタムボタン)を押して操作することもできます。

ルートプロフィールで確認する

操作方法は、「**ルートを探る**」-「**ルートプロフィールで確認する**」(→P52)と同様です。

条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「**ルートを探る**」-「**詳細ルート設定をする**」(→P53)と同様です。

1 **詳細ルート設定** - **ルート再探索**にタッチする



2 探索条件を変更して**探索開始**にタッチする



メモ

- 上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定(→P88)には反映されません。

ルートを消去する

1 **ルート消去**にタッチする(→P66)

2 **はい**にタッチする



ルートが消去されます。

メモ

- 消去したルートを元に戻すことはできません。

立寄地を先送りする

1 **立寄地送り**にタッチする(→P66)

次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

デモ走行で確認する

1 **デモ走行**にタッチする(→P66)



メモ

- デモ走行中は、画面右側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- デモ走行中は、ルート編集メニュー(→P66)に**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了させることができます。
- デモ走行は、終了させるまで繰り返行われます。

ルートを消去する

ルート案内を中止したい場合は、設定したルートを消去します。



メモ

・ルート編集メニューから消去することもできます。(→P66)

1 **メニュー** を押し、**ルート消去** にタッチする



2 **はい** にタッチする



案内中のルートが消去されます。



メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

場所を登録する	70
場所を登録する	70
選べる登録方法について	71
登録地を編集する	72
登録地の登録内容を編集する	72
登録した場所の名称を地図上に表示させる	73
効果音の鳴りかた	73
登録地を消去する	73
その他のデータを編集する	75
検索履歴を消去する	75
ルートの学習内容を消去する	75
走行軌跡を消去する	76

場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

メモ

- 自宅を含め1001地点まで登録できます。
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の登録内容を編集する」(P72)

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探索することができます。

また、登録した場所へ電話をかけたり近づくとき自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す(→P42)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 ここを登録する にタッチする



メモ

- 走行中は、手順2の操作後に地点が登録されません。手順3の画面は表示されません。

3 登録方法を選んでタッチする



4 入力終了 にタッチする



メモ

- ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 手順4で登録する名称を変更することができます。→「文字の入力操作」(P16)

選べる登録方法について

登録方法	登録内容
「検索施設名称」で登録する	「探した場所の施設名称」
「この地名」で登録する	「探した場所の地名」
「自宅」で登録する	「自宅」
「会社」で登録する	「会社」
「実家」で登録する	「実家」
「友達の家」で登録する	「友達の家」
「おじいちゃんの家」で登録する	「おじいちゃんの家」
「おばあちゃんの家」で登録する	「おばあちゃんの家」
「おじさんの家」で登録する	「おじさんの家」
「お婆さんの家」で登録する	「お婆さんの家」
「田舎」で登録する	「田舎」
「ふるさと」で登録する	「ふるさと」
「彼女の家」で登録する	「彼女の家」
「彼氏の家」で登録する	「彼氏の家」
名前をつけて登録する	お好みの名前をつけて登録することができます。

登録地を編集する

登録地に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ナビデータ編集** にタッチする

2 **登録地編集** にタッチする



登録地の編集メニュー画面が表示されます。



編集	登録時に設定された内容を編集することができます。(→P72)
消去	登録地を消去することができます。(→P73)
全消去	すべての登録地を消去します。(→P73)

登録地の登録内容を編集する

1 **編集** にタッチする(→P72)

2 登録内容を編集したい地点にタッチする



メモ

・**並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順 登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。

自車位置から近い順 自車位置から近い順に並べ替えます。

2Dマーク順 マークごとに並べ替えます。

3 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字(半角で20文字)まで入力できます。
-----------	-----------------------------------

電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音の設定ができます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

4 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の  マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。



プライベートマッピング



効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自転車から約500 m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約500 m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか本機の電源を入れ直さない(エンジンをかけ直さない)と効果音は鳴りません。
- 登録地の効果音よりも、ルート、VICSの音声案内が優先されます。

登録地を消去する

1 消去にタッチする(→P72)



メモ

- 全消去** にタッチすると、P74手順4の確認画面を表示して登録地をすべて消去します。

2 消去したい登録地にタッチする



選んだ登録地には、チェックマーク  が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての登録地が選択状態になります。
全解除	選択状態の登録地をすべて解除します。

 メモ

- **並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとサイドメニューが表示されます。

呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

3 **消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチする



登録地が消去されます。

その他のデータを編集する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として300件まで保存されていきます。

次の手順で検索履歴を消去することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ナビデータ編集** にタッチする

2 **検索履歴消去** にタッチする



3 **消去したい検索履歴** にタッチする



選んだ検索履歴には、チェックマーク ☒ が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての検索履歴が選択されます。
全解除	選択されている検索履歴すべてを解除します。または解除したい検索履歴を選んで解除できます。

4 **消去** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする

選んだ検索履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→「学習ルート探索」(P56)

よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

メモ

- すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ナビデータ編集** にタッチする

2 **学習ルート消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする

学習ルートが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。



メモ

- 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「機能設定をする」(P88)

1 **メニュー** を押し、**設定・編集**—**ナビデータ編集** にタッチする

2 **走行軌跡消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする



走行軌跡が消去されます。

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	78
VICS情報とは	78
VICS情報の表示形態	78
地図上でVICS情報を見る	79
緊急情報の自動表示	80
ルート上の渋滞情報を案内させる	80
渋滞オートガイド	80
渋滞チェック	80
VICSの文字・図形情報を見る	81
放送局を選ぶ	82
放送局の受信状態の確認について	82
その他の情報の利用	83
シリアルナンバーと デバイスナンバーを確認する	83
センサー学習状況を見る	83
接続状態を確認する	84
データバージョンを確認する	85
SDカード内の画像を表示する	86
スライドショーの画像切替時間を設定する	86

FM-VICS情報を利用する

車載のアンテナでFM-VICS 情報（VICS センターから提供）を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

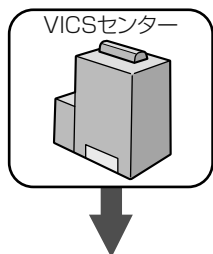
メモ

- 通信を必要とする渋滞情報に関しては、「オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する」(→P122)をご覧ください。

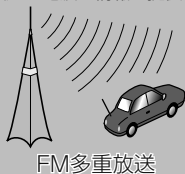
VICS情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見することもできます。



FM多重放送の電波で情報が提供されます。



FM多重放送

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

VICS情報の表示形態

VICS 情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル 3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



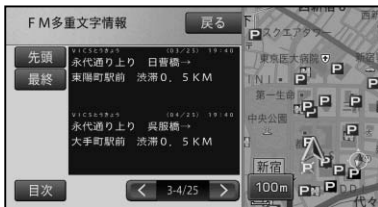
レベル 2: 簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1: 文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重放送によるVICS情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--:--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P82)
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は車周りの規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。（→P80）

VICSマークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

「VICSレベル 3 情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送による VICS 情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P82)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺の VICS 情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例:“およそ 3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に 5 分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFF できます。→「機能設定をする」(P88)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞 にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と文字情報および音声案内で確認することができます。



メモ

- ・**渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **渋滞情報** にタッチする



3 **表示させたい情報** にタッチする



図形情報	レベル2 (簡易図形) の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1 (文字) の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

4 **見たい情報の番号** にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



メモ

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**<**、**>** にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終** にタッチすると、先頭ページ / 最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局** にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「**放送局を選ぶ**」(P82)
- ・カスタム設定 (→P115) で「VICS図形情報画面を表示する」を割り当てている場合は、**C** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するとき
は、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **渋滞情報** にタッチする



3 **放送局選択** にタッチする



4 **放送局を探す方法** にタッチする



オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信感度が高い場合「High」、受信感度が低い場合「Low」と表示されます。

その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

シリアルナンバーとデバイスナンバーを確認する

本機のシリアルナンバーやデバイスナンバーを確認することができます。

1 **メニュー** を押し、**情報—システム情報** にタッチする

シリアルナンバーとデバイスナンバーが表示されます。

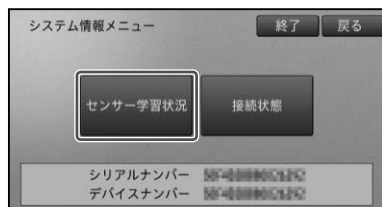


センサー学習状況を見る

センサーの学習状況を確認できます。

1 **メニュー** を押し、**情報—システム情報** にタッチする

2 **センサー学習状況** にタッチする



センサー学習

現在の走行モード (3D ハイブリッドモード / 簡易ハイブリッドモード) または「センサー初期学習中」が表示されます。

トリップメーター / 車速パルス数

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数が表示されます。

メモ

- **トリップメーター** または **車速パルス数** にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。
- **センサー学習** にタッチすると、**オールリセット** と **距離学習リセット** が表示されます。**オールリセット** にタッチすると、センサー学習をすべてリセットすることができます。**距離学習リセット** にタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。本体の取り付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、**オールリセット** にタッチしてください。また、距離精度が悪い場合には、**距離学習リセット** にタッチしてください。
- オールリセット、または距離学習リセットを行った場合、エコマネージャー (→P214) で計測したエコゲージやエコスコアの情報も一旦リセットされます。

前後G / 回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度

距離・方位 (左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

！ 注意

- ・走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。

メモ

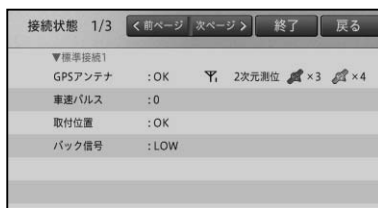
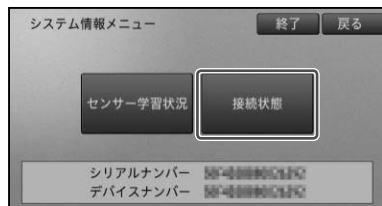
- ・学習度およびトリップメーター、車速パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- ・センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- ・本機の電源をOFF (エンジンをOFF) にしても、トリップメーターと車速パルス数は積算される場合があります。
- ・傾斜 (3D) 学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

各機器の接続状態、信号の状態などを確認できます。

1 **メニュー** を押し、**情報—システム情報** にタッチする

2 **接続状態** にタッチする



メモ

- ・**<前ページ / 次ページ>** で画面を切り換えられます。
- ・正しく表示されない場合や「測定不可」と表示された場合は、販売店にご相談ください。

GPS アンテナ

GPS アンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

その右側には、現在の測位状態 (3次元測位 / 2次元測位 / 未測位) と受信中の衛星の数が表示されます。橙色の衛星マークは測位に使用している衛星の数、黄色の衛星マークは捕捉中の衛星の数を示します。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。測位について詳しくは「GPSによる測位」(→P236) をご覧ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。

車速パルスの確認は、安全な場所で、低速 (5 km/h 程度) で行ってください。

取付位置

本機の設置状態が表示されます。しばらく走行してから確認してください。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「振動許容範囲外」または「取付角度許容範囲外」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

バック信号

バック信号入力 of 接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」 of 表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、別売のバックカメラを接続している場合は、シフトレバーを「R」(リバース) of 位置にしても自動的にバックカメラ of 映像に切り換えることができません。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキ of 状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

イルミネーション

イルミ電源 of 状態が表示されます。車のスモールライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11 V～15 V of 範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5 V of 程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

Bluetooth 機器 1 ～ 3

Bluetooth 機器 of 接続(ペアリング) of 状態が表示されます。正しく接続(ペアリング)されているときには接続した機器 of デバイス名、BDアドレス、プロファイル名が表示され、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナ of イラストは本機とBluetooth 機器 of 電波強度を確認できます。

※電波強度を確認するには、Bluetooth 設定を行い、本機とBluetooth 機器をワイヤレス接続する必要があります。詳しくは「Bluetooth 機器を登録する」(→P95)をご覧ください。

データバージョンを確認する

本機に収録された地図データおよび検索データのバージョンを確認することができます。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **データバージョン表示** にタッチする



データバージョンが表示されます。



3 **確認** にタッチする

SDカード内の画像を表示する

本機に挿入したSDカード内の画像ファイルを表示することができます。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』—『SDカードの出し入れ』
- 異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

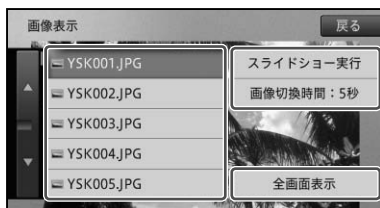
メモ

- JPEG、BMP形式で非プログレッシブ方式のファイルを表示することができます。
- 6 MBまでのファイルを表示できます。

- SDカードを挿入する
(→『スタートブック』)
- メニュー** を押し、**情報** にタッチする
- 画像表示** にタッチする



画像ファイルが検索され、リスト表示されます。



リスト項目	タッチした画像をリスト項目の背景に表示します。
スライドショー実行	スライドショーを開始します。
画像切換時間	スライドショーの表示時間(1枚あたりの映写時間)を設定します。(→P86)
全画面表示	選んだ画像を全画面で表示します。

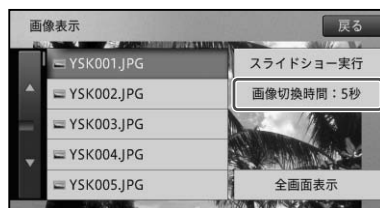
メモ

- 最大400ファイルまでリスト表示できます。
- スライドショー実行中画面または全画面表示からリスト表示に戻るには、画面にタッチします。

スライドショーの画像切換時間を設定する

スライドショーで表示される画像の1枚の表示時間を設定します。
工場出荷時は「5秒」です。

- 画像切換時間** にタッチする
(→P86)



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

5秒 → 10秒 → 30秒 → 1分 → 5分
→ 5秒に戻る

メモ

- スライドショーは、ルートフォルダーから8階層目までのフォルダー内の画像を最大400枚まで表示できます。

ナビゲーションの設定

機能設定をする	88	車両情報を設定する	106
設定内容の詳細	89	有料道路料金区分の設定	106
地図表示	89	駐車制限(車種)の設定	107
ルート・案内	90	駐車制限(車両寸法)の設定	107
渋滞情報	92	車両重量の設定	108
通信設定をする	93	総排気量の設定	108
ユーザー登録について	93	リアルタイムプローブ設定をする	109
通信機器使用上のご注意	94	リアルタイムプローブ設定を行う	109
Bluetoothの設定を行う	94	初期登録	109
Bluetooth機器を登録する	95	プローブ情報送信の設定	110
Bluetooth機器を切り換える	97	データ取得開始タイミングの設定	110
プロバイダを変更する	97	データ受信方法の設定	111
Bluetooth機器を削除する	98	取得タイミングと連続取得の取得動作について...	111
パスキーを変更する	99	その他の設定をする	112
電波発射をON/OFFする	99	自車位置のずれを修正する	112
携帯電話接続確認案内を設定する	99	走行中の道路を切り換える	112
ナビゲーションの音量を設定する	100	セキュリティロック設定をする	113
音量設定をする	100	セキュリティロックが働いた場合の操作	114
案内/電話スピーカー設定をする	101	ワイプ枠を表示する	114
イージーセットアップをする	102	カメラの入力設定をする	115
イージーセットアップを行う	102	カスタムボタンを設定する	115
イージーセットアップを開始する	102	設定できる機能(コマンド)について	116
音量の設定	103	フロントカメラ・サイドカメラを使う場合	116
自宅の設定	103	SDカード登録確認メッセージ表示設定	117
ETC取付状態の設定	103	Bose®サウンドシステム設定をする	117
カスタムボタンの設定	104	設定を初期状態に戻す	119
Bluetoothの設定	104	一括で工場出荷状態に戻す	119
車両情報の設定	104		
パーソナライズの設定	104		
イージーセットアップを終了する	105		

機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の3つのメニューに分類されています。

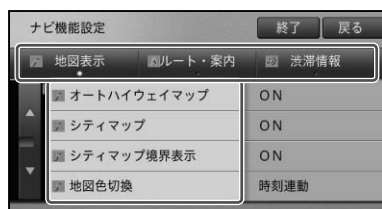
- ・地図表示(→P89) ・ルート・案内(→P90) ・渋滞情報(→P92)

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **ナビ機能設定** にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



4 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

メモ

- ・分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

設定内容の詳細

地図表示

*は工場出荷時の設定です。

オートハイウェイマップ

- 「ON」* 自動的にハイウェイモードにします。
 「OFF」 自動的にハイウェイモードにしません。

シティマップ

- 「ON」* 市街地図が表示されます。
 「OFF」 通常の地図が表示されます。

シティマップ境界表示(シティマップON時に選択可)

- 「ON」 シティマップの境界を画面に表示します。
 「OFF」* シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

- 「時刻連動」* 日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
 「イルミ連動」 スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
 「昼色固定」 常に昼画面のままです。

走行軌跡表示

- 「ON」* 走行軌跡が表示されます。
 「OFF」 走行軌跡は表示されません。

走行軌跡自動消去

- 「自宅付近」 自宅で登録した場所から約 100 m 以内の地点で本機の電源を切る(エンジンを切る)と、走行軌跡が自動的に消去されます。
 「電源オフ時」 本機の電源を切る(エンジンを切る)と走行軌跡が自動的に消去されます。
 「OFF」* 走行軌跡は自動消去しません。

2D(ノーマルビュー) 固定スクロール

- 「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
 「OFF」* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

現在地情報の表示

- 「市区町村名」* 現在地が市区町村名で表示されます。
 「走行道路名」 現在地が走行道路名で表示されます。(道路名がない場合は市区町村名が表示されます。)
 「緯度経度」 現在地が緯度経度で表示されます。

かんたん目的地ボタン表示

- 「ON」* かんたん目的地検索タッチキーが表示されます。
 「OFF」 かんたん目的地検索タッチキーは表示されません。

自車マーク設定

- パターン1* 自車マークがパターン1に切り換わります。
 パターン2 自車マークがパターン2に切り換わります。
 パターン3 自車マークがパターン3に切り換わります。
 パターン4 自車マークがパターン4に切り換わります。

▲ ルート・案内

*は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

- 「推奨」* 信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
- 「エコ優先」 燃料消費量が少なくなるようなルートが探索されます。
- 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」* 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

- 「標準」* フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
- 「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

- 「ON」* 学習したルートを考慮します。
- 「OFF」 学習したルートを考慮しません。

渋滞考慮ルート探索

- 「ON」* 渋滞情報を考慮してルートが探索されます。
- 「OFF」 渋滞情報は考慮されません。

スマートIC考慮ルート探索※1※2

- 「ON」 スマートICを利用するルートが探索されます。
- 「OFF」* スマートICを利用しないルートが探索されます。

渋滞考慮オートリルート

- 「ON」* 渋滞情報を考慮して、オートリルートを行います。
- 「OFF」 渋滞情報を考慮したオートリルートが働きません。

渋滞考慮オートリルート自動決定ルート

- 「元ルート」* 元ルートを選択します。
- 「新ルート」 新ルートを選択します。

道のり・到着予想時刻表示

- 「目的地」* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
- 「立寄地」 次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度(一般道)

- 「20 km/h」 平均速度 20 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「30 km/h」* 平均速度 30 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「40 km/h」 平均速度 40 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「50 km/h」 平均速度 50 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「60 km/h」 平均速度 60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度 (有料道)

「60 km/h」	平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「80 km/h」*	平均速度 80 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「100 km/h」	平均速度 100 km/h として到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

「アローガイド」*	案内地までの距離 (数値と矢印) と交差点名の情報が強調され表示されます。
「拡大図」	平面的な交差点拡大図が表示されます。

ETC レーン案内表示※3

「ON」*	有料道路の料金所付近で ETC レーン案内が表示されます。
「OFF」	ETC レーン案内は表示されません。

一般道シンプルガイド

「ON」	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
「OFF」*	シンプルガイドを行いません。

信号機ジャスト案内

「ON」*	信号機ジャスト案内を行います。
「OFF」	信号機ジャスト案内を行いません。

AV 画面への割り込み

「ON」*	AV 画面表示中でも交差点案内図などを割り込み表示します。
「OFF」	AV 画面表示中は、交差点案内図などを割り込み表示しません。

有料道注意地点・県境案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

踏切案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

リフレッシュ案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ライト点灯案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

e スタート案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

パーキングブレーキアラート

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

渋滞オートガイド

「ON」*	ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」	ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。

※2 イージーセットアップの「ETC取付状態設定」が「車に取り付けている」のときは自動的に「ON」になります。
「車に取り付けていない」のときは自動的に「OFF」になります。

※3 イージーセットアップの「ETC取付状態設定」を行うと、自動的に「ON」になります。

渋滞情報

*は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

「有料道・一般道」*	有料道路・一般道路の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」	渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示※1

「ON」*	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

順調表示※2

「ON」	渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」*	順調表示はされません。

規制表示※1

「ON」*	交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場マーク表示※1

「ON」*	駐車場の渋滞情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

※1 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※2 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

通信設定をする

データ通信機能やハンズフリー機能をお使いになるには、Bluetooth機器をあらかじめ設定する必要があります。

メモ

- データ通信機能をお使いにならない場合（電話機能やBluetooth Audio機能、スマートフォン連携機能のみ使用）は、機器登録後、プロバイダの接続先を初期化してください。（→P97）
- 最大5台のBluetooth機器を登録できます。Bluetooth機器の切り換えかたや削除の方法は「Bluetooth機器を切り換える」（→P97）、「Bluetooth機器を削除する」（→P98）をご覧ください。
- Bluetooth Audio（→P186）やスマートフォン連携機能（→P223）をお使いになる場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。
- AVプロファイルを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、Bluetooth Audioの優先接続機器として設定されます。詳しくは「Bluetooth Audioの操作のしかた」（→P186）をご覧ください。
- イージーセットアップ（→P102）で設定することもできます。

通信機能※1		ユーザー登録	初期登録 （→P109）	ご利用料金※2
携帯電話機能（→P206）		不要	不要	無料
オンデマンドVICS（→P122）		不要	不要	無料
通信コンテンツ	駐車場満空情報（→P127）	不要	不要	無料
	ガスタバ価格情報（→P126）	不要	不要	無料
天気予報（→P125）		不要	不要	無料
セキュリティ（→P113）		要	不要	無料
リアルタイムプローブ（→P122）		要	要	無料
Bluetooth Audio（→P186）		不要	不要	無料
スマートフォン連携機能（→P223）		不要	不要	無料

※1 各種データ通信サービスについては、予告なく休止または中止する場合があります。

※2 発売時現在。（通信費および接続料金はお客様負担となります）

ユーザー登録について

本製品の無料地図更新やリアルタイムプローブなどの各種通信機能、パソコンリンクソフトのご利用には、事前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法について詳しくは『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください

通信機器使用上のご注意

- ・ 本機は、Bluetoothワイヤレス接続にのみ対応しています。接続ケーブルなどを使つての接続はできませんので、ご注意ください。
- ・ Bluetoothに対応した機器でも、機器によっては本機との接続に制限がある場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- ・ 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳転送
DUN (DialupNetworking Profile)	データ通信
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)	AV機器のリモコン機能
SPP (Serial Port Profile)	シリアル通信

- ・ 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- ・ 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。
- ・ 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- ・ お使いの携帯電話によっては、専用サーバー接続中に電話を着信した場合、専用サーバーとの接続が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に専用サーバーに再接続してください。

- ・ お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFF (→P132) にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

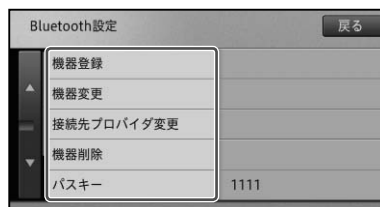
Bluetoothの設定を行う

1 **メニュー**を押し、**設定・編集－電話・通信－Bluetooth設定**にタッチする

メモ

- ・ 携帯電話メニュー画面 (→P207) や、Bluetooth Audio 画面 (→P186) で **Bluetooth設定** にタッチして操作する方法もあります。

2 設定する項目を選んでタッチする



機器登録	Bluetooth接続するBluetooth機器を本機に登録します。あらかじめBluetooth機器のBluetooth設定をONにしてください。(→P95)
機器変更	Bluetooth接続するBluetooth機器を2台以上登録したときは、手動で切り換えることができます。(→P97)

接続先プロ バイダ変更	接続中のBluetooth機器の接続先プロバイダを変更します。変更方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。また、通信機能をお使いにならない場合は、プロバイダの設定を初期化する必要があります。(→P97)
機器削除	Bluetooth登録したBluetooth機器を削除します。(→P98)
パスキー	本機のパスキーを変更することができます。(→P99)
電波発射	本機からの電波発射をON/OFFすることができます。(→P99)
携帯電話接 続確認案内	本機を起動してから、所定時間内に本機と携帯電話の接続がされない場合の案内をON/OFFすることができます。(→P99)

Bluetooth機器を登録する

1 機器登録にタッチする (→P94)

メモ

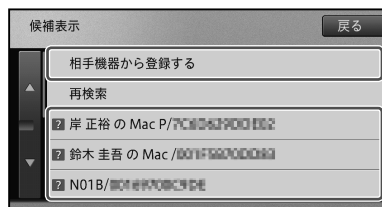
- Bluetooth Audioが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は**はい**を、中断したくない場合は**いいえ**を選んでください。
- すでにBluetooth機器が5台登録されている場合は、**機器削除**にタッチしてBluetooth機器の削除を行ってから(→P98)、Bluetooth機器の登録を行ってください。

▼
周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は約20秒間行われ、10機器まで発見できます。

▼
Bluetooth機器が見つかったと、リスト表示されます。

お使いのBluetooth機器によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

2 登録するBluetooth機器に タッチする



3 本機またはBluetooth機器 を操作してペアリングを行う



メモ

- 画面右下の水色の点滅は、通信中を示します。
- Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手を特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
- Bluetooth機器に本機を登録(機器登録・機器認証)する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機は、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ通信、メモリダイヤル転送^{*}、Bluetooth Audio、NaviCon操作に対応しています。

※お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。



登録完了のメッセージが表示されます。

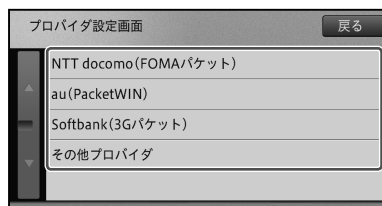
4 確認にタッチする



登録したBluetooth機器のプロファイルによっては以下の設定が続いて行えます。

プロバイダ設定

登録したBluetooth機器でデータ通信する際に使用するプロバイダを設定します。

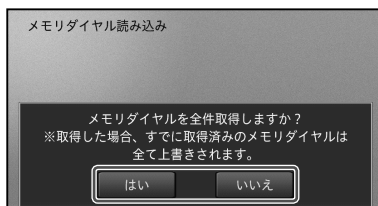


メモ

- 「NTT docomo (FOMAパケット)」を使用する場合は、NTT docomoが提供するインターネットサービスプロバイダ「moperaU」への申込みが必要です。詳しくは、ドコモ インフォメーションセンターへお問い合わせください。

メモリダイヤル読み込み

登録したBluetooth機器のメモリダイヤルを本機に読み込むことができます。



設定完了のメッセージが表示されます。



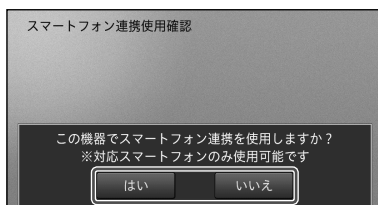
Bluetooth Audio 使用確認

登録したBluetooth機器でBluetooth Audio機能を使用するかしないかを選びます。



スマートフォン連携使用確認

登録したスマートフォンでスマートフォン連携機能を使用するかしないかを選びます。



設定完了のメッセージが表示されます。



5 確認にタッチする

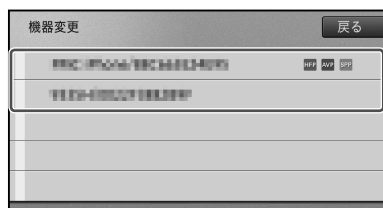
Bluetooth機器を切り換える

メモ

- Bluetooth Audioを使用中にBluetooth機器の切り換え操作を行うと、Bluetooth Audioの再生が中断されます。
- 選んだBluetooth機器が動作中(通話中/データ通信中)の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。

1 機器変更 にタッチする (→P94)

2 切り換えるBluetooth機器 にタッチする



3 項目を選んでタッチする



ハンズフリー

ハンズフリー機能を使用します。

Bluetooth Audio	Bluetooth Audio機器のみとして使用します。
スマートフォン連携	スマートフォン連携機能を使用します。

メモ

- 「ハンズフリー」に設定した場合はHFP、「Bluetooth Audio」に設定した場合はAVP、「スマートフォン連携」に設定した場合はSPPのアイコンが表示されます。
- 「Bluetooth Audio」に設定すると、AVソースをBluetooth Audioに切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。

プロバイダを変更する

メモ

- 機器登録(→P95)したBluetooth機器にあわせてプロバイダを設定してください。
- プロバイダの設定内容は、プロバイダの都合により変更される場合があります。その場合はプロバイダに設定内容をお問い合わせのうえ、手動で設定してください。

1 接続先プロバイダ変更 にタッチする (→P95)

2 接続するBluetooth機器のタイプに合わせたプロバイダに タッチする



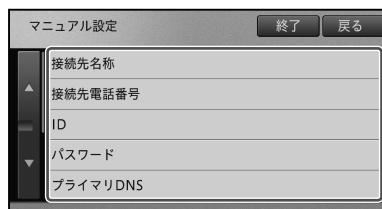
メモ

- 「NTT docomo (FOMA/パケット)」を使用する場合は、NTT docomoが提供するインターネットサービスプロバイダ「moperaU」への申込みが必要です。詳しくは、ドコモ インフォメーションセンターへお問い合わせください。

その他プロバイダ	ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。
プロバイダ設定初期化	通信機能をお使いにならない場合（電話機能のみを使用するなど）、プロバイダの設定を初期化して未設定にします。

手動で接続先の設定を行う

- 1 その他プロバイダ にタッチする (→P97)**
- 2 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する**



設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	プライマリDNSのIPアドレス
「セカンダリDNS」	セカンダリDNSのIPアドレス
「Proxyサーバー」	「使う」、「使わない」
「Proxyサーバー名」	Proxyサーバーの名称
「ポート番号」	Proxyサーバーのポート番号

* 上記はプロバイダより指定されたものをお使いください。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“*”で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192. 168. 2. 255の場合は、「192.168. 002. 255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバーを使用する場合は、「使う」を選択してください。
- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にはできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。
例：192. 168. 2. 255の場合は、そのまま「192. 168. 2. 255」と入力する。

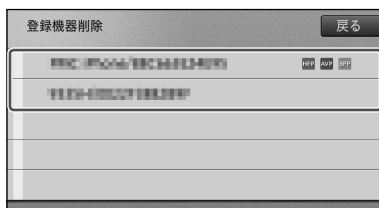
3 終了 にタッチする

Bluetooth機器を削除する

メモ

- 選んだBluetooth機器が動作中の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。

- 1 機器削除 にタッチする (→P95)**
- 2 削除するBluetooth機器にタッチする**



3 はいにタッチする

選択したBluetooth機器が削除されます。

パスキーを変更する

1 パスキーにタッチする (→P95)

2 変更するパスキーを入力し、 入力終了にタッチする



電波発射を ON/OFF する

1 電波発射にタッチする (→P95)

2 ON または OFF にタッチする



ON 電波発射を行います。

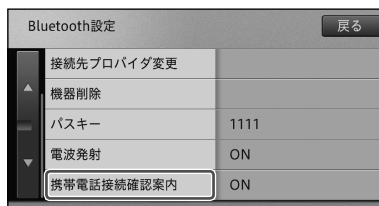
OFF 電波発射を行いません。

メモ

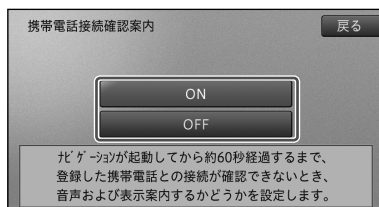
- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

携帯電話接続確認案内を設定する

1 携帯電話接続確認案内にタッチする(→P95)



2 ON または OFF にタッチする



ON 携帯電話接続確認案内を行います。

OFF 携帯電話接続確認案内を行いません。

ナビゲーションの音量を設定する

ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の受話・着信音量の調整と、オーディオの消音設定、案内音声や受話音を出力するスピーカー設定を行います。

音量設定をする

ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の受話音量と着信音量の調整、操作音のON/OFFを設定します。

メモ

- ・イージーセットアップ (→P102) で設定することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **音量設定** にタッチする

メモ

- ・**設定・編集** - **電話・通信** - **音量設定** にタッチして操作する方法もあります。

2 設定したい項目にタッチする



案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

受話音量

+	受話音量が大きくなります。
-	受話音量が小さくなります。

着信音量

+	着信音量が大きくなります。
-	着信音量が小さくなります。

メモ

- ・操作音は、案内音量と同じ大きさで鳴ります。
- ・カスタム設定 (→P115) で「音量設定画面を表示する」を割り当てている場合は、**C** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

注意

- ・操作音をOFFに設定された場合、SDカード挿入不良などの警告音も鳴りません。ご注意ください。

案内/電話スピーカー設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。

工場出荷時は「フロントL + フロントR」です。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **案内/電話スピーカー設定** にタッチする



3 **出力させたいスピーカーにタッチする**



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL+	フロント左右から出力します。
フロントR	
フロントR	フロント右側から出力します。

イージーセットアップをする

イージーセットアップを行う

画面の指示に従って各設定をかんたんに行うことができます。

イージーセットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

音量設定

ナビの案内音量と操作音、受話音量、着信音量を設定できます。



自宅設定

自宅の登録や変更ができます。



ETC取付状態設定

ETC車載器が車に取り付けられているかどうか設定します。



カスタム設定

C ボタンに割り当てる機能を設定できます。



Bluetooth設定

Bluetooth機器の登録と、通信機能を使うためのプロバイダの設定ができます。



車両情報設定

車の有料道路料金区分や駐車制限などを設定できます。



パーソナライズ設定

ユーザーアイコン、ユーザー名、案内音量、操作音、地図の表示などをユーザーごとに設定できます。

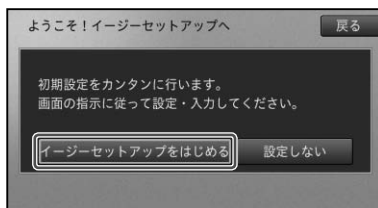
イージーセットアップを開始する

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **イージーセットアップ** にタッチする



3 **イージーセットアップをはじめる** にタッチする



メモ

- イージーセットアップ設定中は、**次へ** にタッチすると次の設定へ、**前へ** にタッチすると前の設定に移ることができます。
- **終了** にタッチすると、その時点までの設定を保存してイージーセットアップ終了画面 (→ P105) に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定することができます。

音量の設定

4 **+** または **-**、**ON** または **OFF** にタッチして設定する



「案内音量」	ナビの音声案内の音量を調整します。
「操作音」	本機の操作音のON/OFFを設定します。
「受話音量」	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
「着信音量」	電話の着信音量を調整します。

5 **次へ** にタッチする

自宅の設定

6 **自宅登録** にタッチする



メモ

- すでに自宅が登録済みの場合は、**登録変更**が表示されます。タッチすると手順 **7** に進み、自宅の場所を変更して上書きすることができます。

7 場所を探して(→P42)、**決定** にタッチする



8 **次へ** にタッチする

ETC取付状態の設定

9 状態を選んでタッチする



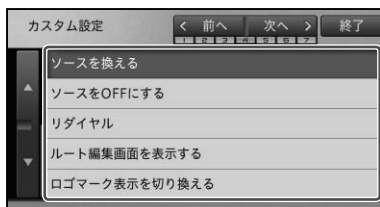
メモ

- 「車に取り付けている」に設定すると、機能設定(→P88)の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定(→P88)の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。
- ルート案内中は、設定できません。

10 **次へ** にタッチする

カスタムボタンの設定

11 機能を選んでタッチする



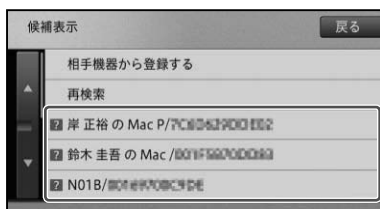
12 次へにタッチする

Bluetoothの設定

13 機器登録にタッチする



14 接続する機器名にタッチする



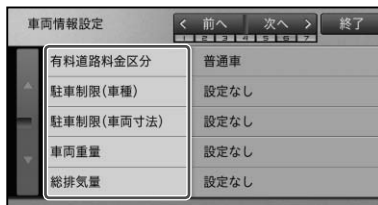
メモ

- 接続する機器がリストにない場合は、**相手機器から登録する**にタッチしてBluetooth機器より登録してください。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(→P95)をご覧ください。
- Bluetoothの設定の詳細については、「Bluetoothの設定を行う」(→P94)をご覧ください。

15 次へにタッチする

車両情報の設定

16 各項目を選んで内容を設定する



メモ

- 設定された駐車制限(車種・車両寸法)や車両重量、総排気量は、エコなルート探索および駐車場や有料道路料金の案内に反映されます。
- ルート案内中や、ハイウェイモード中の場合は、「有料道路料金区分」の設定はできません。

17 次へにタッチする

パーソナライズの設定

現在使用中のユーザー(→P221)専用の設定を行います。

18 各項目を選んで内容を設定する



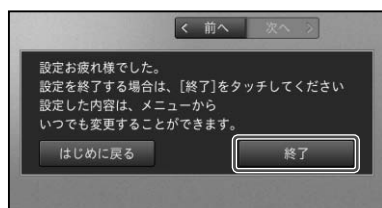
メモ

- パーソナライズの設定項目の詳細については、「パーソナライズ機能を利用する」(→P217)をご覧ください。

19 次へにタッチする

イーजीセットアップを終了する

20 **終了** にタッチする



前へ	ひとつ前の画面に戻ります。
はじめに戻る	イーजीセットアップ開始画面(→P102)に戻ります。

車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、車両寸法、車両重量、排気量を設定します。ここで設定された内容がエコなルート探索および駐車場や有料道路料金の案内に反映されます。



メモ

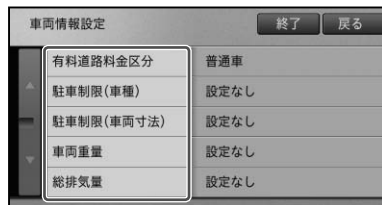
・イージーセットアップ(→P102)で設定することもできます。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**にタッチする

2 **車両情報設定**にタッチする



3 各項目を選んで内容を設定する



有料道路料金区分	有料道路走行時の料金区分を設定します。(→P106)
駐車制限(車種)	駐車場利用時の車種制限を設定します。(→P107)
駐車制限(車両寸法)	駐車場利用時の車両寸法制限を設定します。(→P107)
車両重量	車両の重量を設定します。(→P108)
総排気量	車両の総排気量を設定します。(→P108)



メモ

・ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

4 **終了**にタッチする

有料道路料金区分の設定

1 **有料道路料金区分**にタッチする(→P106)

2 該当する区分を選んでタッチする



駐車制限(車種)の設定

- 1 **駐車制限(車種)**にタッチする
(→P106)
- 2 該当する車種を選んでタッチする



選ばれた車種のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ・該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

- 3 **戻る**にタッチする

駐車制限(車両寸法)の設定

- 1 **駐車制限(車両寸法)**にタッチする
(→P106)
- 2 入力する項目を選んでタッチする



- 3 車検証などを参考に寸法を入力し、**入力終了**にタッチする



引き続き他の項目を入力することができます。入力を終了する場合は**戻る**にタッチしてください。

メモ

- ・一度設定した値をクリアするには、それぞれの入力画面で**設定解除**にタッチします。

車両重量の設定

- 1 **車両重量** にタッチする
(→P106)
- 2 車検証などを参考に車両重量を入力し、**入力終了** にタッチする



メモ

- 一度設定した値をクリアするには、**設定解除** にタッチします。

総排気量の設定

- 1 **総排気量** にタッチする
(→P106)
- 2 車検証などを参考に総排気量を入力し、**入力終了** にタッチする



メモ

- 一度設定した値をクリアするには、**設定解除** にタッチします。

リアルタイムプローブ設定をする

リアルタイムプローブを利用するために必要な設定を行います。

メモ

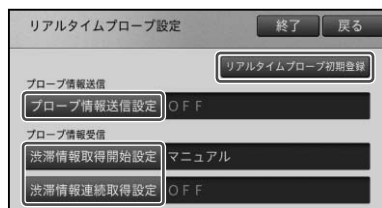
- ・「プローブ情報」とは、以下のデータを総称した名称です。
 - 蓄積型プローブ SDカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機内蔵のメモリーに蓄積された走行履歴データ
 - リアルタイムプローブ 本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ
- ・蓄積型プローブデータは最大で約 1 000 km 分が本機内蔵のメモリーに保存され、それを超えると古いデータから削除されます。
- ・リアルタイムプローブをご利用いただくには、あらかじめ通信設定 (→P93)、ユーザー登録 (→『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」) およびリアルタイムプローブ設定 (→P109)が必要となります。

リアルタイムプローブ設定を行う

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集**—**電話・通信**にタッチする
- 2 **リアルタイムプローブ設定**にタッチする



- 3 **設定する項目を選んでタッチする**



リアルタイムプローブ初期登録

リアルタイムプローブを利用するための初期登録を行います。(→P109)

プローブ情報送信設定

プローブ情報送信の有無 (ON/OFF) を設定します。(→P110)

波滯情報取得開始設定

波滯情報を自動で取得するか手動で取得するか (オート/マニュアル) を設定します。(→P110)

波滯情報連続取得設定

波滯情報の連続取得の有無 (ON/OFF) を設定します。(→P111)

初期登録

メモ

- ・あらかじめ通信設定を行ってください。(→P93)

- 1 **リアルタイムプローブ初期登録**—**登録する**にタッチする

通信が開始され、専用サーバーに接続されます。

メモ

- ・回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい**にタッチしてください。

- 2 **ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、入力終了**にタッチする

初期登録が完了します。

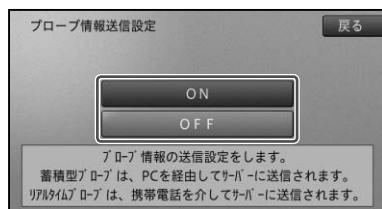
メモ

- 万が一、ニックネームやパスワードを忘れた場合は、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

プローブ情報送信の設定

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **プローブ情報送信設定** にタッチする(→P109)
- 2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	プローブ情報を送信します。
OFF	プローブ情報は送信しません。 (リアルタイムプローブ機能は利用できません。)

メモ

- ONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報消去の確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。
- 「OFF」に設定した状態では、リアルタイムプローブ渋滞情報の取得、およびプローブ情報の蓄積は行われません。

データ取得開始タイミングの設定

工場出荷時は「マニュアル」です。

- 1 **渋滞情報取得開始設定** にタッチする(→P109)
- 2 **オート** または **マニュアル** にタッチする



オート	本機が起動後、本機がはじめてBluetooth機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に情報の取得を行います。
マニュアル	渋滞 に長くタッチするか渋滞情報メニュー(→P24)の リアルタイムプローブ情報取得 にタッチすると、渋滞情報を取得します。

メモ

- **オート** を選ぶと、確認メッセージが表示されます。設定を実行する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。
- 通費および接続料金はお客様負担となります。

データ受信方法の設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 渋滞情報連続取得設定にタッチする(→P109)

2 ON または OFF にタッチする



ON	情報の取得を一定間隔で行います。
OFF	連続取得は行いません。

メモ

- **ON** を選べると、確認メッセージが表示されます。設定を実行する場合は **はい**、キャンセルする場合は **いいえ** にタッチしてください。
- 連続取得を ON に設定した場合、取得間隔は以下のようになります。
 - ー ルートあり時：10分間隔
 - ー ルートなし時：20分間隔
- 専用サーバーの状態によっては、設定した取得時間間隔どおりに動作しない場合があります。
- 通信費および接続料金はお客様負担となります。

※リアルタイムプローブはバイオニア株式会社が提供するサービスです。

取得タイミングと連続取得の取得動作について

取得タイミングと連続取得の関係は、以下の表のようになります。

渋滞情報取得開始設定	
	オート
ON	本機が起動後、本機がはじめて Bluetooth 機器との接続を確認した時点で1度だけ自動的に情報の取得を行い、以降一定間隔で連続取得します。
OFF	本機が起動後、本機がはじめて Bluetooth 機器との接続を確認した時点で1度だけ自動的に情報の取得を行い、以降は手動取得操作(→P123)を行った時点で取得します。

その他の設定をする

自転車位置のずれを修正する

自転車位置がずれた場合は、修正することができます。自転車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **自転車位置補正** にタッチする

2 **自転車位置修正** にタッチする



3 **8方向矢印キー** にタッチして **十字カーソル** を現在地に合わせる

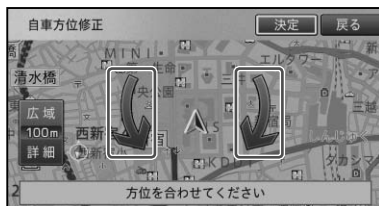


メモ

- **微調整** にタッチすると、8方向矢印キーの表示／非表示を切り換えることができます。
- 8方向矢印キー表示中に走行を開始した場合は、**微調整** にタッチして8方向矢印キーを消すことが、一度だけできます。

4 **決定** にタッチする

5 左右の回転矢印にタッチして自転車の向きを調整する



6 **決定** にタッチする

自転車位置が修正されます。

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自転車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自転車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **自転車位置補正** にタッチする

2 **別道路切換** にタッチする



異なる種別の道路へ自転車位置が修正されます。

メモ

- 自転車位置が修正できない場合もあります。
- ルート案内中は、自転車位置を修正後ルートを探し直します。

セキュリティロック設定をする

セキュリティロック設定をすることで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、主な機能が使えないように設定することができます。セキュリティロックの設定は、専用サーバーに接続して行います。あらかじめ通信機器を接続してから操作してください。また、事前にユーザー登録も必要となります。ユーザー登録については、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

！ 注意

- 本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れるときは必ずキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いいたします。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **セキュリティロック** にタッチする



通信が開始され専用サーバーに接続されます。

✎ メモ

- 回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチしてください。

3 **確認** にタッチする

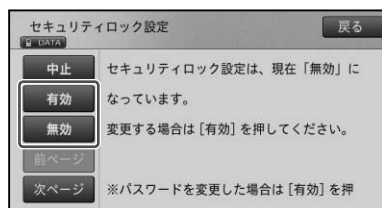
4 ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、**入力終了** にタッチする

現在のセキュリティ設定状態が表示されます。

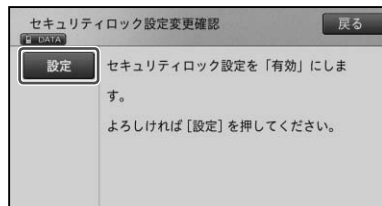
✎ メモ

- 万が一、ニックネームやパスワードを忘れた場合は、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

5 現在の状態に合わせて、**有効** または **無効** にタッチする



6 **設定** にタッチする



7 **確認** にタッチする



セキュリティが有効または無効になります。

セキュリティロックが働いた場合の操作

セキュリティロックを有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、ACCをONにすると、以下の画面が表示されます。

1 確認にタッチする



2 ユーザー登録時に設定したパスワードを入力し、入力終了にタッチする



メモ

- 万が一、パスワードを忘れた場合は、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

3 確認にタッチする



ナビゲーションが起動します。

ワイプ枠を表示する

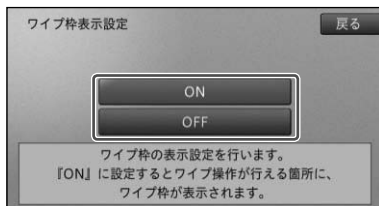
ワイプ操作が行える範囲を示す枠を表示することができます。

1 [メニュー] を押し、[設定・編集-システム設定] にタッチする

2 ワイプ枠表示設定にタッチする



3 ON または OFF にタッチする



- | | |
|-----|---------------|
| ON | ワイプ枠が表示されます。 |
| OFF | ワイプ枠が表示されません。 |

カメラの入力設定をする

本機に接続した別売カメラの入力設定を行います。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集**—**システム設定** にタッチする

2 **カメラ設定** にタッチする



3 項目を選んでタッチし、**ON** または **OFF** にタッチする



フロントカメラ

ON 本機に別売のフロントカメラを接続した場合にONに設定します。

OFF 本機に別売のフロントカメラを接続していない場合、または一時的にフロントカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

サイドカメラ

ON 本機に別売のサイドカメラを接続した場合にONに設定します。

OFF 本機に別売のサイドカメラを接続していない場合、または一時的にサイドカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

バックカメラ

ON 本機に別売のバックカメラを接続した場合にONに設定します。

OFF 本機に別売のバックカメラを接続していない場合、または一時的にバックカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

擬似バンパーライン表示

ON バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインを表示させたい場合はONに設定します。

OFF バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインを表示させたくない場合はOFFに設定します。

カスタムボタンを設定する

本体の **ⓐ** (カスタムボタン) に割り当てる機能を設定します。

メモ

- 工場出荷時は、「ソースを換える」に設定されています。
- イーजीセットアップ (→P102) で設定することもできます。

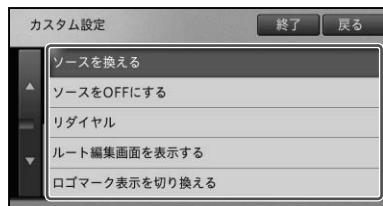
1 **メニュー** を押し、**設定・編集**—**システム設定** にタッチする

2 **カスタム設定** にタッチする



▼
カスタム設定リストが表示されます。

3 設定したい機能(コマンド)にタッチする



選んだ機能が、**C** (カスタムボタン) に割り当てられます。

C (カスタムボタン) を押すと、割り当てた機能を使うことができます。

設定できる機能(コマンド)について

TVにする	AVソースのTV(→P140)をONにします。
VICS図形情報画面を表示する	VICS図形情報画面(→P81)を表示します。
MUTEをON/OFFする	一時的にAVソースの音量を0にする機能をON/OFFします。
音量設定画面を表示する	音量設定画面(→P100)を表示します。
自宅へ帰る	自宅までのルート(1本)を探索します。(→P39)
ソースを換える	ボタンを押すたびにAVソースを切り換えます。(→P131)
ソースをOFFにする	AVソースをOFFにします。(→P132)
リダイヤル	ハンズフリー電話で、リダイヤルを行います。(→P209)
ルート編集画面を表示する	ルート編集画面(→P66)を表示します。
ロゴマーク表示を切り換える	ボタンを押すたびにロゴマークの表示/非表示を切り換えます。(→P31)

フロントカメラ・サイドカメラを使う場合

本機に別売のフロントカメラ/サイドカメラを接続し、カメラの入力設定(→P115)をONに設定した場合は、カスタム設定に関わらず、**C** (カスタムボタン) を押すと、フロントカメラまたはサイドカメラ映像を表示します。カメラの入力設定をOFFに設定すると、カスタム設定で割り当てた機能を再び使うことができます。

メモ

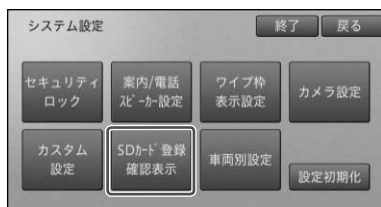
- フロントカメラ/サイドカメラ使用中の場合でも、カスタム設定自体は行うことができます。割り当てた機能が有効になるのはカメラの入力設定をOFFにした時点からとなります。

SDカード登録確認メッセージ表示設定

本機にSDカードを挿入した場合に、SDカード登録確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする

2 **SDカード登録確認表示**にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	登録確認メッセージを表示します。
OFF	登録確認メッセージは表示しません。

メモ

- SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、設定を「ON」にしてください。

Bose® サウンドシステム設定をする

Bose®サウンドシステムを本機に接続する場合に設定します。

メモ

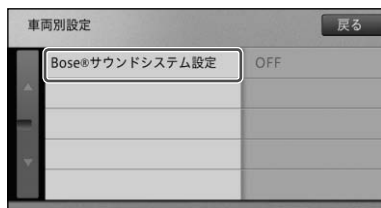
- Bose®サウンドシステムを設定するには、AVソースをOFFにしてください。(→P132)
- Bose®サウンドシステムの設定を変更すると、オーディオ設定(→P196)が工場出荷時の状態に戻ります。
- 「Bose®サウンドシステム設定」は、お車にマツダ純正Bose®サウンドシステムが装備されている場合のみ正しく作動します。お持ちのお車がBose®仕様かどうかは、お近くの販売店にお尋ねください。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする

2 **車両別設定**にタッチする



3 **Bose® サウンドシステム設定**にタッチする



4 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	Bose®サウンドシステムを接続します。
OFF	Bose®サウンドシステムを接続しません。

設定を初期状態に戻す

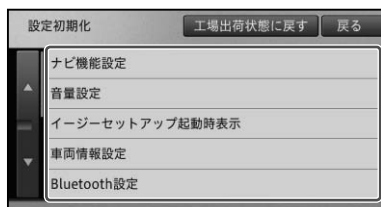
設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** — **システム設定** にタッチする

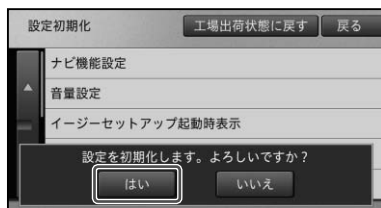
2 **設定初期化** にタッチする



3 初期化したい項目にタッチする



4 **はい** にタッチする



選んだ項目が初期化されます。

一括で工場出荷状態に戻す

工場出荷状態に戻す にタッチすると、お客様がご購入後に設定した内容や記録したデータを一括で工場出荷時の状態に戻すことができます。

！ 注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は、事前に控えておいてください。

消去される項目は、以下のとおりです。

消去される項目

機能設定、オーディオ設定、画質調整設定、カスタム設定、リアルタイムプローブ設定、音量設定、車両情報設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自車位置情報、VICS FMレベル3データ、VICS放送局 受信モード設定・受信周波数、VICSオンデマンドVICS情報(レベル3データ)、リアルタイムプローブ取得時情報、メモリダイヤル、Bluetooth設定、ロゴマーク表示設定、ロゴマークリストカスタマイズ、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、天気予報データ、エコ情報、エコプライズなど

消去されない項目

センサー学習、セキュリティなど

✎ メモ

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください。(→ P249)

通信機能を使う

オンデマンドVICS情報・リアルタイム プローブ渋滞情報を利用する	122
オンデマンドVICSについて	122
リアルタイムプローブと リアルタイムプローブ渋滞情報について	122
渋滞情報の取得のしかた	123
手動で取得する	123
自動で取得する	123
地図上でオンデマンドVICS / リアルタイムプローブ渋滞情報を見る	124
プローブ情報を保存する	124
天気予報を利用する	125
天気予報アイコンの見かた	125
ガススタ価格情報を利用する	126
駐車場満空情報を利用する	127

オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する

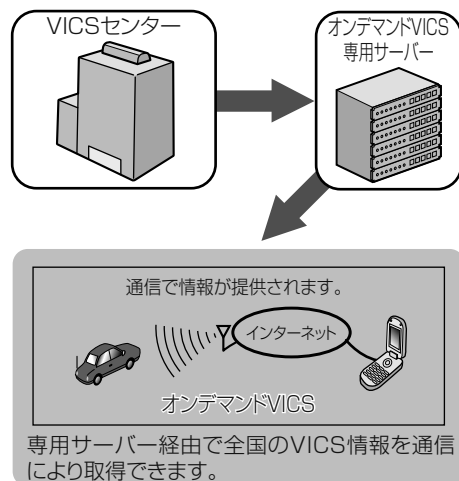
通信機能を利用して、オンデマンドVICS 情報（オンデマンドVICS 専用サーバーより提供）、リアルタイムプローブ渋滞情報（リアルタイムプローブサーバーより提供）を取得し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

メモ

- 取得できる情報は、オンデマンドVICSまたはリアルタイムプローブ情報のどちらかになります。リアルタイムプローブの利用準備ができていない場合は、自動的にオンデマンドVICS情報のみの取得となります。

オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、本機に接続された通信機器からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自転車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得する機能です。取得した情報は、地図に表示したり、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。

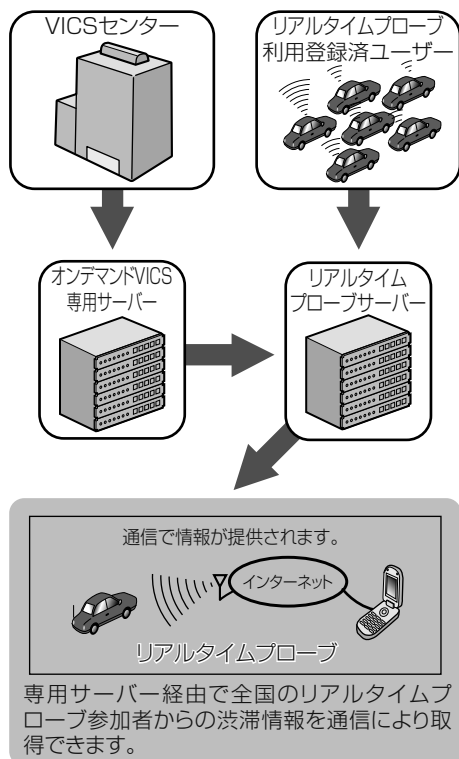


メモ

- あらかじめ、通信設定（→P93）を行ってください。
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- 道路交通情報データは、財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報について

リアルタイムプローブとは、ご利用登録いただいた各お客様から提供される情報（走行履歴）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「リアルタイムプローブ渋滞情報」として取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。



※リアルタイムプローブはバイオニア株式会社が提供するサービスです。

メモ

- リアルタイムプローブをご利用いただくには、あらかじめ通信設定 (→P93) とユーザー登録 (→『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」) およびリアルタイムプローブ設定 (→P109) が必要となります。

渋滞情報の取得のしかた

通信による渋滞情報の取得のしかたは、手動で取得する方法と自動で取得する方法の2通りあります。

手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示してから、以下の操作を行います。

1 渋滞に2秒以上タッチする

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を受信します。



メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- メニュー** を押し、**情報** - **渋滞情報** - **リアルタイムプローブ情報取得** にタッチしても、通信によるオンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報の取得を行うことができます。
- オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報とFM多重放送によるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面に表示します。

自動で取得する

リアルタイムプローブ設定 (→P109) で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておく、本機が起動後、本機がはじめてBluetooth機器との接続を確認した時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。

また「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておく、通信可能な状態にあるときは、一定間隔で情報を取得します。

メモ

- リアルタイムプローブ渋滞情報受信の際には、走行履歴などのお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- 連続受信設定がONの場合、ルート案内中は10分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

地図上でオンデマンド VICS / リアルタイムプローブ渋滞情報を見る

プローブ渋滞情報の地図表示は、VICS情報の地図表示(→P79)と区別され表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色の点線(青い縁取り)
混雑	橙色の点線(青い縁取り)
順調	空色の点線(青い縁取り)

一般道路への表示

渋滞	赤色の点線(白い縁取り)
混雑	橙色の点線(白い縁取り)
順調	空色の点線(白い縁取り)



情報提供時刻表示

O	オンデマンドVICSによる渋滞情報提供時刻
R	リアルタイムプローブによる渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満の状態

プローブ情報を保存する

本機に保存されているプローブ情報は、リアルタイムプローブ設定(→P109)のプローブ情報送信設定をONに設定することで、登録済みの自宅周辺500 m以内に入ったときに、自動的にSDカードに保存されます。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』-『SDカードの出し入れ』
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- SDカードに保存したプローブ情報は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」使用時に、自動的に専用サーバーへ転送されます。
- リアルタイムプローブ設定(→P109)のプローブ情報送信設定をONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報の消去確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は **はい**、キャンセルする場合は **いいえ** にタッチしてください。

天気予報を利用する

天気予報を地図画面に表示することができます。

メモ

- ・あらかじめ、通信設定(→P93)を行ってください。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **天気予報** - **はい** にタッチする



専用サーバーとの通信が開始されます。



メモ

- ・画面右下の水色の点滅は、通信中を示します。

データの取得が完了すると、地図画面下部に天気予報アイコンが表示されます。現在地画面の場合は、現在地の天気予報を表示します。地図をスクロールした場合は、スクロールした地点の天気予報を表示します。

地図の表示方法がスカイビュー(→P29)のときは、天気予報に応じて空の色が変化します。

メモ

- ・表示される情報は、(株)ライフビジネスウェザーの天気予報に基づいています(ただし、専用サーバー上のデータが更新されていない場合があります)。

- ・(株)ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- ・取得した天気予報のデータは、発表時刻から35時間経過すると本機から削除されます。もう一度表示させるには、再度専用サーバーから天気予報のデータを取得してください。
- ・天気予報のデータが取得できないときは、表示されません。
- ・サーバー側からの緊急メッセージがあるときは、メッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- ・サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときは、メッセージが表示されますが、気象情報の取得処理は継続されます。
- ・パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、天気予報データをパソコンからSDカードに保存し、本機の起動時に読み込ませることもできます。

天気予報アイコンの見かた



天気マーク 予報時刻表示

	晴れ(昼)		大雨
	晴れ(夜)		雪
	曇り		大雪
	雨		

メモ

- ・天気予報のデータが取得できなかったときは、天気予報アイコンは表示されません。

ガスタスタ価格情報を利用する

専用サーバーからガソリンの価格情報を取得して販売価格の安いガソリンスタンドを探し、目的地とすることができます。

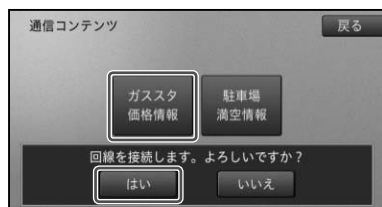


メモ

・あらかじめ、通信設定(→P93)を行ってください。

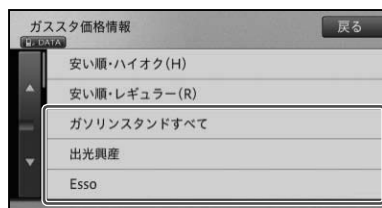
1 **メニュー** を押し、**目的地 – 通信コンテンツ** にタッチする

2 **ガスタスタ価格情報 – はい** にタッチする

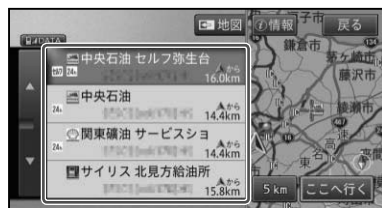


専用サーバーとの通信が開始されます。

3 **探したいガソリンスタンドを選んでタッチする**

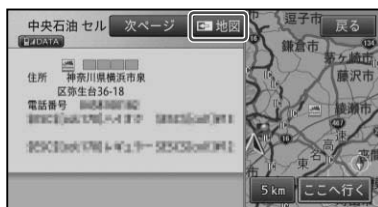


4 **目的の施設にタッチする**



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 **地図** にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。



メモ

- 「ガスタスタ価格情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- 専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
 - 橙色：24時間以内
 - 青色：7日以内
 - 茶色：8日以上

駐車場満空情報を利用する

専用サーバーから駐車場満空情報を取得して空いている駐車場を探し、目的地とすることができます。



メモ

・あらかじめ、通信設定(→P93)を行ってください。

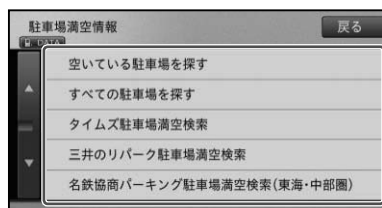
1 [メニュー] を押し、[目的地 - 通信コンテンツ] にタッチする

2 [駐車場満空情報 - はい] にタッチする

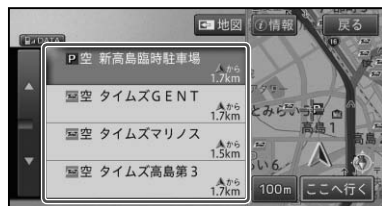


専用サーバーとの通信が開始されます。

3 探したい駐車場を選んで絞り込む

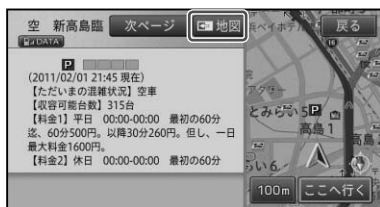


4 目的の施設にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 [地図] にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P25)を参照してください。



メモ

- ・「駐車場満空情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。
- ・駐車場は、「車両情報を設定する」(→P106)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(🚫)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	130
AVソース画面を表示する	130
映像系AVソースについて	130
AVソースプレートの表示について	130
AVソースを切り換える	131
AVソースアイコンについて	131
AVソースをOFFにする	132
映像画面時計表示設定	132
本機で再生可能なメディアとファイルの種類 ...	133

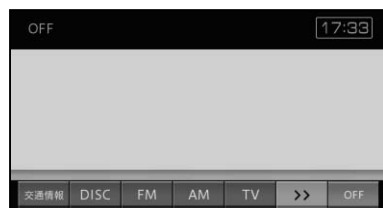
オーディオの基本操作

AVソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面のときに

(AV)を押す

AVソース画面が表示されます。



ナビゲーション画面に戻るには、**(現在地)**を押します。

メモ

- AVソースがONの状態で**(現在地)**を押したときは、AVソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

映像系AVソースについて

DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、画面を切り換えるとはじめに映像のみ表示します。操作タッチキーなどを表示させたい場合は、一度画面にタッチしてください。



メモ

- 操作タッチキーは、**閉じる**にタッチするか8秒間何も操作しないと消えます。

AVソースプレートの表示について

地図画面のまま、**(C)** (カスタムボタン) によるAVソースの切り換え (→P131) や本体のボタンによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部にAVソースプレートが表示されます。AVソースプレートは、表示されてから約4秒間何も操作が行われないと消えます。

AVソースプレートには、現在再生中のAVソースの状態が表示されます。

AVソースプレート

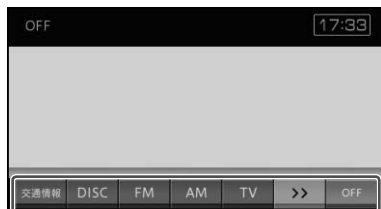


AVソースを切り換える

AVソースの切り換えは、タッチ操作(AVソースアイコン)で行います。

1 AVソース画面を表示する

2 お好みのAVソースアイコンにタッチする



AVソースアイコン

選んだAVソースに切り換わります。

メモ

- AVソースアイコンの **>>** にタッチすると、表示しきれなかったAVソースアイコンが表示されます。もう一度タッチすると、元の状態に戻ります。
- DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、一度画面にタッチして、操作タッチキーを表示してから操作してください。
- カスタム設定(→ P115)で「ソースを換える」を割り当てている場合、**(C)** (カスタムボタン) を押すごとにAVソースを切り換えることができます。切り換わる順序は以下の通りです。

DISC → FM → AM → TV → SD →
Bluetooth Audio → USB/iPod →
AUX

ナビゲーション画面表示中は音声のみが切り換わり、**(AV)** を押すと、AVソース画面が表示されます。

- 機器を接続していないソースはご使用になれません。

AVソースアイコンについて

交通情報	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。
DISC	音楽CDやDVDビデオなどを再生したいときに選びます。
FM	FMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
AM	AMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
TV	地上デジタルテレビ放送を見たいときに選びます。
USB	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
iPod	iPodを使いたいときに選びます。
SD	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioを使いたいときに選びます。
AUX	外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。
OFF	選択中のAVソースをOFFにしたときに選びます。

メモ

- 各ソースアイコンは、再生の準備ができているソースのみ表示されます。
- ソースによっては、設定や接続が必要です。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

1 OFFにタッチする

AVソースがOFFになります。

メモ

- DVDビデオなど、再生停止ボタンが操作タッチキーに用意されているAVソースでは、OFFにしなくても再生を停止することができます。
- カスタム設定 (→P115) で「ソースをOFFにする」を割り当てている場合は、**(C)** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。
- **(AV)** を長く押しても、AVソースをOFFにすることができます。また、AVソースOFF時に**(AV)** を長く押すと、AVソースをOFFにする前のAVソース画面を表示することができます。

映像画面時計表示設定

映像系AVソース表示中の画面上で、時計表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **オーディオ** にタッチする

2 映像画面時計表示 にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	時計を表示します。
OFF	時計を表示しません。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください、対応の可(○)否(×)をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります(→P233)。また、以下の表に記載されている以外のファイル形式は再生できません。

	ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBメモリー	 SDカード
	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	×	×	○	○
	MPEG-4	.avi/.mp4/.m4v	×	×	×	○
	WMV	.wmv	×	×	×	○
	H.264	.mp4	×	×	×	○

放送を受信する

ラジオを聞く	136
ラジオの放送を受信する	136
周波数スケール表示画面に切り換える	136
プリセットの種類を選ぶ	137
バンドを切り換える	137
放送局を手動で登録する	137
放送局の自動登録	138
交通情報を聞く	139
交通情報を受信する	139
地上デジタルテレビ放送を見る	140
地上デジタルテレビ放送を受信する	140
アイコン一覧	142
プリセットの種類を切り換える	142
放送局を手動で登録する	142
サービスを切り換える	143
番組表を表示する	143
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ	143
番組内容を表示する	144
データ放送を見る	144
データ放送画面の操作のしかた	144
十字パネルタッチキーの操作	145
数字パネルタッチキーの操作	145
字幕を切り換える	145
映像を切り換える	145
音声を切り換える	145
音声多重に切り換える	146
バンドを切り換える	146
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	146
番組情報を取得する	146
お知らせメッセージを表示する	147
バージョン情報を表示する	147
サービスリストからチャンネルを選ぶ	147
ワイドモードを設定する	148
ワイドモードの種類	148
地上デジタルテレビの機能設定をする	149
設定内容の詳細	149

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする(→P131)

2 受信したい放送局にタッチする



メモ

- プリセットされた周波数や放送局がリスト表示されます。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。

表示切換

周波数スケール表示画面に切り換わります。周波数スケール表示画面でタッチすると、リスト表示画面に切り換わります。(→P136)

スキャン

2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にユーザープリセットに登録します。(→P138)

◀SEEK または SEEK▶

周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

FM1⇄FM2

(FMの場合)

AM1⇄AM2

(AMの場合)

プリセット切換

プリセットの種類(→P137)を切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀または▶を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)
◀または▶を押し続ける	周波数を連続で送る (NON STOP SEEK)

メモ

- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がささげられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

周波数スケール表示画面に切り換える

1 表示切換にタッチする(→P136)



ワイプで操作する場合：

周波数スケール表示画面でラジオ受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイブ	プリセットチャンネルをアップします。
←ワイブ	プリセットチャンネルをダウンします。
↑ワイブ	ミュートを解除します。
↓ワイブ	ミュート(消音)にします。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする (→P136)

タッチすることにより、「ユーザープリセット」↔「エリアプリセット」が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM / AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー(P1 ~ P6)を使い分けることができます。

1 FM1⇔FM2または AM1⇔AM2にタッチする (→P136)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ⇔ FM2
AM1 ⇔ AM2

メモ

- 普段はFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」に切り換える(→P137)

2 ◀SEEK / SEEK▶にタッチして登録したい放送局(周波数)を選ぶ(→P136)

3 登録したいプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする (→P136)



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。



自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。



メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを交通情報にする (→P131)

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



1620kHz	1 620 kHzにします。
1629kHz	1 629 kHzにします。

本体のボタンで操作する場合：

◀を押す	1 620 kHzにします。
▶を押す	1 629 kHzにします。

ワイプで操作する場合：

交通情報受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	1 629 kHzを受信します。
←ワイプ	1 620 kHzを受信します。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

地上デジタルテレビ放送を見る

地上デジタルテレビ放送を視聴することができます。

メモ

- TVソースを初めて使用するときや視聴者設定クリア(→P150)をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P146)

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

地上デジタルテレビ放送を受信する

1 AVソースをTVにする(→P131)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

メモ

- カスタム設定(→P115)で「TVにする」を割り当てている場合は、**(C)**(カスタムボタン)を押して操作することもできます。

2 画面にタッチする

シンプル操作タッチキーが表示されます。



1 ~ 12	プリセットチャンネルを選局します。 ユーザープリセットの場合、長くタッチすると現在受信中の放送局が登録されます。
番組表	番組表を表示します。(→P143)
番組内容	番組内容を表示します。(→P144)

d	データ放送画面に切り換えます。(→P144)
操作	パネルタッチキーを表示します。(→P144)
詳細	操作タッチキー 1 を表示します。
閉じる	シンプル操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

操作タッチキー 1



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
◀CHまたはCH▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類(→P142)を切り換えます。
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P143)
字幕切換	字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P145)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P145)
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。(→P145)

音声多重	音声出力を切り換えます。 (→P146)
TV1⇄TV2	バンドを切り換えます。(→P146)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信可能な放送局を自動的に登録します。(→P146)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。
閉じる	映像画面に戻ります。

操作タッチキー 2



お知らせメッセージ	本機に送られてきたメッセージを表示します。(→P147)
バージョン情報	本機のソフトウェアのバージョンや、miniB-CASカードなどの情報を表示します。(→P147)
番組情報取得	番組情報を取得します。(→P146)
サービスリスト	サービスリストを表示します。(→P147)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P148)
前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。
閉じる	映像画面に戻ります。

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ 押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀ または ▶ 長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

ワイプで操作する場合：

地デジ受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	プリセットチャンネルをアップします。
←ワイプ	プリセットチャンネルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- TVの音量は、他のAVソースより低いいため、他のAVソースからTVに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P198)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソースプレートに表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ (1 セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車周辺の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする (→P140)

タッチすることにより、「ユーザープリセット」⇔「エリアプリセット」が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットにバンドごとに12局まで手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

1 「ユーザープリセット」にする (→P142)

2 ◀CH / CH▶ にタッチして登録したい放送局を選ぶ (→P140)

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換にタッチする (→P140)

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表 (EPG) を表示できます。

1 番組表にタッチする (→P140)

番組表が表示されます。

3桁チャンネル番号

日付・時刻 放送事業者名 地域名 番組名 アイコン



日付切換 (タッチ操作可能)
(タッチ操作可能) 番組表
スクロールアイコン (タッチ操作可能)

前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。
🔍	ジャンル検索画面が表示されます。 ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。(→P143)

切換	タッチすることにより、以下のように表示方法が切り換わります。 4チャンネル分 → 7チャンネル分 → 1チャンネル分 → 4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定	現在放送中の番組であれば、選んだまたは番組表 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了**にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。
- 番組情報取得の操作(→P146)または4チューナー設定で、「番組表取得／サーチ優先」(→P150)を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。空欄部分にタッチするか、**▲ ▼ ◀ ▶**で空欄を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

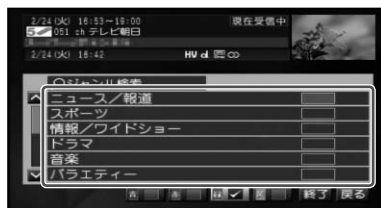
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索することができます。

メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

- 1 番組表が表示されているときに **🔍** にタッチする(→P143)
- 2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



メモ

- ジャンル検索画面表示中に **A V** でジャンルを選び、カラーボタン (**青**、**赤**、**緑**、**黄**) にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。

これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

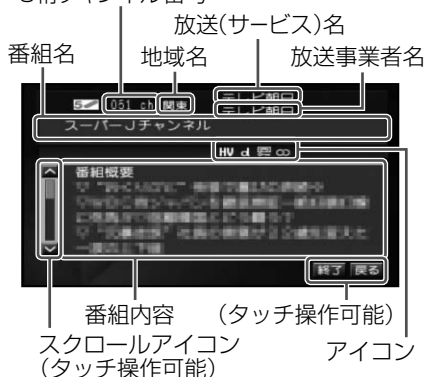
番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容にタッチする (→P140)

番組内容が表示されます。

3桁チャンネル番号



メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了** にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

メモ

- 地域を対象としたサービス(設定した地域の天気予報や選挙速報など)を行っている場合は、郵便番号設定 (→P150) で設定した地域の情報を受信します。工場出荷時は、「オート」に設定されています。

1 **d** にタッチする(→P140)

データ放送の画面に切り換わります。

メモ

- データ放送画面は、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。→「データ放送画面の操作のしかた」(P144)
- データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてから **d** にタッチします。

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

1 データ放送画面で、**操作** にタッチする(→P140)

パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。



決定	項目を決定します。
▲▼◀▶	カーソルを操作します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。
ESC	ESCボタンとして、全解除などに使います。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーを表示します。(→P145)
位置←	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。



数字キー (1 ~ 12/#)	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。



十字パネルタッチキーに戻ります。(→P145)



パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切換にタッチする (→P140)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の字幕がある場合：

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF →
字幕1 に戻る

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換にタッチする (→P140)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の映像がある場合：

映像1 → 映像2 → 映像3 →
映像1 に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換にタッチする (→P140)

▼
タッチすることにより次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第3音声 →
第1音声 に戻る

音声多重に切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声多重に切り換えます。

1 音声多重にタッチする (→P141)

▼
タッチすることにより次のように切り換わります。

MAIN (主音声) → SUB (副音声) →
MAIN + SUB (主音声 + 副音声) →
MAIN (主音声) に戻る

MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。

バンドを切り換える

本機では2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー (P1 ~ P12) を使い分けることができます。

1 TV1⇄TV2にタッチする (→P141)

▼
タッチすることにより TV1 ↔ TV2 が切り換わります。

メモ

- 普段はTV1を使用し、旅行先ではTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信可能な放送局をユーザープリセットとサービスリストに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする (→P141)



中止にタッチすると、スキャンを中止します。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 番組情報取得にタッチする (→P141)



中止にタッチすると、取得を中止します。

お知らせメッセージを表示する

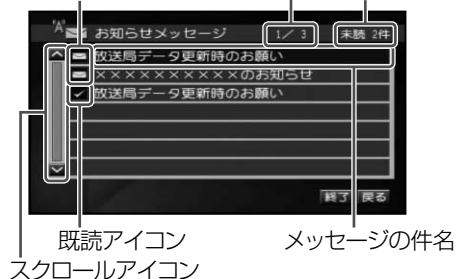
本機に送られてきたメッセージを表示します。

1 お知らせメッセージにタッチする(→P141)

メッセージ一覧画面

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
未読アイコン

未読件数の表示

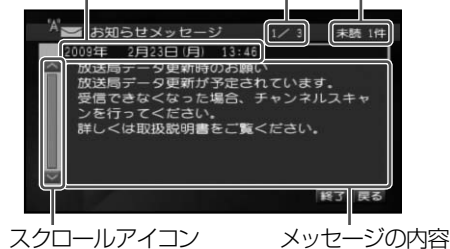


2 内容を見たいメッセージにタッチする

選んだメッセージの内容が表示されます。

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
日付・時刻

未読件数の表示



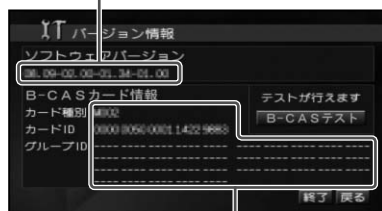
メモ

- ・**戻る**または**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。
- ・未読メッセージがあると、画面に✉(→P142)が表示されます。

バージョン情報を表示する

1 バージョン情報にタッチする(→P141)

本機ソフトウェアのバージョン



miniB-CAS カードの情報

メモ

- ・**B-CASテスト**にタッチすると、本機に挿入したminiB-CASカードが正常に動作しているかどうか確認できます。「正常動作中」と表示されれば問題なく視聴できます。「カードエラー」と表示された場合は、miniB-CASカードに何らかの問題があるため、通常放送は視聴できません。(ワンセグ放送は視聴できます。)miniB-CASカード本体や本機への挿入状態を再確認してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

放送を受信する

サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 サービスリストにタッチする(→P141)

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。



メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 **ワイドモード**にタッチする (→P141)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



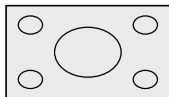
メモ

- 通常のテレビ放送の番組でZOOM、NORMAL以外の映像の縦横比が異なるモードを選ぶと本来の映像と見えかたに差が出ます。
- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

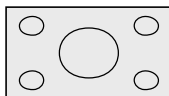
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



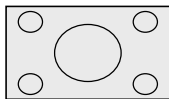
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



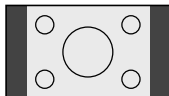
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



地上デジタルテレビの機能設定をする

地上デジタルテレビ放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定があります。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **オーディオ** にタッチする



3 **TV設定** にタッチする



地上デジタルテレビ放送の機能設定メニューが表示されます。

4 **メニューの種類(タブ)**を選んで**メニュー項目**にタッチする



メニュー項目

視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。



メモ

・各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切替設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。シンク切換をONにすることで、自動切換をスムーズに行います。

切換設定

「オート」*

受信感度に応じてフルセグ⇄ワンセグを自動で切り換えます。

「マニュアル」

フルセグ⇄ワンセグを自動で切り換えません。

シンク切換

「ON」*

フルセグ⇄ワンセグ自動切り換え時に、画像および音声を途切れがないようにスムーズにつなげます。

「OFF」

スムーズにつなげる機能はOFFにします。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

「中継局+系列局」 自動で中継局・系列局を探します。

「中継局」*

自動で中継局を探します。中継局・系列局は探しません。

「OFF」

放送を受信する

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

- 「第1言語」* 第1言語で表示します。
「第2言語」 第2言語で表示します。
「OFF」 文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

- 「オート」 自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」* 手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

- 「オート」* 自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」 手動でチャンネルを切り換えます。

【環境設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

- 「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
「マニュアル」 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

- 「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

番組名称情報取得設定

地上デジタルテレビ以外のAVソースのときや、「4チューナー設定」を「番組表取得／サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得(→P141)するかどうかを設定します。

- 「ON」* 自動的に取得します。
「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

※チャンネルおよび番組表、機能設定(視聴設定、環境設定)、データ連動放送のブックマークが消去されます。

- 「はい」 設定をクリアします。
「いいえ」 設定をクリアしません。

番組表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか、全チャンネルにするかを設定します。

- 「メインチャンネル」* メインチャンネルの番組表を表示します。
「全チャンネル」 全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

4つのチューナーをすべて受信性能優先とするか、2チューナーで受信を行い、残りの2チューナーで他の放送局の番組表取得などの機能に振り分けるかを設定します。

- 「受信性能優先」* 4つのチューナーをすべて受信性能優先として設定します。
「番組表取得／サーチ優先」 必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	152
再生する	152
リストから選んで再生する	153
リピート再生	153
ランダム再生	153
ROM (WMA/MP3/AAC)を聴く	154
再生する	154
リストから選んで再生する	155
リピート再生	155
ランダム再生	155

音楽CDを聴く

音楽CDの基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

トラックNo. 楽曲名 アーティスト名



再生中トラックの 経過時間 アルバム名

曲リスト	曲リストを表示します。
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P153)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P153)

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	トラックのダウン／アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

CD再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P131)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P230)を参照してください。
- アルバム名、楽曲名、アーティスト名は、CD-TEXTから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
 - －アルバム名：No Title
 - －楽曲名：No Title
 - －アーティスト名：No Name
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)のデータが混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P152)

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- 通常再生画面に戻るには、**終了**または**戻る**にタッチします。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P152)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT ↔ TRACK REPEAT

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P152)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はALL REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く

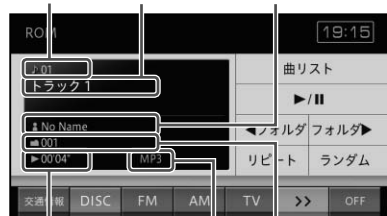
ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

ファイルNo. 楽曲名 アーティスト名



再生中ファイルの
経過時間

フォルダー No./
アルバム名

ファイル種別

曲リスト	曲リストを表示します。
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
◀フォルダ	フォルダーをダウンします。
フォルダ▶	フォルダーをアップします。
リピート	リピート再生を行います。 (→P155)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P155)

本体のボタンで操作する場合：

◀▶ または ▶▶ を押す	ファイルのダウン／アップ を押す
◀◀ または ▶▶ を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

ROM再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	ファイルをアップします。
←ワイプ	ファイルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P131)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P230)を参照してください。
- ID3 Tag/WMA Tag/AAC Tag (→P234, 235)からタイトル情報を取得できた場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバム名：フォルダー名
 - 楽曲名：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)のデータが混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P154)

メモ

- ・曲リストに長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(ファイル名)にタッチする



メモ

- ・ にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- ・フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- ・リストに表示されるフォルダー数はCD-R、DVD-R共通で最大700、ファイル数はCD-R最大999、DVD-R最大3500です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をFILE REPEATに指定すると、再生中のファイルを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P154)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → ALL REPEATに
戻る

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイル(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- ・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- ・選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P154)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- ・リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- ・FOLDER REPEATとランダム再生中に他のフォルダーの曲を再生した場合、FOLDER REPEATはなくなり、ランダム再生のみの再生となります。

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	158	DVD-VRを見る	164
再生する	158	再生する	164
ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ).....	159	リストからタイトルを選んで再生する	165
ディスクメニュー操作キーで操作する	159	リピート再生	165
リピート再生	160	コマ送り再生	166
コマ送り再生	160	スロー再生	166
スロー再生	160	CMバック/スキップ	166
ブックマークの登録	161	字幕言語の切り換え	167
字幕言語の切り換え	161	音声言語の切り換え	167
音声言語の切り換え	161	音声多重の切り換え	167
音声出力の切り換え	162	ダイレクトサーチ	167
アングルの切り換え	162	ワイドモードを設定する	168
リターン再生	162	ワイドモードの種類	168
ダイレクトサーチ	162	DVDの機能設定	169
ワイドモードを設定する	163	基本字幕言語	169
ワイドモードの種類	163	基本音声言語	169
		メニュー言語	170
		マルチアングル	170
		テレビアスペクト	170
		視聴制限	171
		暗証番号を忘れたときは	171
		オートプレイ	171
		言語コード表	172

DVDビデオを見る

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



トップメニュー/メニュー ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P159)

▶/|| 再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

■ 再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)

リピート リピート再生を行います。(→P160)

||▶ コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P160)

ディスクメニュー操作キー を表示して、ディスクメニューの操作を行います。(→P159)

ブックマーク 再生中のディスクにブックマークを登録します。(→P161)

次ページ>> 操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換 再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P161)

音声切換 再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P161)

L/R切換 音声出力を切り換えます。(→P162)

アングル 再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル)(→P162)

リターン 戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。(→P162)

10キーサーチ ダイレクトサーチを行います。(→P162)

ワイドモード 表示画面を設定します。(→P163)

<<前ページ 操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を押す	チャプターのダウン／アップ
◀または▶を長く押す	早戻し／早送り
◀または▶を5秒以上押し続ける	キーを離してからも早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVDビデオ再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- ・閉じるにタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P131)
- ・DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(P159)
- ・オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P171)
- ・DVDの録音レベルは他のAVソースより低いいため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P198)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P230)を参照してください。

ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする(→P158)

2 画面にタッチして操作する



メモ

- ・[]にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 操作タッチキー1またはディスクメニュー表示中に[]にタッチする(→P158)

2 ▲<>▼ にタッチして項目を選び、決定にタッチする



メモ

- **←位置**にタッチすると、ディスクメニュー操作キーの表示位置を画面右側から画面左側へ変更することができます。表示位置を画面右側へ戻す場合は**位置→**にタッチしてください。
- **閉じる**にタッチすると、ディスクメニューに戻ります。
- **戻る**にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P158)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 Ⅲ▶にタッチする(→P158)

再生が一時停止し、Ⅲ▶にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- Ⅲ▶にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見るすることができます。

1 Ⅲ▶に2秒以上タッチする (→P158)

スロー再生されます。

スロー再生中にⅢ▶にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ・▶|| にタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。
- ・ディスクや再生位置によって、⓪ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 ブックマークにタッチする
(→P158)

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク** に2秒以上タッチします。

メモ

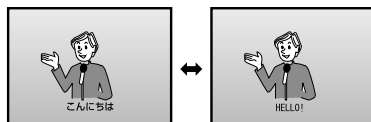
- ・ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録できます。5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする
(→P158)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

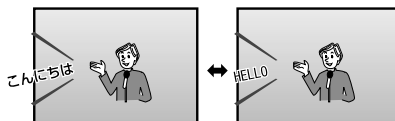
- ・パッケージについている[?]マークの数字が、字幕の収録数です。
- ・DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする
(→P158)

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

- ・パッケージについている⓪)マークの数字が、音声の収録数です。
- ・DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- ・DTS音声は再生できません。
- ・[Dolby D]や[5.1 ch]などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声のリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 **L/R切換** にタッチする (→P158)

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → L → R → Mix → L + Rに戻る

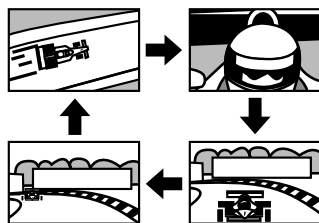
L + R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

1 **アングル** にタッチする (→P158)

タッチするごとに、アングルが切り換わります。



メモ

- マルチアングルが収録されている場で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについているマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P170)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 **リターン** にタッチする (→P158)

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 **10キーサーチ** にタッチする (→P158)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーモード**が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒 にタッチすると分と秒を 確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

指定した場面から再生を始めます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。



- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 **ワイドモード**にタッチする (→P158)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



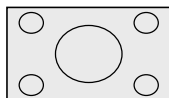
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



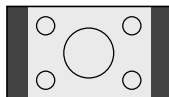
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



DVD-VRを見る

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



動画リスト	タイトルリストを表示します。 (→P165)
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P165)
 ▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P166)
CMバック	一定の秒数だけ早戻し/早送りを行います。(→P166)
CMスキップ	
次ページ>>	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P167)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P167)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→P167)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P167)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P168)
<<前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶ を押す	チャプターのダウン/アップ
◀または▶ を長く押す	早戻し/早送り
◀または▶ を5秒以上押し 続ける	キーを離してから早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVD-VR再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

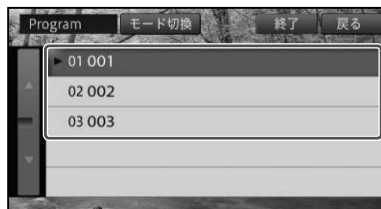
- ・**閉じる**にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P131)
- ・DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P198)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P230)を参照してください。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 動画リストにタッチする (→P164)

2 見たいタイトルにタッチする



選んだタイトルが再生されます。

メモ

- ・**モード切換**にタッチすることにより、リスト表示をProgram再生(ディスクに記録された順番に再生)とPlayList再生(ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生)に切り換えることができます。
- ・PlayListがない場合は、通常再生であるProgram再生のみとなり、**モード切換**は選択できません。
- ・モード切換を行うと、必ずそれぞれの先頭のタイトルから再生されます。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P164)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだりリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 映像にタッチする(→P164)

再生が一時停止し、映像にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- 映像にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチするごとに静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見るができます。

1 映像に2秒以上タッチする(→P164)

スロー再生されます。

スロー再生中に映像にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- 映像にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- スロー再生速度を逆方向に切り換えることはできません。元に戻したい場合(1/2から1/4など)は、映像にタッチしてスロー再生を解除してから操作し直してください。

CMバック/スキップ

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMバックまたはCMスキップにタッチする(→P164)

タッチすることにより、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る
CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る

メモ

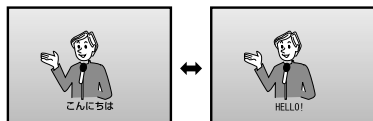
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする
(→P164)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

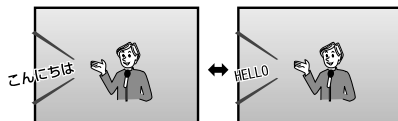
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする
(→P164)

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1 ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 音声多重にタッチする
(→P164)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

MAIN+SUB → MAIN → SUB → MIX
→ MAIN+SUBに戻る

MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。
MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MIX	左右のスピーカーから主音声と副音声を一緒に出力します。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする
(→P164)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**が選べます。



数字キー

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を 確定します。

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

指定した場面から再生を始めます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4:3、ワイド映像は縦横比16:9です。

1 **ワイドモード**にタッチする (→P164)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



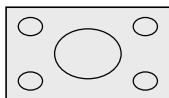
メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



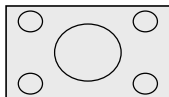
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



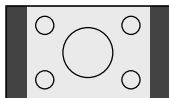
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



DVDの機能設定

DVD-V (Video mode) とDVD-VR (VR mode) の再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

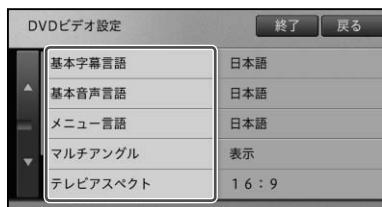
1 [メニュー] を押し、設定・編集－オーディオにタッチする



2 DVDビデオ設定にタッチする



3 各項目にタッチして設定する



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

本書の表記について

[DVD-V] **[DVD-VR]** : Video modeとVR mode共に設定できる項目です。

[DVD-V] **[DVD-VR]** : Video mode のみ設定できる項目です。

基本字幕言語 **[DVD-V]** **[DVD-VR]**

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。

1 基本字幕言語にタッチする

2 それぞれの言語を設定する



日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

メモ

- ・ **その他**にタッチしたときは、「言語コード表」(→ P172) より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- ・ 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ・ ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声言語 **[DVD-V]** **[DVD-VR]**

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。

設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語 DVD-V DVD-VR

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。
設定項目は基本字幕言語と同じです。

マルチアングル

DVD-V DVD-VR

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

1 マルチアングルにタッチする

2 表示または非表示にタッチする



表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト

DVD-V DVD-VR

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。
工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9	ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。
パンスカン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16:9に設定してお使いください。
- パンスカン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスカン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで**16:9 PS**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限 DVD-V DVD-VR

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

- 1 **視聴制限** にタッチする
- 2 **4桁の暗証番号を入力し、**入力終了** にタッチする**



メモ

- ・はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

3 制限レベルを設定する



設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します(子供向けや一般向けディスクを再生します)。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ DVD-V DVD-VR

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **オートプレイ** にタッチする
- 2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- ・オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

SDカード/USBメモリーを使う

SD / USBの操作のしかた	174
音楽ファイルを再生する	174
映像ファイルを再生する (SDのみ)	175
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える (SDのみ)	176
聴きたい曲や見たい映像を探す	176
リピート再生	176
ランダム再生	176
ダイレクトサーチ (SDのみ)	177
SD映像ファイルの機能を設定する	177

SD / USBの操作のしかた

本機に接続したSDカード／USBメモリー内の音楽ファイル(WMA/MP3/AAC/WAV) やSDカード内の映像ファイル(MPEG4/H.264/WMV) の操作について説明します。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』－「SDカードの出し入れ」
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SDカード：最大容量 32 GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDHC対応
 - USBメモリー：最大容量 16 GB、ファイルシステムFAT 32/16
- 本機にUSBメモリーを接続する場合は、別売のUSB接続ケーブルが必要です。
- SDカード内の映像ファイルの操作に関しては「映像ファイルを再生する」(→P175)をご覧ください。
- 地図データ(差分情報のみ)更新時(→P227)に、AVソースでSD／USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ(差分情報のみ)更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。
- 再生可能なファイルに関しては「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P133)をご覧ください。

音楽ファイルを再生する

1 AVソースをSDまたはUSBにする(→P131)

前回再生していたファイルから再生されます。

ファイルNo. 楽曲名 アーティスト名



再生中ファイルの
経過時間

フォルダー No./
アルバム名

ファイル種別

曲リスト 曲リストを表示します。(→P176)

ビデオ 映像ファイルの再生に切り換わります。(SDのみ) (→P176)

▶|| 再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

◀フォルダ	フォルダーをダウンします。
フォルダ▶	フォルダーをアップします。
リピート	リピート再生します。(→P176)
ランダム	ランダム再生します。(→P176)

メモ

- 再生中のMP3/WMA/AACファイルにタグ情報が存在する場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- タグ情報を取得できなかった場合やWAVファイルの場合は以下のように表示されます。
 - アルバム名：フォルダー名
 - 楽曲名：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーNo.は、階層の深いフォルダーを優先にファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- ファイルNo.は、同一フォルダー内でファイルシステムから見つかった順に割り振られます。また、再生順は接続したメディア内のファイル構成に依存します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。

映像ファイルを再生する (SDのみ)

1 AVソースをSDにする (→P131)

前回再生していたファイルから再生されます。

画面にタッチすると、操作タッチキーが表示されます。



動画リスト	動画リストを表示します。(→P176)
ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わります。(→P176)
▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。
◀フォルダ	フォルダーをダウンします。
フォルダ▶	フォルダーをアップします。
リピート	リピート再生します。(→P176)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P177)

! 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができません。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- 「閉じる」にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 本機で再生するSDカード内の映像ファイルの解像度は、WQVGA (400×240ピクセル) 以下で、かつ4の倍数(例: 320×160→可、320×150→不可)となります。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。ビットレートの上限値は以下の通りです。
 - MPEG4 : 2.5 Mbps
 - H.264 : 1.5 Mbps
 - WMV : 768 kbps
- 再生時間の長い映像ファイルは、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- ナビゲーションの動作状況や映像ファイルの構造によって、再生開始までの時間が異なる場合があります。

本体のボタンで操作する場合：

◀◀ または ▶▶ を押す	ファイルのダウン／アップ
◀◀ または ▶▶ を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

SD/USBのファイル再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	ファイルをアップします。
←ワイプ	ファイルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

音楽ファイルと映像ファイルを切り換える (SDのみ)

1 現在の再生状況に応じて、**ビデオ**または**ミュージック**にタッチする(→P174, 175)

音楽ファイル再生中は映像ファイルに切り換わります。

映像ファイル再生中は音楽ファイルに切り換わります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

1 **曲リスト**または**動画リスト**にタッチする(→P174, 175)



メモ

- **曲リスト**や**動画リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲や見たい映像にタッチする



メモ

- 映像ファイルのリスト画面では、**戻る**にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- **戻る**にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大300、ファイル数は最大5 000です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 **リピート**にタッチする(→P174, 175)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT → **FILE REPEAT** → **FOLDER REPEAT** → **ALL REPEAT** に戻る

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のSDを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイル(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。



メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 **ランダム**にタッチする(→P174)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

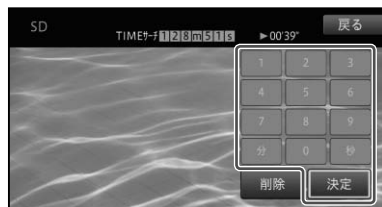
メモ

- ・リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- ・通常再生であるOFFは、画面に表示されません。

ダイレクトサーチ
(SDのみ)

映像ファイル再生中は、見たい場面を数字で指定して再生することができます。

- 1 **10キーサーチ** にタッチする
(→P175)
- 2 見たい場面の時間(分・秒)を入力し、**決定** にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

SD映像ファイルの機能を
設定する

SDカードの映像ファイルの画面サイズを設定します。

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **オーディオ** にタッチする
- 2 **SD映像出力** にタッチする
- 3 **フル** または **アスペクト比固定** にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのまま、長辺を画面に合わせて表示します。

iPodを使う

iPodの操作のしかた	180
再生する	180
iPodミュージック	180
iPodビデオ	181
共通操作	181
iPodミュージックとiPodビデオを切り換える ...	182
聴きたい曲や見たい映像を探す	182
リピート再生	182
シャッフル再生	182
iPodで操作する	183
ワイドモードを設定する	183
ワイドモードの種類	184

iPodの操作のしかた

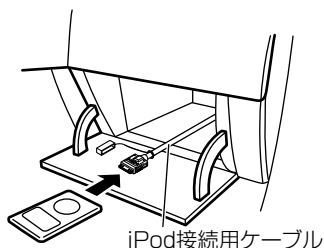
本機に接続した iPod の操作のしかたを説明します。

メモ

- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。
- 本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続用ケーブルが必要です。
- iPod 利用中に iPod が停止状態となることがあります。(映像再生中に iPod を一度外して再度着けた場合など)
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちの iPod ソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応 iPod および制限事項については、販売店へご確認ください。

再生する

1 グローブボックスなどから iPod 接続用ケーブルを引き出し、iPod を接続する



AVソースが自動的に iPod に切り換わります。

メモ

- iPod がすでに接続されていて、別の AV ソース選択中の場合は、AV ソースを iPod に切り換えてください。(→P131)
- iPod 接続用ケーブルの位置は、車によって異なります。詳しくは販売店にご確認ください。

iPod ミュージック

基本操作画面 1 (ジャケット表示)

トラック
トラックNo. タイトル ジャケット画像



再生中トラックの
経過時間

アルバム
タイトル

アーティスト名

曲リスト	iPod ミュージックのリスト画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面(一番上の階層)を表示します。(→P182)
ビデオ	iPod ビデオのトップリスト画面を表示します。(→P182)
	リピート再生を行います。(→P182)
	シャッフル再生を行います。(→P182)
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
アプリモード	iPod 本体で操作する場合に ON にします。(→P183)
表示切換	リスト表示(→P181)に切り換わります。

基本操作画面 2 (リスト表示)

現在再生中の曲を含むアルバムの内容をリスト表示します。同一アルバム内での選曲が可能です。別のアルバムから選曲したいときは、「聴きたい曲や見たい映像を探す」(→P182)をご覧ください。



リスト項目

リスト項目	選んだ曲を再生します。
表示切替	ジャケット表示 (→P180) に切り換わります。

iPodビデオ

基本操作画面

画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。



リスト項目	選んだ映像を再生します。
動画リスト	iPodビデオのリスト画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面(一番上の階層)を表示します。(→P182)
ミュージック	iPodミュージックのトップリスト画面を表示します。(→P182)
	リピート再生を行います。(→P182)
	シャッフル再生を行います。(→P182)

	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
アプリモード	iPod本体で操作する場合にONにします。(→P183)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P183)
閉じる	映像画面に切り換わります。

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

共通操作

本体のボタンで操作する場合：

または	チャプターまたはトラックのダウン/アップ
または	早戻し/早送り を長く押す

ワイプで操作する場合：

iPodの再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	チャプターまたはトラックをアップします。
←ワイプ	チャプターまたはトラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

iPodミュージックと iPodビデオを切り換える

1 現在の再生状況に応じて、**ビデオ**または**ミュージック**にタッチする(→P180, 181)

iPodミュージック再生中はiPodビデオのリスト画面に切り換わります。

iPodビデオ再生中はiPodミュージックのリスト画面に切り換わります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

1 **曲リスト**または**動画リスト**にタッチする(→P180, 181)

メモ

- **曲リスト**または**動画リスト**に長くタッチすると、iPodミュージックまたはiPodビデオのトップリストを表示します。

2 曲または映像を絞り込む



メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。
- **ポッドキャスト**と**オーディオブック**は、対応したiPodを接続した場合に、操作することができます。

3 聴きたい曲または見たい映像にタッチする



メモ

- iPodビデオのリスト画面では、**戻る**にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- **⬆**にタッチすると上位階層のリストを表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 **🔄**にタッチする(→P180, 181)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 **🔀**にタッチする(→P180, 181)

タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS →
SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

iPodで操作する

iPod本体で操作を行うことができます。iPodミュージック、iPodビデオの他、動画、インターネットラジオなどのアプリケーションの映像、音楽をナビゲーションから出力することが可能になります。

1 アプリモードにタッチする (→P180, 181)

コントロール／アプリモードがONになり、iPodでの操作が可能になります。コントロール／アプリモード画面が表示され、本機では一部の操作が可能です。

例：iPodビデオ



▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
アプリモード	コントロール／アプリモードがOFFになります。
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P183)
閉じる	映像画面に切り換わります。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 ワイドモードにタッチする (→P181)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



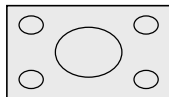
メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



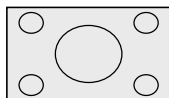
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



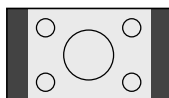
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioの操作のしかた	186
Bluetooth Audio機器の登録	186
再生する	186
リストから選んで再生する	188
リピート再生	188
ランダム再生	188
Bluetooth Audio機器の接続について	189
一時的に接続が切断された場合	189
Bluetooth Audio機器が 自動的に接続されない場合	189

Bluetooth Audioの操作のしかた

AVプロファイルに対応したBluetooth機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio機器内の音楽データを本機で再生することができます。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△

○：できます。 △：Bluetooth Audio機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。→「Bluetoothの設定を行う」(P94)

登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。

メモ

- ・本機に登録されていないBluetooth Audio機器は、接続することができません。
- ・優先接続するBluetooth Audio機器を変更したい場合は、Bluetooth設定で行ってください。→「Bluetooth機器を切り換える」(P97)
- ・Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 ソースをBluetooth Audioに切り換える(→P131)



自動的にBluetooth Audio機器と接続を行い、再生が始まります。

メモ

- ・Bluetooth機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。**はい**にタッチして、登録操作を行ってください。(→P94)



曲リスト 曲リストを表示します。(→P188)

表示切換 プレイリスト画面に切り換わります。

▶ 再生します。一時停止中は、再生を再開します。

|| 一時停止します。

◀グループ グループをダウンします。

グループ▶ グループをアップします。

リピート	リピート範囲を切り換えます。(→P188)
ランダム	ランダム再生をON/OFFします。(→P188)
接続解除	本機とBluetooth Audio機器の接続を解除します。Bluetooth Audio機器と未接続の場合は、 機器接続 が表示されます。タッチすることでナビ側から接続を行います。(→P189)
Bluetooth設定	Bluetooth機器の設定を行います。(→P94)



→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

プレイリスト画面

現在再生中の曲を含むプレイリストを表示します。同一プレイリスト内での選曲が可能です。別のプレイリストから選曲したいときは、「リストから選んで再生する」(→P188)をご覧ください。



プレイリスト項目
選んだ曲を再生します。

本体のボタンで操作する場合：

⏮ または ⏭ を押す	トラックのダウン/アップ
⏮ または ⏭ を長く押す	早戻し/早送り

ワイプで操作する場合：

Bluetooth Audio再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。

メモ

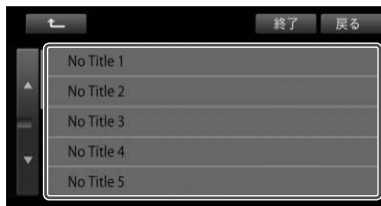
- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
- お使いのBluetooth Audio機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth Audio機器によっては、早戻し/早送りに音がする場合と出ない場合があります。
- A2DP接続のみの場合は ▶ や || などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
- Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
- A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCP Ver1.3またはA2DP+AVRCP Ver1.4で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(Bluetooth Audio機器によっては表示されない場合もあります。)
- また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになるBluetooth Audio機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P186)

2 聴きたい曲にタッチする



選んだファイルが再生されます。

メモ

- にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。Bluetooth Audio機器によってはルートフォルダーより下の階層をトップ階層にしている場合があるため、トップ階層では操作できない場合があります。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P187)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT → TRACK REPEAT → GROUP REPEAT → ALL REPEAT
に戻る

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中の機器を繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

選んだリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P187)

タッチすることにより、ランダム再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → GROUP RANDOM → ALL RANDOM → OFFに戻る

GROUP RANDOM	再生中のグループ内をランダムに再生します。
ALL RANDOM	すべての曲をランダムに再生します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBluetooth Audioの画面には表示されません。

Bluetooth Audio機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBluetooth Audio機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- ACCをOFF/ONした場合
- データ通信を行った場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射をOFF/ONした場合
- Bluetooth機器の登録を行った場合

メモ

- 以下の場合、自動接続の対象外となります。Bluetooth Audio機器側から再接続してください。(→P189)
 - Bluetooth Audio機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
 - Bluetooth Audio再生中にBluetooth Audio機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合
- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audio使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFF(→P132)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetooth Audio機器が自動的に接続されない場合

お使いになるBluetooth Audio機器によっては、Bluetooth Audio機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 機器接続にタッチ(→P187)、またはBluetooth Audio機器を操作して本機と接続する

メモ

- 接続を開始してから1分以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth Audio機器側の接続操作は、Bluetooth Audio機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動接続中など何らかの処理を行っているときに「機器接続」にタッチしても、現在行っている処理が終わるまでは本機能が使用できない場合があります。



Bluetooth Audio機器との接続を開始します。

その他の機器を使う

AUXを使う	192
外部機器の入力設定をする	192
外部機器の音声や映像を再生する	192
ワイドモードを設定する	193
ワイドモードの種類	193

AUXを使う

本機にポータブルオーディオプレーヤーやポータブルビデオ機器などの外部機器を接続すると、その音声や映像を本機のAVソース（AUX）として聞くことができます。

メモ

- 本機にポータブルオーディオプレーヤーやポータブルビデオ機器などの外部機器を接続するには、別売のUSB接続ケーブルが必要です。

外部機器の入力設定をする

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **オーディオ** にタッチする



2 **AUX設定** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	AUXに接続した機器の音声を聞 くとき
OFF	何も接続されていないとき

外部機器の音声や映像を再生する

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

1 AVソースをAUXにする (→P131)



外部機器の音声や映像が再生されます。画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。

例：映像再生時



ワイドモード 表示画面を設定します。(→
(映像再生時) P193)

メモ

- 閉じる** にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になります。
- ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

ワイプで操作する場合：

外部機器音声再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- AUXを使用しているときに、音量を調整すると、AUX用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次回AUXを使用したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 ワイドモードにタッチする (→P192)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



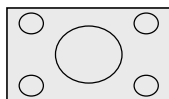
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



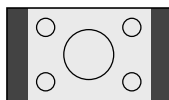
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



オーディオの設定

オーディオの設定をする	196
フェーダー / バランス設定	196
LOUDNESS 設定	197
イコライザー設定	197
イコライザーを補正する	198
ソースレベルアジャスター設定	198
消音設定	199
車速連動ボリューム設定	199

オーディオの設定をする

お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**—
オーディオにタッチする

2 **オーディオ設定**にタッチする



オーディオ設定メニュー画面が表示されます。



フェーダー/バランス設定 前後左右の音量バランスを設定することができます。(→P196)

ラウドネス設定 小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(→P197)

イコライザー設定 あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。(→P197)

ソースレベルアジャスター設定 AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→P198)

消音設定 ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞き取りやすくすることができます。(→P199)

車速連動
ボリューム設定 走行速度に応じて音量を自動補正することができます。(→P199)

メモ

- ・走行中は操作できない設定項目があります。
- ・オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。ただし、消音タイミング(→P199)がOFFに設定されている場合は、設定を行うことができます。
- ・AVソースOFF時やMUTE中は、設定できません。
- ・交通情報受信中は、ソースレベルアジャスターと消音設定のみ設定できます。
- ・Bose®サウンドシステム設定がONの場合は(→P117)、ラウドネス設定、イコライザー設定、車速連動ボリューム設定はできません。

フェーダー/バランス設定

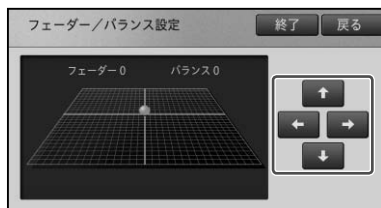
工場出荷時は以下のとおりです。

フェーダー：「0」

バランス：「0」

1 **フェーダー/バランス設定**に
タッチする(→P196)

2 ↑、↓、←、→ にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

工場出荷時は以下のとおりです。

設定：「OFF」

効果：「MID」

1 ラウドネス設定 にタッチする (→P196)

2 ON にタッチする



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF** を選びます。

3 ◀または▶でLOW/MID/HIGH から設定する



イコライザー設定

工場出荷時は「FLAT」です。

1 イコライザー設定 にタッチする(→P196)

2 お好みの設定にタッチする



タッチすることによりイコライザーカーブが切り換わります。

詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。
SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
CUSTOM1 CUSTOM2	CUSTOMメモリーに登録した調整値を呼び出します。

ファクトリーカーブ

 メモ

- **CUSTOM1** はAVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM、AM
 - CD、ROM、DVD-V、DVD-VR
 - SD、USB

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、CUSTOM1に登録されます。

 メモ

- **CUSTOM2** を選んで行った補正値は、CUSTOM2に登録されます。
- すでにイコライザー設定(→P197)で、CUSTOM1に補正値を登録済みの場合、ここで補正した値が上書きされます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ(→P197)

2 **詳細設定** にタッチする

3 補正する周波数を選び、▲ または ▼ にタッチしてレベルを補正する



100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、3.15 kHz、8 kHzから周波数を選べます。
-12 dB ~ +12 dBの間で2 dBごとに調整できます。

ソースレベルアジャスター設定

工場出荷時は「±0 dB」です。

 メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM
 - AM、交通情報
 - DVD-V、DVD-VR
 - SD、USB

1 **ソースレベルアジャスター設定** にタッチする(→P196)

2 **+** または **-** にタッチする



-8 dB ~ +8 dBの範囲で2 dBごとに調節できます。

消音設定

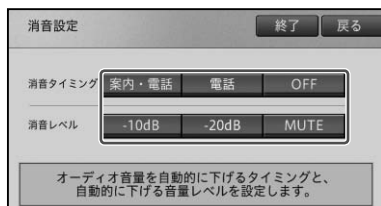
工場出荷時は以下のとおりです。

消音タイミング : 「電話」

消音レベル : 「-20 dB」

1 消音設定にタッチする (→ P196)

2 設定したい項目にタッチする



消音タイミング

案内・電話	音声案内やハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
電話	ハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

車速連動ボリューム設定

工場出荷時は以下のとおりです。

設定 : 「OFF」

1 車速連動ボリューム設定にタッチする(→ P196)

2 お好みの設定レベルにタッチする



LOW、**MID LOW**、**MID**、**MID HIGH**、**HIGH**から選びます。

車速連動ボリュームを働かせない場合は、**OFF**を選びます。

カメラ機能を使う

カメラを使う	202
バックカメラの映像を表示する	202
バックカメラ映像のガイド線の 表示／非表示を設定する	202
バックカメラ映像のガイド線を調整する	203
バックカメラとサイドカメラの 映像を切り換える	204
バックカメラの映像を解除する	204
フロントカメラ／サイドカメラの映像を 表示する	204
フロントカメラ／サイドカメラの 映像を解除する	204

カメラを使う

別売のバックカメラ／フロントカメラ／サイドカメラを接続すると、車の後方／前方両側／左前方の映像を本機のモニター画面で確認することができます。

また、複数のカメラを組み合わせてお使いになる場合は、カメラの映像を切り換えて使用することができます。

カメラをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。

→「カメラの入力設定をする」(P115)

バックカメラの映像を表示する

後退中は、バックカメラの映像が表示されます。

！ 注意

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 シフトレバーをR(リバース)の位置にする

▼
バックカメラの映像が表示されます。



擬似バンパーライン

メモ

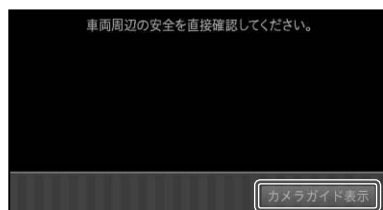
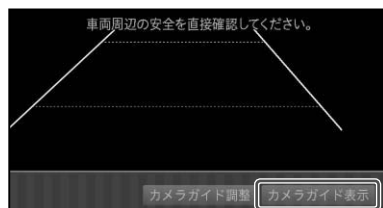
- バックカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- バックカメラの映像を表示中に **メニュー** を長く押すと、画質調整画面 (→P224) が表示され、画質を調整することができます。
- 擬似バンパーライン表示 (→P115) をONに設定している場合は、バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインが表示されます。

バックカメラ映像のガイド線の表示／非表示を設定する

1 バックカメラの映像表示中に画面にタッチする

2 カメラガイド表示にタッチする

タッチするとカメラガイド線の表示／非表示が切り換わります。



メモ

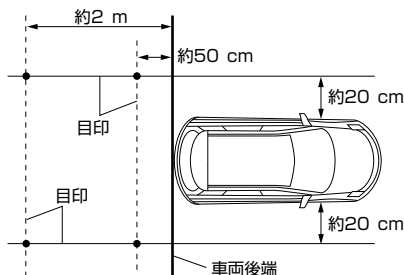
- カメラガイド表示** と **カメラガイド調整** は、何も操作しないと約4秒で消えます。画面にタッチすると再表示します。

バックカメラ映像のガイド線を調整する

！ 注意

- ガイド線調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチを OFF にしてエンジンを停止してください。

1 車両の幅+両側約 20 cm、車両後端から後ろ側へ+約 50 cm と+約 2 m の位置にガムテープなどで目印をつける

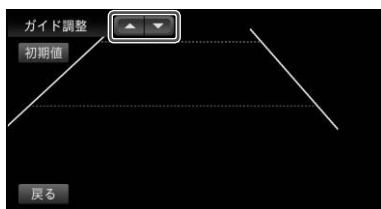


2 パーキングブレーキを引いてカメラガイド調整にタッチする

メモ

- あらかじめガイド線を表示しておいてください。(→P202)

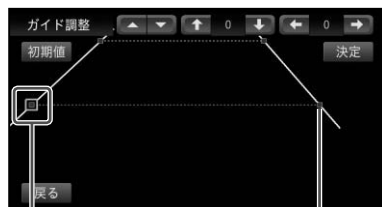
3 ▲または▼にタッチする



初期値	工場出荷時の状態に戻します。
戻る	ガイド調整を終了します。

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 カーソル位置を選択してポイントを調整する



カーソル位置

ポイント

初期値	ポイントを調整前(前回保存した状態)の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順 3 の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順 3 の画面に戻ります。
▲/▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L) ↔ 赤(R) ↔ 緑(L) ↔ 緑(R)の順にカーソル位置を変更します。
↑/↓/←/→	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

！ 注意

- バックカメラが映し出す範囲には限界があります。またバックカメラの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。(ガイド線は直線となります。)
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

バックカメラとサイドカメラの映像を切り換える

1 バックカメラ映像表示中に[C] (カスタムボタン)を押す

[C] (カスタムボタン) を押すごとに、次のように映像が切り換わります。

バックカメラ映像⇄サイドカメラ映像

メモ

- フロントカメラの映像に切り換えることはできません。

バックカメラの映像を解除する

1 シフトレバーをR (リバース) 以外の位置にする

バックカメラの映像が解除されます。

メモ

- サイドカメラの映像のときに手順 1 の操作をしても、サイドカメラの映像は解除されません。
- サイドカメラの映像を解除したい場合や、シフトレバーがR (リバース) 位置のときにバックカメラの映像を解除したい場合は、**現在地** / **AV** / **メニュー** / **▲** を押します。

フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示する

前進・停車中は、フロントカメラ映像およびサイドカメラ映像を切り換えて表示できます。

！ 注意

- フロントカメラ／サイドカメラの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

1 [C] (カスタムボタン)を押す

[C] (カスタムボタン) を押すごとに、次のように映像が切り換わります。

フロントカメラ映像⇄サイドカメラ映像

メモ

- フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- フロントカメラ／サイドカメラの映像表示中に**メニュー**を長く押すと、画質調整画面 (→ P224) が表示され、映像を調整することができます。

フロントカメラ／サイドカメラの映像を解除する

1 **現在地** / **AV** / **メニュー** / **▲** を押す

フロントカメラ／サイドカメラの映像が解除されます。

携帯電話を使う

携帯電話を使う	206
ハンズフリー通話をする	206
ハンズフリー通話をするには	206
ハンズフリー通話でエコー (残響音)が気になるときは	206
電話の受けかた	206
電話のかけかた	207
電話番号を入力して電話をかける	208
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける ...	208
発着信履歴から電話をかける	208
リダイヤルで電話をかける	209
地図に登録された電話番号にかける	209
通話中メニューの操作	209
携帯電話情報を編集する	210
メモリダイヤルを読み込む	210
メモリダイヤルを消去する	211
履歴情報を消去する	212

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→P100)
- 次のような場合は、通信相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
 - 悪路走行時
 - 高速走行時
 - 窓を開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコンのファンの音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化(ノイズ、エコーなど)することがあります。

！ 注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短に終了するようにしてください。

ハンズフリー通話をするには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは「通信設定をする」(→P93)をご覧ください。

メモ

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず「通信機器使用上のご注意」(→P94)をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする(→「ナビゲーションの音量を設定する」(P100))
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する(→「案内/電話スピーカー設定をする」(P101))

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→P209)
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



☎にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると「トゥルルルル」という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル (→P208) に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます (登録地とメモリダイヤルの電話番号が同一の場合は、登録地の名称が表示されます)。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、 にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話の切りかたは、「通話中メニューの操作」(→P209)をご覧ください。

ワイプで操作する場合：

電話着信中は、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	通話することができます。
←ワイプ	電話を切ります。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** にタッチする

メモ

- Bluetooth機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。**はい** にタッチして、登録操作を行ってください。(→P94)

2 電話をかける方法にタッチする



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P208)
メモリダイヤル	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。(→P208)
発信履歴	本機と携帯電話を接続時に発信、着信 (不在着信含む) した履歴を表示し、電話をかけることができます。(→P208)
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。(→P209)
Bluetooth設定	Bluetooth機器の設定を行います。(→P94)

メモ

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル**は選択できません。
- 発信中、通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー (→P209) が表示されます。

電話番号を入力して電話をかける

1 **ダイヤル発信**にタッチする (→P207)

2 電話番号を入力し、**発信**にタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。
(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

メモ

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える (→P97) と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 **メモリダイヤル**にタッチする (→P207)

2 相手先を選んでタッチする



3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



4 **はい**にタッチする

相手先に電話が発信されます。

発着信履歴から電話をかける

1 **発着信履歴**にタッチする (→P207)

2 表示したい履歴を選んでタッチする



選んだ履歴がリスト表示されます。

3 相手先を選んでタッチする

相手先に電話が発信されます。

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤルにタッチする (→P207)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

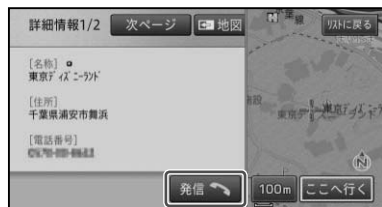
- カスタム設定 (→P115) で「リダイヤル」を割り当てている場合は、**C** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→P42)施設の 詳細情報(→P48)を表示させる

2 発信にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



閉じる	通話中メニューを閉じます。
+	受話音量を上げます。
-	受話音量を下げます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリー ON(OFF)	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 戻る** にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の **戻る** にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

携帯電話情報を編集する

メモリダイヤルの読み込みや消去、各履歴の消去を行うことができます。

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** にタッチする

2 **編集・消去** にタッチする



- 手順 **1** ～ **2** で、**設定・編集**—**電話・通信**—**携帯電話データ編集** にタッチして操作する方法もあります。

編集・消去メニューが表示されます。



メモリダイヤル	メモリダイヤルの読み込みや消去を行います。(→ P210, 211)
発信履歴消去	発信履歴を消去します。(→ P212)
着信履歴消去	着信履歴を消去します。(→ P212)
不在着信履歴消去	不在着信履歴を消去します。(→ P212)

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大 1 000 件のデータを本機に読み込むことができます。



- 1 件につき 5 つの電話番号まで保存可能です。
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。

- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える (→ P97) と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「メモリダイヤルを消去する」(→ P211) を参照してください。
- 1 人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **メモリダイヤル** にタッチする (→ P210)

2 **読み込み** にタッチする



- すでに読み込んだデータがある場合は、**上書き読み込み** または **追加読み込み** を選んでください。

3 **携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する**

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができます。

メモ

- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります)が必要です。
- PBAP接続(→P94)に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。またPBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルおよび履歴情報は消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える(→P97)と、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- メモリダイヤルの消去中は、メモリダイヤル機能(→P210)が使用できません。

1 **メモリダイヤル**にタッチする
(→P210)2 **消去**にタッチする

3 消去したい電話番号にタッチする



選んだ電話番号には、☒ (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 全選択**にタッチするとすべての電話番号が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている電話番号すべてを解除します。

4 **消去**にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 **はい**にタッチする

選んだ電話番号が消去されます。

メモ

- メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをOFF)にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

履歴情報を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

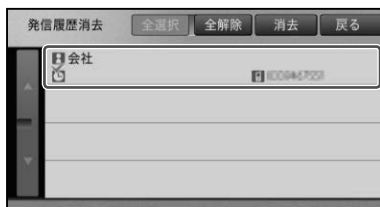
メモ

- 接続する携帯電話を切り換えると、その携帯電話を使用したときの発信履歴は表示されなくなります。再接続すると、再度表示されます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発信の履歴も、自動的に削除されます。

1 消去したい履歴項目を選んでタッチする(→P210)



2 消去したい履歴情報にタッチする



選んだ履歴情報には、☒ (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択**にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

3 消去 にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

選んだ履歴情報が消去されます。

その他の操作

エコマネージャーを使う	214
エコスコアについて	214
エコゲージについて	215
エコプライズについて	216
パーソナライズ機能を利用する	217
パーソナライズ画面を表示する	217
ユーザー設定をする	218
ユーザーアイコンを設定する	218
ユーザー名を設定する	218
音量を設定する	219
操作音を変更する	219
入力キーボードを設定する	219
地図の文字情報を拡大する	219
地図の表示方法を設定する	220
ロゴマークの表示を設定する	220
誘導アイコンを設定する	221
ユーザー切り換えメニューを使う	221
ユーザーを新規登録する	221
ユーザーを切り換える	222
ユーザーを削除する	222
スマートフォン連携機能を使う	223
画質を調整する	224
リアモニターを組み合わせる	225
リアモニターに表示される映像について	225
リアモニターの設置場所について	225
タッチパネルのタッチ位置を調整する ...	226
パソコンリンクソフトからSDカードに 保存したデータを本機で使用する	227
SDカードに保存したデータを本機へ転送する ...	227
地図データのバージョンアップを行う	227

エコマネージャーを使う

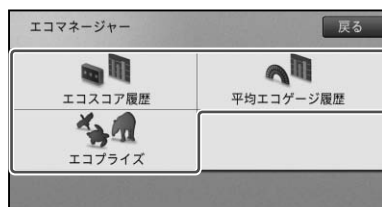
エコマネージャーは、エコゲージやエコスコア(エコ情報)の確認を行うメニューです。また、エコ運転の貢献度に応じて、いろいろな動物の画像を獲得(エコプライズ)することができます。

メモ

- エコゲージは「車速」「加速度」「勾配情報」から、エコスコアは「車速」「エコゲージ」から計算されます。センサー初期学習中の場合など、車速が算出されない状態ではエコゲージとエコスコアが正しく計算できない場合があります。→「ナビゲーションのしくみ」(P236)

1 **メニュー** を押し、**エコマネージャー** にタッチする

2 項目を選んでタッチする



エコスコア履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコスコア履歴を表示します。
平均エコゲージ履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコゲージ履歴を表示します。
エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。(→P216)

メモ

- 地図の表示がエコ情報表示になっていないと、**エコスコア履歴** および **平均エコゲージ履歴** のタッチ操作はできません。

エコスコアについて

車速とエコゲージから評価されたエコスコアを表示します。地図の表示がエコ情報表示(→P29)のときに表示されます。



エコスコア	リセットしてから次にリセットをするまでの運転を評価します。
エコゲージ	画面表示をエコゲージに切り換えます。
リセット	エコゲージとエコスコアをリセットします。
履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコスコア履歴を表示します。

! 注意

- エコスコアを参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。

メモ

- 急な坂道など走行環境によりエコスコアが低く評価される場合がありますので、ご了承ください。
- エコスコアの点数に応じてポイントが加算され、エコブライズの獲得レベルが決まります。詳しくは「エコブライズについて」(→P216)をご覧ください。
- 推定される燃費が理想の燃費に近いほどエコ運転と判断されます。
- エコスコアは100点満点で評価されます。
- リセットを行うと、最新のエコスコアが履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには「履歴」にタッチしてください。
- 以下の場合、エコスコアは表示されません。
 - 交差点案内表示中(→P58)
 - レーン情報、方面看板表示中(→P57)
 - センサー初期学習中(→P83)

エコゲージについて

エコゲージ画面では、エコ運転をチェックすることができます。エコな運転であるほど、メーターがHIGHに伸びます。地図の表示がエコ情報表示(→P29)のときに表示されます。



瞬間	瞬間のエコゲージを表示します。
平均	リセットしてから次にリセットをするまでの平均エコゲージを表示します。
エコスコア	画面表示をエコスコアに切り換えます。
リセット	エコゲージとエコスコアをリセットします。
履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコゲージ履歴を表示します。

！ 注意

- エコゲージのメーターを参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。

メモ

- リセットを行うと、最新の平均エコゲージが履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには「履歴」にタッチしてください。
- 以下の場合、エコゲージは表示されません。
 - 交差点案内表示中(→P58)
 - レーン情報、方面看板表示中(→P57)
 - センサー初期学習中(→P83)

エコプライズについて

前日までのエコスコアの累積結果をポイント換算し、ポイントに応じたレベルの画像を表示します。

エコプライズサムネイル画面



サムネイル画像	選んだサムネイル画像の詳細画面を表示します。(→P216)
◀◀ / ▶▶	エコプライズサムネイル画像を前ページ/次ページに送ります。

メモ

- エコスコアのポイントがレベルに達していない画像は **?** と表示され、タッチするとエコプライズの詳細説明メッセージが表示されます。
- エコプライズで獲得した画像によっては、パーソナライズの「ユーザーアイコン」、「操作音」、「誘導アイコン」で設定できます。パーソナライズについて詳しくは、「**パーソナライズ機能を利用する**」(→P217)をご覧ください。

エコプライズ詳細画面



戻る	エコプライズサムネイル画面に戻ります。
----	---------------------

パーソナライズ機能を利用する

パーソナライズ機能とは、本機を家族間など複数人でお使いになる場合に、使用者（オーナー、ユーザー）のお好みによって異なる設定値（地図表示や音量設定など）を別々に登録しておき、使用者を切り換えることで、オリジナルな設定で本機を使用することができる機能です。

使用者は最大4名（オーナー1名、ユーザー3名）まで登録できます。（オーナーはあらかじめ登録されています。）

現在の使用者として選択されたオーナーやユーザー（1～3）は、地図画面右下にユーザーアイコンとして表示されます。

メモ

- ・オーナーを削除することはできません。ただし、オーナー情報を設定・編集することはできません。
- ・ユーザー1～3を登録すると、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にした際、登録ユーザー選択画面が表示されるようになります。使用者がお1人だけの場合は、オーナー情報を設定・編集します。

パーソナライズ画面を表示する

パーソナライズ画面では、操作履歴の表示および選択、ユーザーの登録や設定・切り換えなどを行うことができます。

1 地図画面でユーザーアイコンにタッチする



パーソナライズ画面が表示されます。



★

選択中の操作履歴に★マークが表示され、お気に入りとして登録されます。お気に入りとして登録された操作履歴は、リストの上位に常に表示されます。再度★にタッチすると★マークが消灯し、お気に入り登録が解除されます。

リスト項目

過去30件分の操作履歴が表示されます。選択した操作を実行することができます。

設定—

ユーザー設定

使用者ごとの設定ができます。（→P218）

設定—

履歴の消去

操作履歴の全消去ができます。

ユーザー切換

ユーザーの新規登録や切り換え、削除ができます。（→P221）

メモ

- ・お気に入りに登録されていない操作履歴は、30件を超えると古い順に上書きされていきます。
- ・お気に入り登録は、30件まで登録できます。
- ・履歴消去を行うと、お気に入りを除いた全ての操作履歴が消去されます。

ユーザー設定をする

使用者ごとに地図の表示方法の設定やナビゲーションの音量設定などが行えます。

1 設定 → ユーザー設定 にタッチする(→P217)



ユーザー設定画面が表示されます。



アイコン	ユーザーアイコンを設定します。(→P218)
ユーザー名	ユーザー名を設定します。(→P218)
音量	各音量を設定します。(→P219)
操作音変更	操作音を設定します。(→P219)
入力キーボード	文字入力時のキーボード設定をします。(→P219)
地図の文字拡大	地図の文字拡大のON/OFFを設定します。(→P219)
地図ビュー	地図の表示方法を設定します。(→P220)
ロゴマーク	地図表示するロゴマークを設定します。(→P220)
誘導アイコン	地図表示する誘導アイコンのパターンを設定します。(→P221)
設定初期化	設定を初期化して工場出荷時の状態に戻します。

2 設定が終了したら、**終了** にタッチする

ユーザーアイコンを設定する

ユーザーアイコンを20種類のアイコンから設定できます。

1 **アイコン** にタッチする(→P218)

2 お好みのアイコンにタッチする



メモ

- エコプライズで獲得したアイコン(最大12種類)を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P216)をご覧ください。

ユーザー名を設定する

お好みでユーザー名が設定できます。最大入力文字数は全角で7文字です。工場出荷時は「オーナー」または「ユーザー(1～3)」です。

1 **ユーザー名** にタッチする(→P218)

2 ユーザー名を入力し、**入力終了** にタッチする



音量を設定する

ナビゲーションの案内音量や電話の着信音量と受話音量の調整、操作音のON/OFFを設定できます。

1 音量にタッチする(→P218)

2 それぞれの項目を設定する



メモ

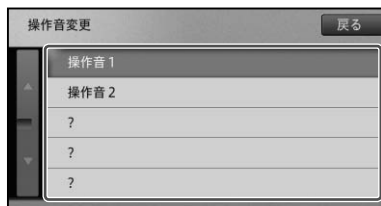
- 音量の設定操作は、「ナビゲーションの音量を設定する」(→P100)と同様です。

操作音を変更する

画面や本体のボタンをタッチしたときに鳴る操作音を設定できます。
工場出荷時は「操作音 1」です。

1 操作音変更 にタッチする(→P218)

2 お好みの操作音にタッチする



リスト項目にタッチすると音が鳴り、確認することができます。

3 戻る にタッチする

メモ

- エコプライズで獲得した操作音を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P216)をご覧ください。

入力キーボードを設定する

2種類の入力パレット(キーボード式入力とケータイ式入力)から選んで行うことができます。

工場出荷時は「50音入力」です。

1 入力キーボード にタッチする(→P218)

2 50音入力 または ケータイ入力 にタッチする



3 戻る にタッチする

地図の文字情報を拡大する

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 地図の文字拡大 にタッチする(→P218)

2 ON または OFF にタッチする



3 戻る にタッチする

地図の表示方法を設定する

地図の表示方法を設定できます。
工場出荷時は「ノーマルビュー」です。

1 地図ビュー にタッチする (→P218)

2 ノーマルビュー または スカイ ビュー にタッチする



3 戻る にタッチする

ロゴマークの表示を設定する

施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

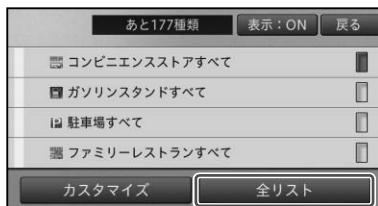
工場出荷時は以下のとおりです。

表示：「ON」

表示種類：「0種類」

1 ロゴマーク にタッチする (→P218)

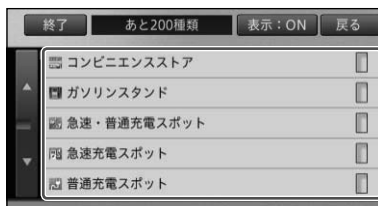
2 全リスト にタッチする



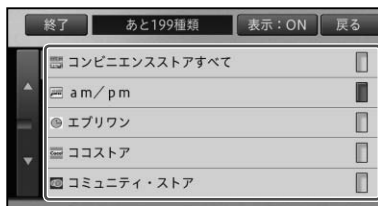
メモ

- ここでジャンルにタッチすると地図画面に戻り、選択したジャンルの全ての施設が地図上に表示されます。
- リストはお好みに応じてカスタマイズすることができます。(→P32)

3 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする



4 ロゴマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度施設にタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。

- 他のジャンルの施設を選ぶには、**戻る** にタッチして手順 **3** の画面に戻り、手順 **3** ～ **4** を繰り返してください。
- 表示設定が **表示：OFF** の場合は、**表示：OFF** → **表示：ON** とタッチして、表示設定を変更してください。

5 **戻る** - **戻る** - **戻る** にタッチする

メモ

- ログマークの表示設定操作は、「ログマークの表示設定をする」(→P31)と同様です。

誘導アイコンを設定する

目的地や立寄地などの誘導アイコンを設定できます。

工場出荷時は「パターン1」です。

1 **誘導アイコン** にタッチする (→P218)

2 お好みのパターンにタッチする



メモ

- エコプライズで獲得したアイコン（最大3種類）を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P216)をご覧ください。

ユーザー切り換えメニューを使う

ユーザーを新規登録する

オーナー以外の使用者を、ユーザー 1 ～ 3 に登録することができます。

メモ

- すでにユーザー 1 ～ 3 が登録済みの場合、新規登録ができません。登録済みのユーザーを削除(→P222)してから操作してください。

1 **ユーザー切換** にタッチする (→P217)

2 **新規登録** にタッチする



ユーザー設定画面が表示されます。

3 **ユーザー設定** をする(→P218)

4 **終了** にタッチする

メモ

- 新規登録を行うと、登録完了後はそのまま現在の使用者として選択されます。

ユーザーを切り換える

登録されたユーザーごとの設定値や操作履歴を使うには、ユーザーを切り換えます。

1 ユーザー切換 にタッチする (→P217)

2 切り換えたいユーザーにタッチする



選んだユーザーに切り換わります。

ユーザーを削除する

オーナー以外の登録ユーザーを削除することができます。

1 ユーザー切換 にタッチする (→P217)

2 ユーザー削除 にタッチする



3 削除したいユーザーにタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

ユーザーが削除されます。



メモ

- オーナーを削除することはできません。
- 現在選択中のユーザーを消去した場合、自動的にオーナーが選択状態になります。

スマートフォン連携機能を使う

NaviConに対応したスマートフォンをBluetooth接続すると、スマートフォンの操作で目的地を設定することができます。

メモ

- 本機能をお使いになるには、専用のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。
- 本機能をお使いになるには、ご使用になるスマートフォンを本機へ登録し、スマートフォン連携機能を選択設定する必要があります。→「Bluetoothの設定を行う」(P94) 準備が完了すると、スマートフォン連携マーク(→P26)が表示されます。
 - ：スマートフォンの本機への登録と設定が完了しています。
 - ：スマートフォンが接続中です。(Android (アンドロイド) スマートフォンは表示されません)
 - ：スマートフォンの接続が完了し、本機と連携状態です。
- 専用アプリケーションおよびスマートフォンの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 専用アプリケーションのバージョンアップにより、実際の機能が取扱説明書と異なる場合があります。

1 スマートフォンを操作してNaviConを起動し、地図画面を表示する



本機との接続が自動で行われ、NaviConで表示される地図と同じ位置の地図が、本機に表示されます。

メモ

- 地図スクロール、スケールの変更も連動します。
- Androidスマートフォンは、NaviConの自動接続設定が無効に設定されている場合は、自動接続されません。自動接続されなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

2 NaviConで、目的地や立寄地の設定操作をする

メモ

- 本機の探索結果画面で **案内開始** にタッチせずに、新たに目的地を送信すると、表示されている探索結果はキャンセルされ、新たにルート探索されます。
- NaviConで複数の目的地を設定した場合、本機では地点1が目的地に、地点2以降が立寄地として設定されます。立寄地は地点2からの昇順に目的地に近い立寄地として設定されます。

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」、「色合い」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックカメラ、フロントカメラ、サイドカメラの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。なお、映像の調整は、周囲の安全に十分配慮しながら行ってください。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、 **メニュー**を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして 調整する



黒の濃さ

☐ (白)	薄くなる
☒ (黒)	濃くなる

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

☒ (赤)	暖色系が強くなる
☒ (青)	寒色系が強くなる

色の濃さ

淡	薄くなる
濃	濃くなる

色合い

☒ (赤)	赤くなる
☒ (緑)	緑になる

メモ

- 色の濃さ、色合いは、映像系AVソース(色合いはSDを除く)とカメラ映像を表示している場合のみ、調整することができます。

3 **戻る**にタッチする

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

TV	○
DVD	○
iPodビデオ	○
AUX	○
SDの映像ファイル	×
ナビゲーション	×
バックカメラ	×
フロントカメラ	×
サイドカメラ	×
AVソース画面	×

○：表示します。 ×：表示しません。

！ 注意

- ・リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

✎ メモ

- ・リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによって異なります。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

！ 注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。

メモ

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**メニュー**を長く押すか、**現在地**または**AV**を押してください。**現在地**を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻り、**AV**を押した場合は、AV画面に戻ります。

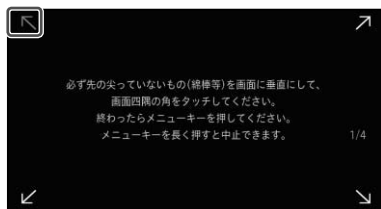
1 **メニュー**を2秒以上押す

▼
画質調整画面(→P224)が表示されます。

2 画質調整画面のまま **メニュー**を2秒以上押す

▼
タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅を順にタッチする



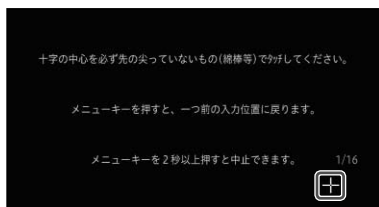
4 **メニュー**を押す

▼
調整結果が保存されます。

5 もう一度 **メニュー**を押す

▼
16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする



▼
16点タッチ後、画面に表示される+マークにタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、**メニュー**を押してください。

7 **メニュー**を2秒以上押す

▼
調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

メモ

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店にご相談ください。

パソコンリンクソフトからSDカードに保存したデータを本機で使用する

パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、SDカードにデータを保存しておく、かんたんな操作で本機にそのデータを転送することができます。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』－「SDカードの出し入れ」
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- あらかじめ、市販のSDカードを本機に登録してください。本機に登録されていないSDカードではパソコンリンク機能を使用することができません。SDカードの登録について、詳しくは『スタートブック』－「パソコンリンクソフト」をご覧ください。

SDカードに保存したデータを本機へ転送する

1 データが保存されたSDカードを本機に挿入する(→『スタートブック』)

自動的に以下のデータが本機に転送されます。

- 天気予報
- 渋滞情報
- 地図データ(差分情報のみ)

メモ

- 転送が完了すると、メッセージが表示されます。地図データの差分情報に関しては、次に本機を起動した時点から有効となります。
- 地図データ(差分情報のみ)更新時に、AVソースでSD / USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ(差分情報のみ)更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。

！ 注意

- データ転送中は、地図画面下部に更新中マークが表示されます。データ転送中は本機の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

地図データのバージョンアップを行う

1 地図データが保存されたSDカードを本機に挿入する(→『スタートブック』)

確認メッセージが表示されます。

メモ

- 地図データの更新を開始すると、AVソースのSD / USBが使用できなくなりますので、ご注意ください。

2 はいにタッチする

更新が開始されます。

バージョンアップ完了後に、再起動を求めるメッセージを表示します。

3 今すぐ再起動にタッチする

自動的に本機が再起動し、地図データの更新を再開します。

地図データの更新が完了すると、メッセージが表示されます。

再生できるディスクの種類	230	故障かな？と思ったら	239
DVDに表示されているマークの意味	231	ナビゲーション	239
ディスクの操作について	231	オーディオ	239
ディスクの構成について	232	共通項目	239
DVDビデオ	232	FM/AM	240
映画など	232	DVD	240
カラオケディスク	232	CD/ROM (WMA/MP3/AAC)	241
CD	232	TV	242
WMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	233	SDカード／USBメモリー	243
フォルダーとWMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	233	エラーメッセージと対処方法	244
WMAとは？	233	共通項目	244
再生できるWMAファイルについて	234	ナビゲーション	244
MP3とは？	234	オーディオ	245
再生できるMP3ファイルについて	234	DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DVD)	245
AACとは？	235	TV	246
再生できるAACファイルについて	235	Bluetooth Audio	247
WAVとは？	235	SDカード／USBメモリー	247
再生できるWAVファイルについて	235	iPod	248
ナビゲーションのしくみ	236	センサーメモリーのリセットについて	249
現在地がわかるしくみ	236	センサー学習状態のリセットが必要な場合	249
GPSによる測位	236	センサー学習状態のリセットのしかた	249
自立航法による測位	236	センサー学習とは	249
測位の精度を高めるためのしくみ	236	その他の情報	250
3Dハイブリッドセンサーの役割	236	検索におけるデータベースについて	250
マップマッチング	237	ルートに関する注意事項	250
誤差について	237	VICS情報に関する注意事項	251
		シティマップ（詳細市街地図）収録エリア	252
		阪神高速道路株式会社からのご連絡	255
		収録データベースについて	255
		索引	259
		メニュー索引	259
		用語索引	260
		五十音順	260
		数字・アルファベット順	265
		記号・マーク一覧	267

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。

CD



- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生されるデータは音楽データ（CD）のみとなります。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質（AVCHD 規格）で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類
	再生可能な地域番号（リージョン番号） 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピート再生など一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVDビデオ

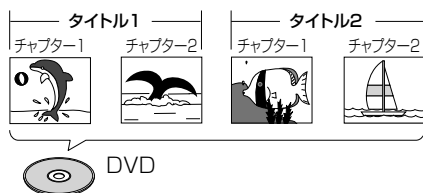
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

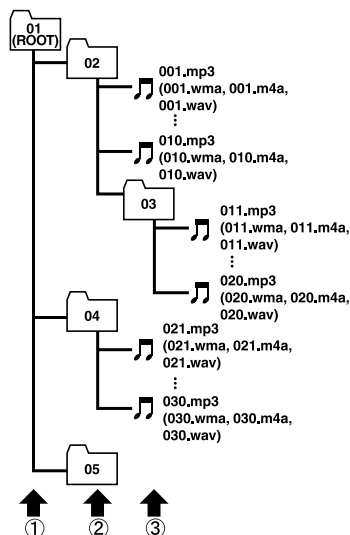
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

フォルダーとWMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したディスクや、WMA/MP3/AAC/WAVファイルを収録したSDカード/USBメモリー内のイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)や、WMA/MP3/AAC/WAVファイルが収録されたSDカード/USBメモリーの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット(Joliet, Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- 再生できるフォルダー数の合計は、DVD-R、CD-Rどちらに書き込んだDISCでも最大700(ROMの場合) / 300(SD/USBの場合)です。
- 再生できるファイル数の合計は、DVD-Rに書き込んだDISCで最大3500(ROMの場合)、CD-Rに書き込んだDISCで最大999(ROMの場合) / 5000(SD/USBの場合)です。
- 拡張フォーマット(Romeo)に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から28文字、半角では先頭から56文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません(フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が700個まで再生可能です。

WMAとは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

メモ

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- WMA Tagのalbum (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8 kHz ~ 48 kHzです。
- 対応ビットレートは5 kbps ~ 320 kbpsです。VBRに対応しています。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルがDRM で保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

メモ

- MP3ファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3 Tagのバージョンは1.0、1.1、2.2、2.3です。なお、ID3 TagのVer.1.XとVer.2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- 再生可能なMP3ファイルの対応サンプリング周波数は、8 kHz ~ 48 kHzです。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは8 kbps ~ 320 kbpsです。VBRに対応しています。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC Tagのalbum (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8 kHz～44.1 kHz (ROMの場合) / 8 kHz～48 kHz (SD/USBの場合) です。
- 対応ステレオビットレートは8 kbps～320 kbpsです。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
* Apple Lossless

WAVとは？

WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できるWAVファイルについて

メモ

- WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けしないでください。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は、16 kHz～48 kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数が大きいほど音質は良くなります。本機は、8/16 bitで記録されたWAVファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

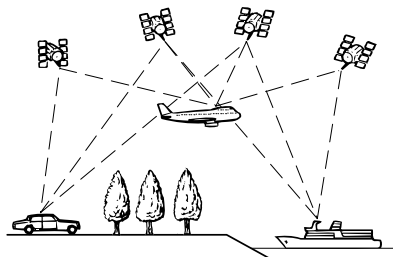
ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度 3D ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

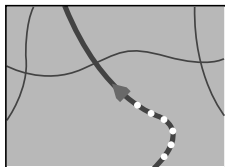
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

メモ

- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

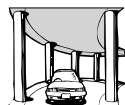
次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

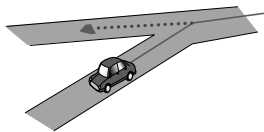
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなる場合があります。

低速時の自転車位置精度について

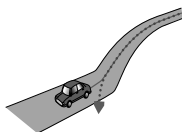
車種によっては数km/h程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数km/h程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



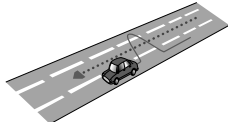
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



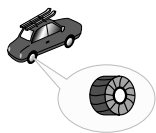
- 蛇行運転をした場合。



- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



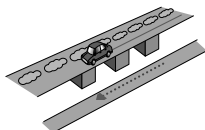
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



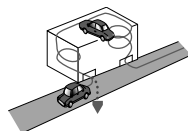
- ヘアピンカーブが続いた場合。



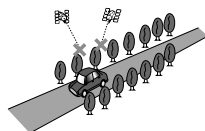
- 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



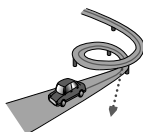
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



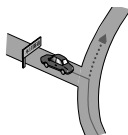
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



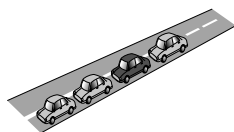
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



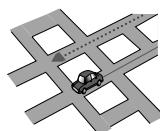
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自転車位置を測位できない。 測位誤差が大きい。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P83)して、学習をやり直してください。
自転車位置がずれる。	測位誤差。	測位誤差の発生しやすい場所については、「 誤差について 」(→P237)をご覧ください。
		3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P83)して、学習をやり直してください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります(→「 ナビゲーションの音量を設定する 」(P100))。ただし、本機のしくみ上、完全に響き(エコー)をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通のおおきさの声で通話してください。
Bluetooth機器と接続できない。	本機がBluetooth機器と通信できない状態になっている。	Bluetooth機器の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ(ACC)をOFF/ONしてください。 あとからBluetooth機器の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、「 Bluetooth機器を切り換える 」(→P97)の操作をして、Bluetooth接続するBluetooth機器を選択してください。
ナビゲーションの起動に時間がかかる。	ナビゲーションシステムの最適化を行っているためであり、故障ではありません。	—

オーディオ

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。→「 画面を一時的に消す(ナビスタンバイ) 」(P13)
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	現在地 で画面を切り換えてください。

症状	原因	処置
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →「フェーダー / バランス設定」(P196)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P136)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P136)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。(→P231)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	(AV) で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。→「オートプレイ」(P171)
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P171)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
	DTS音声を再生しようとしている。	DTS音声は再生できません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P171)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。

症状	原因	処置
DVD機能設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります(故障ではありません)。
⓪(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD/ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。

症状	原因	処置
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01,02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

TV

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、 コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが 映る。	受信状態が悪くなった場合などは、 そのような症状になります。これは 地上デジタル放送特有の現象で、 故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
メッセージが表示され、視 聴ができない。	本機が対応していない放送を視聴し ようとしている。	本機は、以下の放送には対応してい ません。 ・番組単位で購入できる有料放送 (ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてくだ さい。
映像切換 、 音声切換 、 字幕切 換 のタッチキーが薄く表示 されていて切り換わらない。	受信中の番組が、それらの情報を放 送していない。	それらの情報を放送している番組で 操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換 えるときは、 サービス切換 にタッチ します。(→P143)
受信できない。 「受信できません」という メッセージが表示される。 「スキャンを実行してくだ さい」というメッセージが 表示される。	チャンネルスキャンをしていない。 移動により、受信中のチャンネル電 波が弱くなった。	初めて使うときやバッテリーを外し たとき、「視聴者設定クリア」(P150) をしたときは、チャンネルスキャン をしてください。 他の中継局(チャンネル)に切り換えて みてください。エリアプリセット以外 の方法で受信している場合でも、オート 放送局サーチ設定に従って、自動的に受 信可能な中継局や系列局に切り換えま す。受信可能な中継局や系列局を自動 的に探して切り換えることができます。 →「オート放送局サーチ設定」(P149)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他 のエリアに移動して受信環境が変 わった。	受信環境が変わったときは、チャン ネルスキャンをしてください。 →「放送局を自動で登録する(チャン ネルスキャン)」(P146)
	受信レベルが低下して、放送が受信 できない。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。ワンセグ放送 が受信可能な場合は、 サービス切 換 で切り換えます。→「サービ スを切り換える」(P143)

SDカード／USBメモリー

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
SDカード/USBメモリーに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ（差分情報のみ）の更新中である。	地図データ（差分情報）更新中（→P227）は、AVソース（SD/USB）がOFFになります。地図データ（差分情報のみ）の更新完了後、再度AVソース（SD/USB）を選択し、再生を再開してください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL : https://www.sdcard.org/jp/ (2012年3月時点転載)

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。 復帰するまでしばらくお待ちください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くなったり低くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、[高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。]と表示されます。
走行中は操作できません。	走行中に操作できない機能を操作した。	一部の機能は、安全のため走行中に操作できないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。
SDカードが正しく挿入されていること、およびB-CASカード挿入口がロックされていることを確認してください。	SDカードが完全に挿入されていない、もしくはminiB-CASカードのLOCKレバーがLOCK位置になっていない。	SDカードを完全に挿入してください。(→『スタートブック』-「SDカードの出し入れ」) miniB-CASカードのLOCKレバーをLOCK位置にしてください。(→『スタートブック』-「miniB-CASカードを取り外すときは」)

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	出発地から目的地までの距離が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変更してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	規制情報が考慮されたためルート探索ができない。	
時間規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置が適切ではない。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。		
探索できませんでした。	何らかの原因でルート探索ができない。	

オーディオ

DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DVD)

メッセージ	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P230)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのタイトル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P230)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
再生できませんでした。	本機で再生できるトラックやファイルではない。	「WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて」(→P233)をご確認のうえ、本機で再生できるトラックやファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。 再生できるトラックはありません。	本機で再生できるトラックやファイルがディスクに含まれていない。	また、本機ではDRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。(→P231)
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にDVDビデオなどの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

TV

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
HEAT 地上デジタルテレビで高温を検出しました。 保護のため停止中です。	本機の内部温度が高くなった。	正常に動作する温度に下がるまでお待ちください。改善されない場合は販売店にご相談ください。
ANTENNA アンテナ接続エラーの可能性あります。	地上デジタルテレビ用アンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。
ERROR-11 地上デジタルテレビに不具合が発生した可能性があります。	地上デジタルテレビに不具合がある。	
受信できません。	地上デジタル放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「TV」の「受信できない」(→P242)をご覧ください。
スキャンを実行してください。	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P146)
チャンネルが登録されていません。	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません。	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録してください。
現在、このサービスは視聴できません。	放送(サービス)としては存在するが、放送されていない。	—
映像情報がありません。	音声のみの番組です。	—
有料放送につき事業者との契約が必要です。	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。
有料放送です。本機では対応していません。	本機が対応していない有料放送(双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー))を受信している。	本機が対応している放送に切り換えてください。
B-CASカードを正しく装着してください。	miniB-CASカードが装着されていない。 miniB-CASカードが違う向きで装着されている。 miniB-CASカード挿入口やminiB-CASカードにゴミなどが付いている。	miniB-CASカードが正しく装着されているか確認してください。詳しくは販売店にご相談ください。
このB-CASカードは使用できません。	miniB-CASカード以外のカードを装着している。	miniB-CASカードを装着してください。詳しくは販売店にご相談ください。

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
B-CASカードの交換が必要です。	miniB-CASカードが破損している。	カードの不具合と確認された場合には、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。 電話：0570-000250 受付時間：10:00～20:00 (年中無休)
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビを見ようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
AV機器との接続に失敗しました。 AV機器から接続を開始してください。	何らかの理由で本機からBluetooth Audio機器への接続が成功しない。	Bluetooth Audio機器側から接続を行ってください。(→P189)

SDカード／USBメモリー

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。 再生可能なファイルの詳細は取扱説明書をご確認ください。	本機で再生できるファイルではない。	「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P133) または、「WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて」(→P233)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。 再生可能なファイルの詳細は取扱説明書をご確認ください。	本機で再生できるファイルがSDカードまたはUSBメモリーに含まれていない。	
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にSDの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機が対応していないUSBメモリーを接続した。 USBメモリーに異常がある。	本機が対応しているUSBメモリーをご確認ください。(→P174) USBメモリーをフォーマットし、再度本機に接続してください。
このSDカードは本機では使用できません。	本機が対応していないSDカードを挿入した。 SDカードに異常がある。	本機が対応しているSDカードをご確認ください。(→P174) SDカードのフォーマット(→P243)をして、再度本機に挿入してください。

iPod

メッセージ	原因	処置
絞込みに失敗しました。	何らかの原因で絞込みができない。	ACCをOFF/ONするか、iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPod間の認証が成功しない。	
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にiPodビデオの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。
接続されたiPodはサポートしていません。取扱説明書を確認してください。	電源がOFF状態のiPodを接続した。	iPodの電源をONにして接続してください。
スマートフォン連携の準備中です。しばらくしてからiPod接続ケーブルに接続し直してください。	本機の起動時など、登録したスマートフォンと本機がBluetooth接続しようとしているとき、iPodをiPod接続ケーブルで接続しようとした。	しばらくして、Bluetooth接続が完了するまで待って接続してください。

センサーメモリーのリセットについて

センサー学習状態のリセットが必要な場合

[オールリセット]が必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

[距離学習リセット]が必要な場合

- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

学習メモリーのリセットは「センサー学習状況」画面で行います。→「**センサー学習状況を見る**」(P83)

センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。
- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が0時をすぎる場合であっても、0時として収録されています。
- 24時間営業は24時間の営業で収録されています。

ルートに関する注意事項

！ 注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、ルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗降IC(インターチェンジ) 指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100 m スケールでグレー表示の細い道（→「記号・マーク一覧」(P267)）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150 m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「*****円」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

VICS情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送により提供されるVICS情報に関することは、(財) VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3562-1719 (全国)

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積 95% 以上 (466 都市)

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、

吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、川北町、野々市市、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐阜町、笠松町、神戸市、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、大山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手市、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、みよし市、四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林

市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積 80% 以上 (64 都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、桜川市、宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀬町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊橋市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

整備面積 50% 以上 (158 都市)

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠岡市、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑳市、いすみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、

西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ヶ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菰野町、大津市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、糸島市、古賀市、みやま市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積 50% 未満 (646 都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ヶ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、

横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、富士川町、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、静斐川町、川辺町、八百津町、御高町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、龜山市、

鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、

霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、さつま町、姶良市、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社から のご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。(乗り継ぎ区間ではETCが利用可能)。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線(京橋・摩耶出入口)⇔5号湾岸線(住吉浜出入口)

4号湾岸線(大浜出入口)⇔15号堺線(堺出入口)

3号神戸線(中之島西出口)→1号環状線(堂島入口)

16号大阪港線(波除出口)→1号環状線(堂島入口)

3号神戸線(中之島西出入口)⇔16号大阪港線(波除出入口)

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 09-193M1)「©2011 財団法人日本デジタル道路地図協会」2011年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号)小田原指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10.近公.第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)

- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。〔承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)〕
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)

- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-1平成18年12月5日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-2平成19年3月7日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平21 樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号) 平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22 幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号 平23情使、第43号-10号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第246号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号 平23情使、第283号-10号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2011年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみに、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2012年3月末までの調査で2012年4月14日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。
- 2012年1月1日実施の距離別料金制については現金車料金のみに対応とする。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道（北見）（旭川）（札幌）（釧路）（函館）、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

放送局リストのデータについて

- VICS、AM、FM、地上デジタルテレビの放送局名リストは2011年11月調査時点のものです。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社（2011年9月現在のタウンページデータ）
- 財団法人交通事故総合分析センター（1999年度統計による高速道路事故多発地帯データ）
- (株)IMJモバイル（2011年10月現在の駐車場データ）

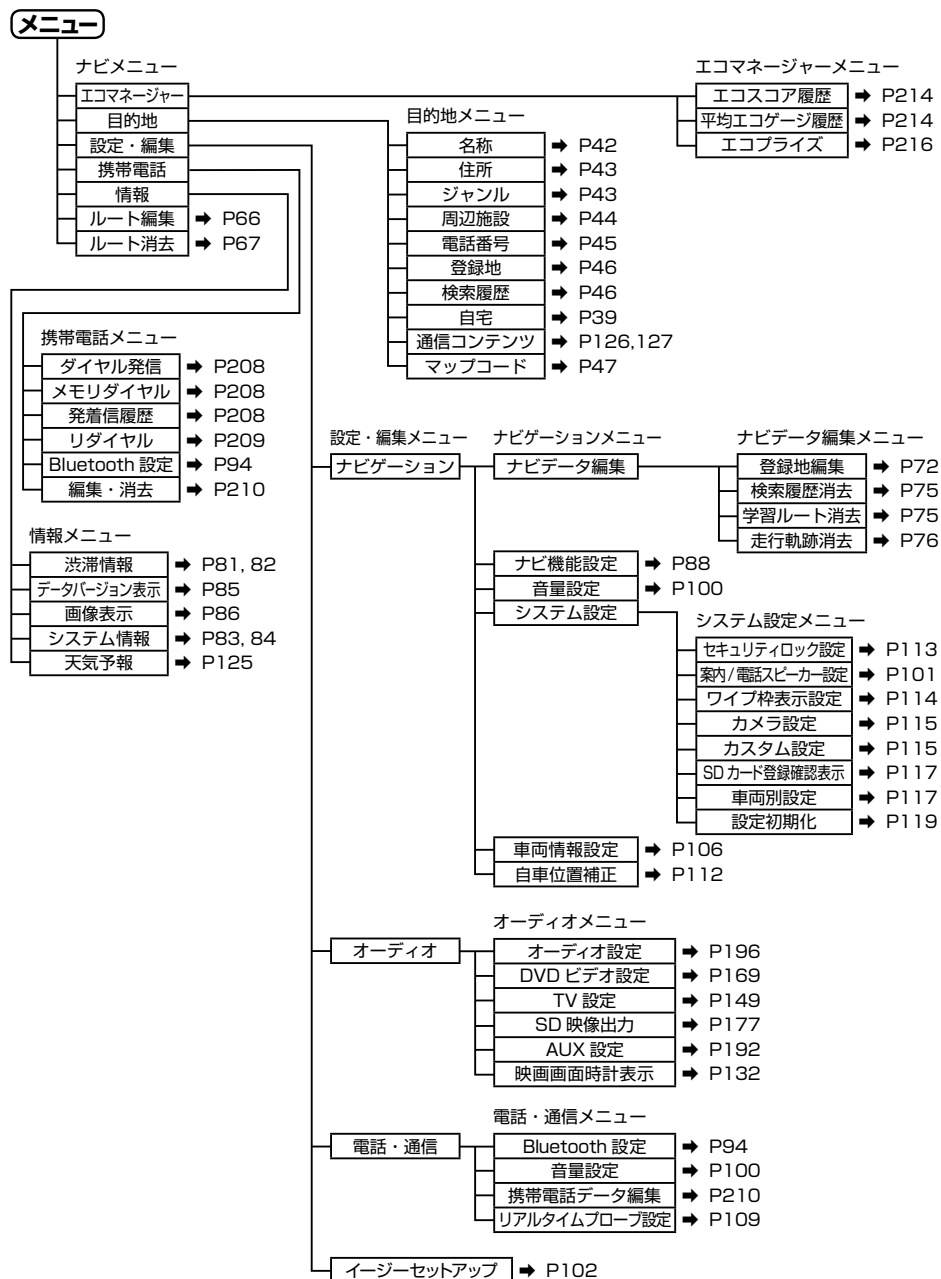


メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

索引

メニュー索引



用語索引

五十音順

あ

あかさたな送り	14
明るさ	224
アローガイド	58
アングル	162
暗証番号	171
案内音量	100
案内地	58
案内/電話スピーカー	101
イコライザー	197
補正	198
イージーセットアップ	102
一時停止	152, 154, 158, 164, 174, 175, 180, 181, 183, 186
一般道シンプルガイド	91
イベントリレー設定	150
イラスト情報(施設)	38
イルミネーション	85
色合い	224
色温度	224
色の濃さ	224
インジケーター	15
インターチェンジ(IC)	36, 51, 54
インテリジェントリルート	63
営業時間考慮	45, 250
映像切換	145
映像ディスク	157
エコー(残響音)	206
エコゲージ	215
エコスコア	214
エコブライズ	216
エコマネージャーメニュー	22, 214
エラーメッセージ	244
エリアプリセット	137, 142
大文字/小文字	17
お知らせメッセージ	147
オート(VICS放送局選択)	82
オートハイウェイマップ	89
オートハイウェイモード	35
オートプレイ	171
オート放送局サーチ設定	149
オートリルート	63

音送り	14
音楽CD	152
音声圧縮方式	233
音声案内	60
音声切換	161, 167
音声多重	146, 167
オンデマンドVICS	122
音量	100, 103, 219

か

回転速度計	83
学習ルート消去	75
学習ルート探索	56, 90
ガススタ価格情報	126
カスタムボタン	104, 115
画像表示	86
カメラ	202
カメラ設定	115
画面切り換え	
(ナビゲーション⇄AVソース)	13
簡易ハイブリッドシステム	236
簡易ハイブリッドモード	83
環境設定メニュー(地上デジタルTV)	150
かんたん目的地検索	47
記号	20
規制表示	92
軌跡表示	26
機能設定	
DVDビデオ	169
渋滞情報	92
地上デジタルテレビ	149
地図表示	89
ルート・案内	90
キーボード方式(文字入力)	16
基本音声言語	169
基本字幕言語	169
行送り	14
距離	84
キーワード検索	42
緊急警報放送設定	150
緊急情報の自動表示	80
禁止マーク	231
黒の濃さ	224
傾斜計	83

携帯電話	206
受ける	206
かける	207
切り換え	97
携帯電話情報	210
携帯電話方式(文字入力)	16
携帯電話メニュー	24
言語コード表	172
現在地画面	26
現在地情報の表示	89
県境案内	34, 91
検索履歴	75
検索履歴から探す	46
広域	28
効果音	73
交差点案内表示	58, 91
高精度3Dハイブリッドシステム	236
交通規制情報	78
交通障害情報	78
交通情報	78, 139
候補表示画面	34
ここへ行く	50
ここを登録する	70
誤差	237
コマ送り	160, 166
コマンド	116
コントラスト(明暗)	224

さ

再生	152, 154, 158, 164, 174, 175, 180, 181, 183, 186
再探索(ルート)	66
サイドカメラ	204
サイドマップ	33
サービスエリア(SA)	36, 37
サービス切換	143
サービスリスト	147
サラウンド放送	142
サンプリング周波数	234
時間規制	56
シーク(VICS放送局選択)	82
市区町村名	43
自車位置修正	112
施設情報	35, 36
自宅	
帰る	39
登録	39, 103
視聴者設定クリア	150

視聴制限	171
視聴設定メニュー	149
シティマップ	29, 89, 252
シティマップ境界表示	89
自動登録(放送局)	138, 146
シネマ	148, 163, 168, 184, 193
字幕切換	145, 161, 167
ジャスト	148, 163, 168, 184, 193
車速パルス	83, 84
シャッフル再生	182
車両情報	104, 106
ジャンルで探す	43
十字カーソル	25, 28
十字パネルタッチキー	145
住所で探す	43
渋滞オートガイド	64, 80
渋滞・規制情報	64, 80
渋滞考慮オートリルート	63, 90
渋滞考慮オートリルート自動決定ルート	90
渋滞考慮ルート探索	56, 90
渋滞情報	78, 81, 82
渋滞情報取得開始設定	110
渋滞情報表示	92, 124
渋滞情報表示(ハイウェイモード)	38
渋滞情報表示対象道路	92
渋滞情報連続取得設定	111
渋滞チェック	65, 80
周辺施設を探す	44
収録データベース	255
主音声	146
受信状態	82
出発地指定	55
受話音量	100
順調表示	92
消音タイミング	199
消音レベル	199
消去	
学習ルート	75
検索履歴	75
走行軌跡	76
登録地	73
ルート	67, 68
乗降IC指定	54
詳細(地図のスケール)	28
詳細市街地図 → シティマップ	29, 252
詳細ルート設定	53
情報画面	34
情報メニュー	24

初期化	119
初期登録	93, 109
ショートカットメニュー	25
シリアルナンバー	83
自立航法	236
人工衛星	236
信号機	35
信号機ジャスト案内	91
進行方向案内	60
振動ジャイロセンサー	236
数字パネルタッチキー	145
スカイビュー	29
スキャン	138
スキャン → 自動登録	146
スクロール確認画面	52
スクロール画面	28
図形情報 (VICS 情報)	81
スケール	28
ステレオ放送	136, 142
スマートIC	36
スマートIC 考慮ルート探索	56, 90
スマートフォン連携機能	223
ズーム	148, 163, 168, 184, 193
スライドショー	86
ずれ (自車位置)	112
スロー再生	160, 166
セカンダリ DNS	98
セキュリティロック設定	113
接続ID	98
接続先電話番号	98
接続先名称	98
接続状態	84
接続パスワード	98
設定初期化	119
設定・編集メニュー	23
セフティインフォメーション	34
前後G	83
センサー学習	83, 249
センター情報 (VICS センター)	81
走行軌跡自動消去	89
走行軌跡消去	76
走行軌跡表示	89
走行履歴	122
操作音	100, 219
操作タッチキー	158, 164
ソースレベルアジャスター	198

た

ダイヤルQ 2	46
ダイヤルアップ通信	96
ダイヤル発信	208
ダイレクトサーチ	162, 167
ダイレクトタッチ	159
タウンページ	250
立寄地	53
先送り	67
削除	54
追加	53
並べ替え	54
タッチキー	12
タッチパネル	12
タッチパネルキャリブレーション	226
タブ送り	14
探索条件	66
短縮ダイヤル	46
地域設定	150
チェックマーク	14
チェックリスト	14
蓄積型プローブ	109
地上デジタルテレビ	140
地図色切換	89
地図で探す	42
着信音量	100
チャプター	159, 164
チャンネルスキャン	146
駐車場情報	78
駐車場マーク表示	92
駐車場満空情報	127
駐車制限 (車種)	107
駐車制限 (車両寸法)	107
通行止め考慮オートリルート	64
通信機能	93
通話中メニュー	209
ディスクメニュー	159
データバージョン	85
データ放送	144
データ連動放送	142
デバイスナンバー	83
デモ走行	67
テレビアスペクト	170
天気予報	125
電波発射	99
電話番号で探す	45
電話を受ける	206

電話をかける	207	バックカメラ	202
ダイヤル発信	208	バック信号	85
地図に登録された電話番号	209	発信	208, 209
発信履歴	208	発信者番号通知サービス	207
メモリダイヤル	208	発信履歴	208
リダイヤル	209	パレンタルロック → 視聴制限	171
到着予想時刻	57	番組情報	146
到着予想時刻速度(一般道)	90	番組内容	144
到着予想時刻速度(有料道)	91	番組表	143
登録		番組表表示設定	150
自宅	39, 103	番組名称情報取得設定	150
スケール	31	パンスキャン	170
場所	70	ハンズフリー通話	96, 206
リアルタイムプローブ初期登録	109	バンド	137, 146
登録地		微調整(スクロール)	27
消去	73	ビットレート	234
編集	72	ビデオレコーディングフォーマット	
名称表示(プライベートマッピング)	73	(VRモード)	230
登録地から探す	46	表示方法	28, 220
道路交通情報通信システム → VICS	78	ファイナライズ	230
都市高速道路	59	ファイル	175
都道府県名	43	ファクトリーカーブ	197
トラック	152, 153	フェーダー/バランス	196
トリップメーター	83	フェリー航路使用条件	90
な		フォルダー	155, 176, 233
ナビゲーション画面(地図画面)	13	副音声	146
ナビスタンバイ	13	ブックマーク	161
ナビメニュー	22	物理チャンネル	141
入力キーボード	219	踏切案内	34, 91
ノーマル	148, 163, 168, 184, 193	プライベートマッピング	73
ノーマルビュー	29	プライマリDNS	98
は		プリセット	137, 142
ハイウェイモード	29, 33, 35	エリアプリセット	137, 142
ハイビジョン	231	ユーザープリセット	137, 142
パーキングエリア(PA)	36, 37	プリセットチャンネル	136, 141
パーキングブレーキ	85	フル	148, 163, 168, 184, 193
パーキングブレーキアラート	34, 91	プローブ情報送信設定	110
場所		フロントカメラ	204
探す	42	分岐(有料道路)	59
登録	70	分岐先の情報	37
バージョン情報	147	分岐施設(JCT)	36, 37
パスキー	95, 99	ページ送り	14
パスワード	98	別道路切換	112
パソコンリンクソフト →		編集	
NAVI OFFICE	227	登録地	72
パーソナライズ	104, 217	ルート	66
		方位	84
		放送局(VICS 情報)	82

他のルート	52
ポータブルオーディオプレーヤー	192
ボタン	13
ポート番号	98

ま

マップコード	47
マップマッチング	237
マニュアルプリセット	137, 142
マルチアングル	162, 170
マルチ音声	161, 167, 169
マルチ言語字幕	169
マルチ字幕	161, 167
マルチセッション	233
マルチビュー放送	142
マルチ編成	142
道のり・到着予想時刻表示	90
向き(地図)	30
名称で探す	42
メニュー言語	170
メモリダイヤル	208, 210, 211
メモリダイヤル転送	96
目的地	42
目的地メニュー	22
文字拡大	219
文字情報(VICS 情報)	81
文字スーパー表示設定	150
文字入力	16, 17
URL	19
大文字／小文字	17
記号	20
削除	18
種類	16
スペース	18
全角	17
挿入	18
濁点・半濁点・小文字	17
半角	17
変換	19
無変換	19
文字の拡大表示	31

や

ユーザー登録	93
誘導アイコン	221
郵便番号設定	150
有料道注意地点・県境案内	34, 91
有料道路	35

有料道路使用条件	90
有料道路料金区分	106
ユーザーアイコン	218
ユーザー切り換え	221
ユーザー設定	218
ユーザープリセット	137, 142

ら

ライト点灯案内	34, 91
ラウドネス	197
ラジオ	136
ランダム再生	153, 155, 176, 188
ランプ	36
リアモニター	225
リアルタイムプローブ	122
リージョン番号	231
リスト(VICS 放送局選択)	82
リストカスタマイズ	32
リスト画面	14, 33
リセット(センサー学習)	83, 249
リターン再生	162
リダイヤル	209
立体交差	58
リニアPCM	162
リピート再生	153, 155, 160, 165, 176, 182, 188
リフレッシュ案内	34, 91
料金所	36, 38
料金表示	36
旅行時間情報	78
履歴情報	212
ルート案内	57
ルート案内開始画面	51
ルートインフォメーション	57, 65
ルートを再探索	66
ルート再探索 → オートリルート	63
ルート消去	67, 68
ルート探索	50
学習ルート探索	56
自宅	39
渋滞考慮ルート探索	56
スマートIC 考慮ルート探索	56
ルート探索基準	90
ルート地図	50, 53
ルート注意事項	250
ルートプロフィール	50, 52
レターボックス	170
レベル 1: 文字	78

レベル 2：簡易図形	78
レベル 3：地図	78
ロゴマーク	31, 45

わ

ワイドモード	148, 163, 168, 183, 193
ワイプ操作	12
ワイプ枠	114

数字・アルファベット順

数字

2D（ノーマルビュー）固定スクロール	89
2Dマーク	73
2カ国語放送	167
2次元測位	236
3Dハイブリッドセンサー	236
3Dハイブリッドモード	83
3次元測位	236
4チューナー設定	150
4点調整	226
5.1ch	161
10キーサーチ	162, 167
12セグ・ワンセグ切替設定	149
16：9	170
16点調整	226
50音タブ	14
100mスケール一方通行表示	30

A

A2DP	186
AAC	
(Advanced Audio Coding)	154, 235
ALL REPEAT	188
Apple Lossless	235
ATOK	16
AUX	192
AVCHD → ハイビジョン	231
AVRCP	186
AV画面への割り込み	91
AVソースアイコン	131
AVソース画面（オーディオ画面）	13, 130
AVソースプレート	130
AVプロファイル	186

B

Bluetooth Audio	186
Bluetooth設定	104
Bluetoothプロファイル	94
Bose®サウンドシステム	118

C

CD	152, 230, 232
CD-EXTRA	230
CHAPTER REPEAT	160, 165, 166
CINEMA	148, 163, 168, 184, 193
CMスキップ	166
CMバック	166
Copy Control CD	230

D

d（データ放送）	144
DDCD	230
DISC REPEAT	160, 165
Dolby D	161
DRM（デジタル著作権管理）	154, 174
DTS音声	161
DualDisc	231
DVD-V	169
DVD-VR	164, 169
DVDビデオ	158, 230, 232
DVDビデオ設定	169

E

ETC取付状態	103
ETCレーン案内	38, 91
eスタート案内	34, 35, 91

F

FILE REPEAT	176
FLAT	197
FM-VICS	78
FM多重放送	82, 251
FOLDER REPEAT	155, 176
FULL	148, 163, 168, 184, 193

G

GPS	236
GPSアンテナ	84
GROUP REPEAT	188

H

HDTV (ハイビジョン放送) 142

I

ID3 Tag 234

ID (接続ID) 98

iPod 180

ISO9660 233

iTunes 235

J

Joliet 233

JUST 148, 163, 168, 184, 193

L

L/R 切換 162

M

m3u 233

MP3 154, 234

MP3i (MP3 interactive) 233

MP3 PRO 233

MPEG2 235

MPEG4 235

MPEG Audio Layer 3 234

N

NATURAL 197

NaviCon 223

NAVI OFFICE 227

NON STOP SEEK 136

NORMAL 148, 163, 168, 184, 193

NTSC 230

P

POWERFUL 197

Proxy サーバー 98

R

ROM 154

Romeo 233

S

SDHC 174

SDTV (標準画質放送) 142

SDカード登録確認メッセージ 117

SEEK 136, 141

SUPER BASS 197

T

TITLE REPEAT 160, 165, 166

TRACK REPEAT 153, 188

TV 設定 149

U

URL の入力 19

V

VBR 234

VICS (Vehicle Information &
Communication System) 78

VICS 情報提供時刻 79

VICS 情報の表示 78, 79, 81

VICS センター 252

VICS マーク 80

VOCAL 197

W

WAV 235

Windows Media™ Audio 233

Windows Media Audio 9 Lossless 234

Windows Media Audio 9 Professional 234

Windows Media Audio 9 Voice 234

Windows Media Player 233

WMA 154, 233

Z

ZOOM 148, 163, 168, 184, 193

地図関連		渋滞情報関連	
高速・有料道	道の駅	渋滞	一般道：白枠 有料道：青枠 ※リアルタイムフローブ 渋滞情報：破線
国道	空港	混雑	
主要地方道	ヘリポート	順調	
都道府県道	フェリー乗り場	規制区間	
一般道	観光船乗り場	入口閉鎖・通行止	
細街路	タワー	速度規制	
鉄道	灯台	進入禁止	
都道府県境	墓地	通行止め・閉鎖	
国道番号	公共施設	大型通行止め	
都道府県道番号	警察署	対面通行	
有料道道路番号	消防署	片側交互通行	
一方通行	病院	徐行	
海・川・湖沼	郵便局	車線規制	
公園・緑地・芝生など	NTT	チェーン規制	
施設敷地	文 高校	凍結	
施設	小 小学校	故障車	
駅舎	中 中学校	工事	
インターチェンジ/ランプ名	大 大学	作業	
交差点名	高専	事故	
ランプ入口	自動車関連施設	障害物・路上障害	
ランプ出口	温泉	入口制限	
信号機	遊園地・その他	入口閉鎖	
指示点	乗馬クラブ	駐車場（空車）	
山岳	キャンプ場	駐車場（混雑）	
公園	ボウリング場	駐車場（満車）	
工場	スポーツ施設	駐車場（閉鎖）	
トンネル出入口	ゴルフ場	駐車場（不明）	
マンション	その他スポーツ施設	気象	
サービスエリア	野球場・スタジアム	行事	
パーキングエリア	体育館	災害	
インターチェンジ	スキー場	火災	
料金所・スマートICゲート	海水浴場	原因/事象なし	
駐車場	ヨットハーバー		
	モータースポーツ		

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

製品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店までお願い致します。

製品の操作等に関しましては、下記までお問い合わせください。

パイオニア相談窓口

電話番号：☎ **0120-988-072**

PHS、携帯電話、一部のIP電話などからは下記番号へおかけください。

一般電話：**044-572-8909** (有料)

受付時間 月曜～土曜 9：30～12：00、 13：00～ 17：00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号

< NVF-0128ZM >

© パイオニア株式会社 2012

< KAMFX > < 12E00001 > < CRA4540-B/N >